建築と社會

小住宅研究 第一集

内容

住宅改善に關する諸問題の研究記事

小住宅の耐震構造

住宅建築工費

家相と住宅の衛生

家具と飾内装室

等々

發表 サンマーハウス入選圖案

昭和四年五月一日

第十二輯 第五號

日本建築協會

寫眞は下記製品御使用の光榮に浴したる 神戸昭生病院



東京建鐵!! 製造

三機工業!! 販賣

御　使　用

▶田島式スチールG型サツシ◀

東京建鐵株式會社
東京鋼板工業株式會社
總代理店

三機工業株式會社

本　店　東京市麹町區內幸町一ノ三(大阪ビル內)
電話銀座(57)5330—5335 (6)2831—2833(3)
支　店　大阪市東區備後町二ノ二一(野村ビル內)
電話本町1166• 1525

取扱店　各地三井物産株式會社支店機械部

會告

本協會ノ事業トシテ先年來青年技術者ノ爲ニ講習會ヲ開催シ其都度非常ナル好成績ヲ擧ゲタリ今回其ノ第五回講習會ヲ左記ニ依リ開催ス奮テ御聽講アラン事ヲ希望ス

昭和四年五月

社團法人日本建築協會

建築講習會

會場　西區大同ビル八階
時日　昭和四年自五月十日至五月十六日

科目　鐵筋コンクリート構造法、最新木造建築法積算法、家具ノ意匠、構造樣式ノ關係

聽講料　金參圓、（但本會員ハ貳圓）、申込次第規則書送附ス

聽講申込締切　五月五日迄

追而會場ニ制限アリ滿員ノ場合ハ御斷リスルコトアルヘシ

春季大會

左記要項ニ依リ本年春季大會ヲ擧行致シマス奮テ御參加ヲ乞フ

昭和四年五月

社團法人日本建築協會

神戸及明石方面見學

月日　五月十二日（日）

集合所　竹中藤右衞門氏邸（神戸市電布引停留場下車直ニ布引川ニ沿ヒ北方山手ヘ約一丁左側）

集合時　五月十二日午前十時

中食　竹中氏邸園ニテ辨當ヲ差上グマス

見學
1, 川崎男爵邸庭園　午前十一時卅分迄川崎男邸見學正午竹中氏邸ニ引返シ中食
2, 神戸商工會議所　午後一時
3, 神戸港内　午後一時三十分メリケン波止場ヨリランチ乘船三菱造船所ニ向フ
4, 三菱造船所　午後三時見學終リ、再ビランチニテ明石ニ向フ

懇親會

明石市衝濤館（字治電（舊明石電車）入丸前下車明石公會堂横）　午後五時開會　午後七時閉會　隨時解散ノコト

汽車電車賃　御自辨ノコト

會費　三圓五十錢　當日集合所ニテ徽章ト引替ニ頂キマス

回答　五月五日迄

◉雨天ノ場合

神戸市築港京橋北詰商工會議所ニ午前十時集合同所見學後ランチニテ三菱造船所ニ至リ見學、終了後ランチニテ明石ニ向ヒ懇親會

○出席御回答アリマシテ當日御缺席ノ場合ハ會費ノ負擔ヲ願ヒマス

會告

豫て募集中のサンマー・ハウス設計應募圖案は總計六十七葉の多數に上り豫想外の盛況でありましたが、先づ第一次豫選に三十三葉を得、其内より第二次豫選に十二葉を抽き、嚴選の結果は左記の通りに定りました

第一等　久保田彦雄　大阪市北區堂ビル竹中工務店

第二等　第一席　前野慶太郎　大阪府下河内四條畷

第二等　第二席　三上卓一　大阪市此花區上福島南二ノ一八一天神前

第三等　第一席　石川禎一郎　大阪市東區寺山町四九六

第三等　第二席　岸本登　大阪市北區堂ビル横濱建築事務所

第三等　第三席　中村義實　大阪市天王寺區上本町九ノ四九中村建築事務所

選外佳作

第一席　河部茂　神戸市西灘原田二岡野方

同　第二席　佃十俊　大阪市此花區上福島北一ノ五二森方

同　第三席　三上卓一　大阪市此花區上福島南二ノ一八一天神前

同　第四席　保田信夫　大阪市港區南泉尾町一ノ八八

同　第五席　中村勇　大阪市天王寺區上本町九ノ四九中村建築事務所

同　第六席　福富正治　大阪市西淀川區傳法町北一丁目

會告

今回常務（主記）古宇田實氏辭任ニ付四月四日開會ノ評議員會ニ於テ補缺選擧ノ結果評議員山脇友三郎氏當選ニ付常務互選ノ上職務分掌中左ノ通變更致候

昭和四年五月

社團法人　**日本建築協會**

主記（元主計）常務　坪井誠一氏

主計　常務　山脇友三郎氏

商標 OHNO SHUTTER PATENTED 登錄

特許第七九三五號(延長許可)外十數件併用

大野式防火捲上ヶ戸

〔特許大野式シヤッター〕

主要製品

大野式**シヤッター**
大野式自働防火鎧戸
大野式工場用軸承
大野式轉子入軸筐
大野式轉子入戸車
大野式廻轉軸抵抗測定機
各種防火扉
應用特殊機械類
特許不二式**サッシ**受托販賣

合資會社 大野製作所

東京市芝區三田四國町二番地(電話三田(七三三七)(八三三七)番)

取出付張員諸所・大阪市此花區上福島中二(電話土佐堀二七二五)



小住宅研究 第一集 建築と社會 第十二輯 第十五號 目次

小住宅特輯記事 卷頭

謹奉迎龍駕……七
寫眞版、大大阪新態・舊態……七

我國の住宅は如何にして改造されるか……工學博士 片岡 安……八…一〇
米國公營小住宅に就て……宮內省技師 權藤要吉……一〇…一五
—並に英國との比較—

小住宅にも必要なる耐震構造の心得……工學士 增田 清……一五…一六
住宅の家相問題……工學士 葛野壯一郎……一七…一九
住宅建築の工費と工期の問題……大林組住宅部長 松本儀八……二〇…二四
「通俗的」住宅の衛生問題……醫學博士 藤原九十郎……二五…二七
—借家撰定の標準—

住宅の裝飾に就て……京都高等工藝學校教授 工學士 本野精吾……二七…三〇
室內裝飾へ色彩の應用……神戸高等工業學校講師 古塚正治……三一…三四
住宅の室內裝飾と家具……植實宗三郎……三四…三七
住宅の改善と考慮すべき要點に就て……須賀藤五郎……三七…四一
サンマー・ハウス入選圖案講評……工學博士 武田五一 工學博士 藤井厚二 工學士 葛野壯一郎……四二



◇大阪郊外に住宅會社が建てた住宅の種々（寫眞）……阪神每朝新聞社長　原田長治…四七…四八
◇久安寺樓門に就て……名古屋高等工業學校助教授　松永德昌…四九…五二
◇建築道の爲に（二）—フランク・ロイト・ライト—……城戸久譯…八四…五三
◇飛行機より見たる建築と社會（三）……下浦光衛…五二…五四

附錄

◇寫眞　國際新建築集……一九…二三
◇寫眞　京阪神新建築集……一三…一八
◇昭和四年度日本建築協會役員及常設委員名簿（別刷）……

會告

◇第五回講習會開催公告……
◇春季大會公告……
◇サンマー・ハウス設計圖案當選者發表……
◇常務職務分掌變更公告……
◇會報……
◇新刊紹介……
◇編輯後記……
◇本誌廣告目次……

繪口

懸賞募集サンマー・ハウス設計當選圖案發表……

◇サンマー・ハウス懸賞一等當選圖案……久保田彦雄…一
◇サンマー・ハウス懸賞第二等第一席當選圖案…前野慶太郎…二
◇サンマー・ハウス懸賞第二等第二席當選圖案…三上卓一…三
◇サンマー・ハウス懸賞第三等第一席當選圖案…石川禎一郎…四
◇サンマー・ハウス懸賞第三等第二席當選圖案…岸本　登…五
◇サンマー・ハウス懸賞第三等第三席當選圖案…中村義實…六

小住宅研究　第一集　建築と社會　第十二輯　第五號　目次

小野田白色ポルトランドセメント

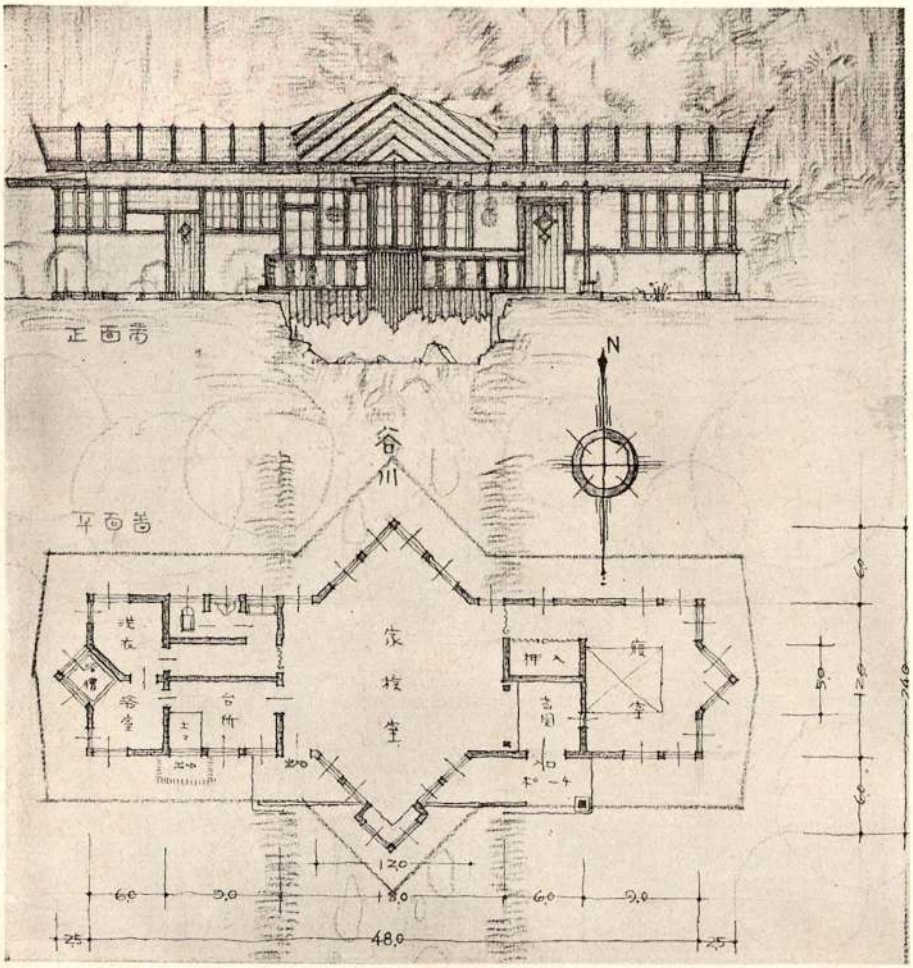
小野田ポルトランドセメント

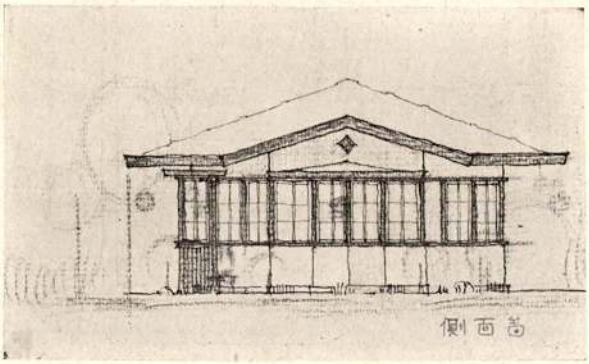
創立　明治十四年
資本金　金参千万円
年産額　八十八万瓲(五百二坊樽)
本社工場　山口県厚狭郡小野田町

支社工場
大連市外周水子
朝鮮平壌府外勝湖里
朝鮮咸鏡南道線川内里
名古屋市南区熱田東町

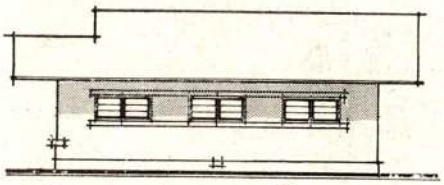


一手販売
三井物産株式會社

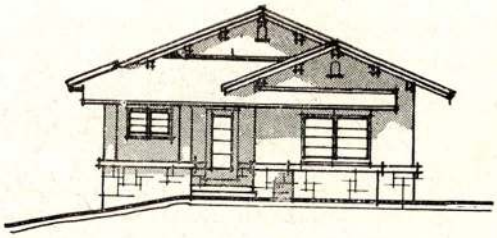




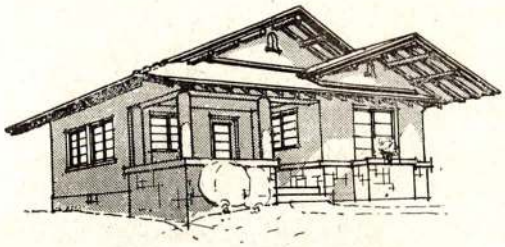
サンマー・ハウス懸賞當選圖案　　**第 一 等**　久保田彦雄氏



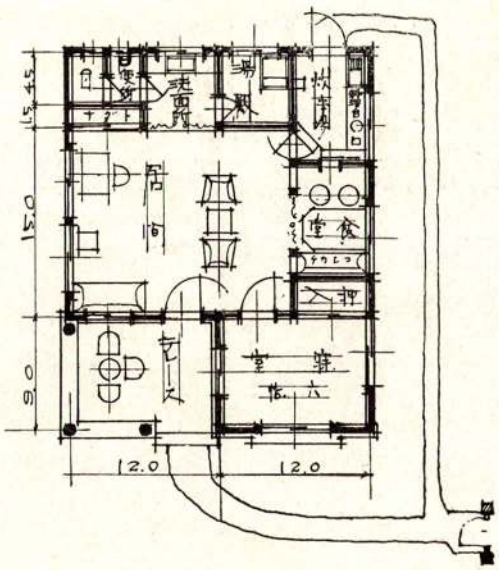
側　面　圖



側　面　圖

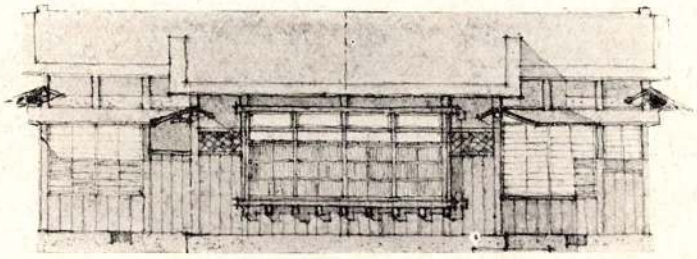


立　面　圖

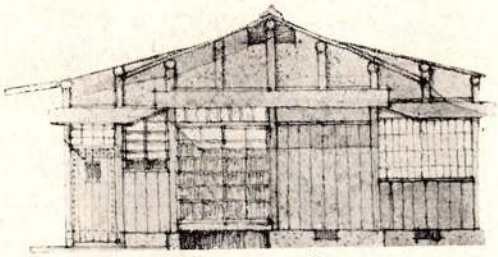


平　面　圖

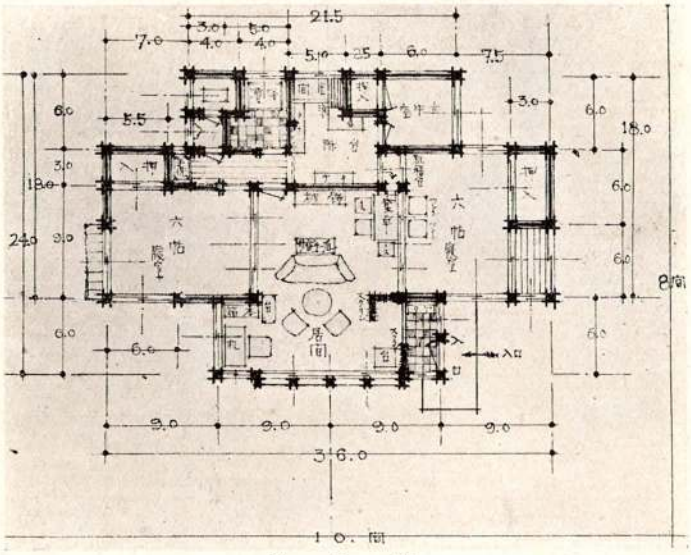
サンマー・ハウス懸賞當選圖案　　**第二等第一席**　前野慶太郎氏



立 面 圖

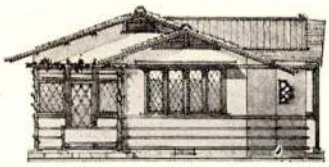


側 面 圖

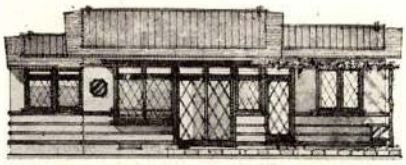


平 面 圖

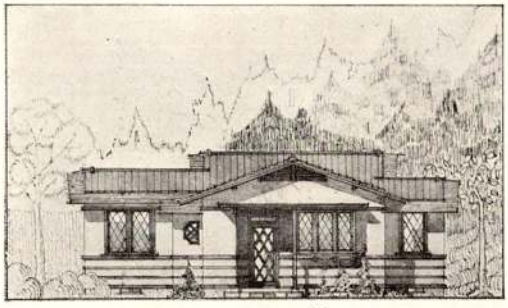
サンマー・ハウス懸賞當選圖案　　**第二等第二席**　三 上 卓 一 氏



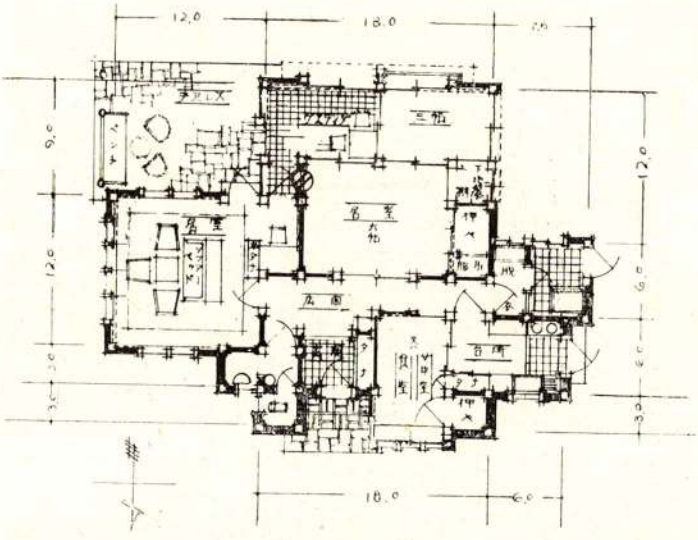
側 面 圖



側 面 圖

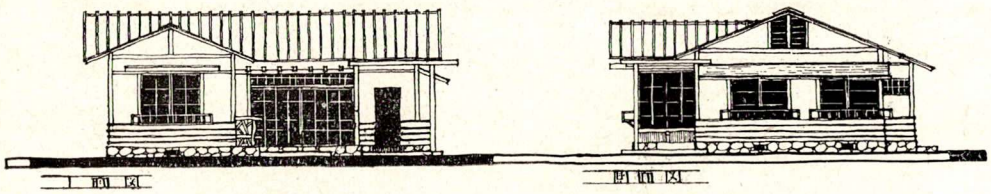


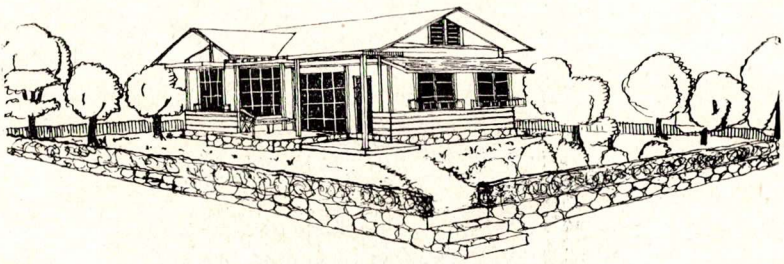
立 面 圖



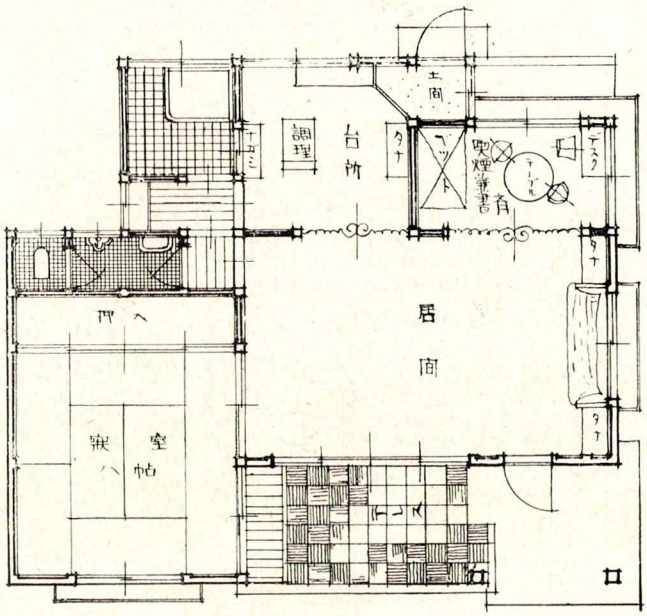
平 面 圖

サンマー・ハウス懸賞當選圖案 **第三等第一席** 石 川 禎 一 郎 氏



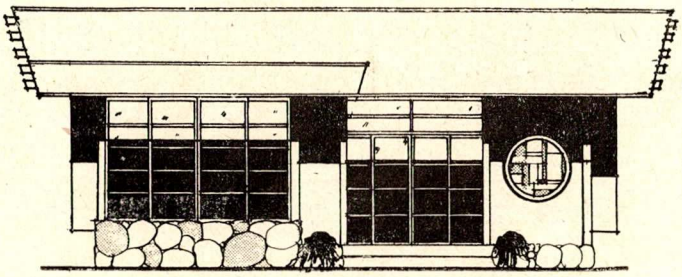


立　面　圖

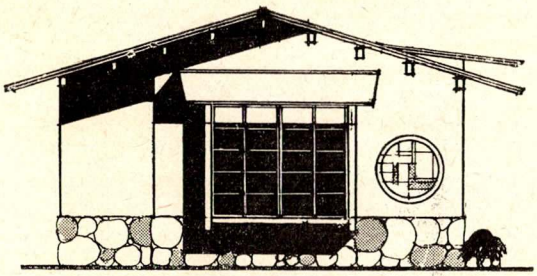


平　面　圖

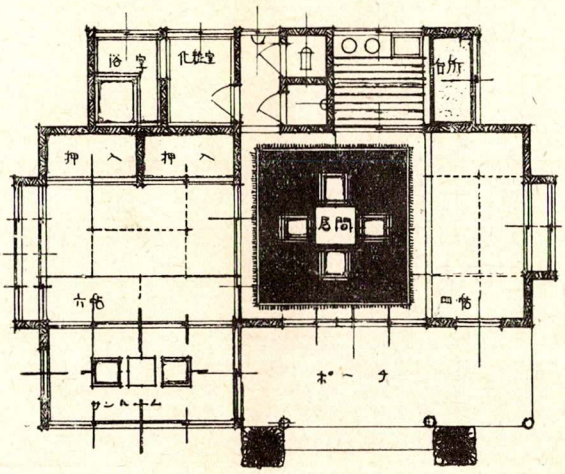
サンマー・ハウス懸賞當選圖案　　**第三等第二席**　岸　本　　登 氏



立　面　圖



側　面　圖



平　面　圖

サンマー・ハウス懸賞當選圖案　　**第三等第三席**　中村義實氏

サンマー・ハウス
入選圖案說明書

第一等設計圖案說明

久保田彦雄

敷地……南に開け北は山を負ひ中央に清くさやかなる谷川あり登山道にそへる約百坪ばかりの地

建坪……拾八坪五合

外觀……屋根、銅板張瓦棒、軒先木部及出入口扉は防腐材塗なり壁白色ロックスタツコ塗木部セピヤ色ペンキ塗、腰燒過煉瓦又は玉石積

第二等第一席設計圖案說明

前野慶太郎

一、場所　小丘ならば最も理想的です

一、敷地坪數　九十坪

一、建坪　二十坪

一、構造　木造平家建

1 外部壁　腰部鐵平面張、壁面セメン、スタツコウ塗、黃色仕上

2 內部壁　各部眞壁漆喰壁仕上居間食堂壁紙張、木部見懸りステイン塗、台所湯殿便所はペンキ塗、日本間六帖は木地のまゝ

3 床　檜椽甲板オイルステイン塗、湯殿便所テレースはタイル張り

4 天井　洋室各部塗喰天井、台所大貫打上天井、日本間竿椽天井

5 屋根　平安瓦葺又はスレート葺、三寸五分—四寸勾配

6 其他　窓及出入口は總て虫網を用ふる事

第二等第二席設計圖案說明

三上　卓一

一、位置　海邊又は林間

一、敷地　八拾坪

一、建坪　拾八坪六合、木造平家建

一、工費　壹千八百圓建具タタミ共（家具水道電燈瓦斯門塀を含まず）

一、設計の要旨

イ、各居室を建具にて仕切り隨時開放廣々とし得る如く

ロ、中央部として可成廣く洋間を設け居間にも客間にも食堂にも書齋にも!!!

ハ、サンマーハウスの輕い氣持でこの洋室に簡單なる玄關を設く

ニ、西の六帖寢室は臨時來客のため又は主人のため

ホ、東の六帖は家族の寢室に又は夫人の仕事にも

一、防暑及通風設備

一般に窓を大きく約三尺出の庇を付す特に西の庇を有効に附設して西風を取入る、屋根の暑熱を防ぐ目的として葺土を屋根全面に厚く施す、主要室天井裏には左圖の如く下地竹を繩にて『スグレ』の如くなしたるものを敷き粘土を二寸厚全面に施す

小屋裏の通風を大にして居室に傳はる熱を防ぐものとす、床下の通風口を設く床下全面叩き

一、一般事項

基礎コンクリート打、木材米栂眞壁、外部腰羽目、屋根日本瓦葺鼻廻り銅板葺、洋室天井格天井パネル塗喰仕上、其他竿緣天井、便所大正式便所

第三等第一席設計
圖案說明

石川禎一郎

敷地　海邊又は林間
　　坪數百坪以内
建坪　二十坪　木造平家建

一、構造大要
内部眞壁、外部大壁、地形『コンクリート』地形、屋根、日本瓦葺軒先『スレート』一文字葺（葺足短く）大壁内部に筋違を入れるは勿論、間仕切壁にも筋違を入れ得る様工夫して耐震的構造とする

一、外部仕上
腰『コンクリート』は『ビシヤン』叩き仕上げ窓下部壁は『セメントスタツコー』粗面壁仕上げ同所より上部は漆喰壁とします、軒及庇しの天井はラス張下地に『モルタル』塗なし『コンクリートペイント』塗、棰、窓枠、其他木部は『クレオソート』又はオイルステイン塗仕上げ腰長押、化粧土臺は杉丸太二ツ割りを『チヨンナ』にて面て付け張り付け隅々留めの箇所は丸頭鐵釘止め

一、内部仕上及設備
洋室、床『フローリング』張り天井、化粧梁は杉押角面皮付を約二尺間に天井は漆喰天井、粗面仕上げ、壁『ピクチヤーレール』上部大壁、同下部は眞壁として巾木迄壁紙張り、壁ちり廻り四分一打とします、和室天井も欠點多き在來の天井を廢し『タイガーボート』の類にて張り上げつぎ目に赤松又は竹等の格ぶちを打付け臺所、浴室の天井は石綿板張りと致します。
主要間仕切壁は前述の様に柱眞に厚一寸五分位の筋違材を切り込み兩面より『タイガボート』又は『インシュライト』の類で張り上げちり廻り三方四分一、下部巾木仕舞とし仕上げは『ウオーターペイント』仕上、室内木部も天井を除く外全部『オイルステイン』塗仕上げと致します

一、窓
引違硝子障子の外に『スクリン』を和室廻りは引違に、洋室は外開きに取付けます、尚右『スクリン』には虫除網の外に菱型クリンプ金網（荒目のは兩線位のもの）を嵌め込み二重戸締りします

一、其他の設備
三帖と六帖には夏季西風を入れる様窓を西にも設けました、浴室の出入口は海邊に建てられた場合には直接の出入口は特に必要かと思ひます、洋室の長椅子は『ソファーベット』を使用すれば來客の宿泊等の場合に役立ちませう

第三等第二席設計
圖案說明

岸本　登

場所　海邊
敷地　百坪以内
坪數　十七坪二合五勺
構造　木造平家建
外觀……屋根は銅板張瓦棒、壁白色スタツコ塗とし、腰は濃いセピヤ色ペンキ仕上げとす
内部……眞壁とし居間天井はボート張り砂摺をしたものを使用す

一、敷地は百坪位にして山間に建てるとして
一、坪數は十九坪で
一、木造で和洋兩用
一、屋根は柿板葺き
一、腰は玉石積み

第三等第三席設計
圖案說明

中村、義實

夏ノ蟲蚊ノ

ロールスクリーン

Rolscreens

The Ideal Screen For Casements

特許第74197號

近來模造品多數あり本品御指定ありたし



（型錄贈呈）

日本總代理店

島貿易株式會社建材部

本店　大阪市東區高麗橋四丁目
電話本局自五〇四〇—至五〇四七番

支店　東京市日本橋區平松町
電話日本橋　二二四番　三一六九番
三一六八番

書は蠅、夜は蚊と

夏は閑靜な郊外の住宅に在つても中々に快よき休息は出來かねます。これ我が優美輕便な**ロールスクリーン**の御使用を切に御薦めする所以であります。

從來病院や郊外住宅や又は料理場などで、窓の設備中最も苦心して來たものは實に**スクリーン**の問題であります。凡そ傳染病の豫防とか、夏期蠅や蚊や、其他色々の虫類が飛込んで來るのを防いだり、又工場地帶で煤煙防止の必要な場所などには、是非共此の**スクリーン**の用意をして置かねばなりません。

然るに此迄のものは、何れも取扱上の不便や、不體裁の點や或は又、不經濟などの點で、其必要を生ずる都度、頭痛の種となつて居たものであります。

此の久しい間の、難問解決の使命を果たすものこそ、實に我が**ロースス クリーン**の出現及び提供であります

◆耐震耐火＝品質優良＝優美高尚＝價格至廉

金屬天井



金屬天井御採用の三菱銀行東京本店

營業種目

◆建築材料部
- ▲金屬天井
- ▲リブプレックス（リフラス）
- ▲コーナービード
- ▲内外メタルラス
- ▲タイガーボード（耐火石膏板紙）
- ▲船來ウオールボード各種
- ▲ルーフキング（便利瓦）
- ▲アスファルトフェルト
- ▲其他建築材料一般

◆木材部
- ▲米材各種
- ▲チーク材
- ▲ラワン材
- ▲床板各種

◆穀類部
- ▲内外小麥粉
- ▲内外麩
- ▲内外米

◆工業部
- ▲製粉工場
- ▲製米工場
- ▲金屬飯工場

型錄進呈

◆田村商會創始
◆參拾五年經驗
◆施工全部請負
◆特殊圖案製作

田村商會

本店 神戸市榮町六丁目
電話元町（五〇一、五〇二、五〇三、五〇四、五〇五、

支店 大阪市西區靱上通り一丁目
電話土佐堀（六八八〇、六八八一）

東京市日本橋區元四日市町
電話大手（三七〇五、六三六〇、四六七一、二五二六）

工場 横濱市港町一丁目
電話長者町 二五四〇

北米晩香坡市ダンレビー街
電話 八八一

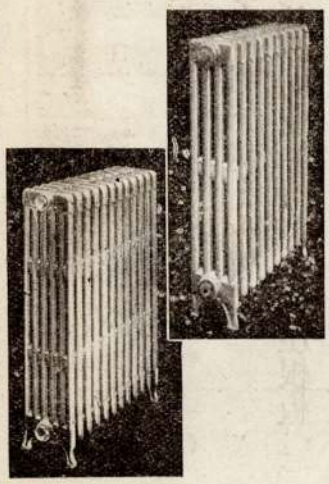
神戸市兵庫新川
電話兵庫（九一、二四〇三、二四四、六四〇）

AMERICAN RADIATOR COMPANY
NATIONAL RADIATOR COMPANY

アメリカン ラヂエーター會社製

ナシヨナル ラヂエーター會社製

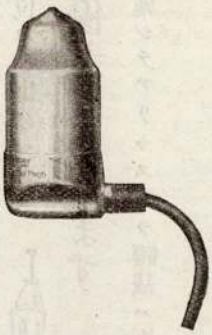
煖房用汽罐放熱器及附屬品一式



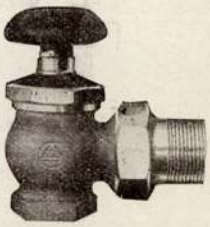
Ideal Classic Radiator



Ideal Red Jacket Boiler



Ideal Airid
Air Valve



No. 999 Arco
Packless Valve

日 本 代 理 店

大倉商事株式會社

東京銀座　大阪東區釣鐘町

創業　明治二十六年
製造最大能力　二千五百萬斤

營業品目

印銅、眞鍮、輕銀、輕合金アルモデユール板類、
輕銀各種器物、ストツブバルブ並ニ特許分銅屋根板

壁張　分銅屋根板　應用

特許

分銅屋根板

分銅屋根板は經濟的であります

現今一等瓦參拾圓モスルニ比スレバ約六
割ノ貳拾圓內外デ立派ナモノガ葺上リマス尙坪當リ葺上拾四圓位ヨリ出來マス

分銅屋根板は體裁優美であります

普通銅板ニ特殊加工ヲ施シテアリマスカラ體裁ハ極メテ優美デアリマス

分銅屋根板は應用範圍が廣い

本葺瓦棟葺棧葺平葺四半張綾目張等ハ勿論壁張腰張等ニモ至極適當ナモノデアリマス

（型錄進呈）



日本伸銅株式會社

大阪市北區天神橋筋四丁目

堀川 (35) 自四〇〇 至四三一〇番 (夜間及休日專用)

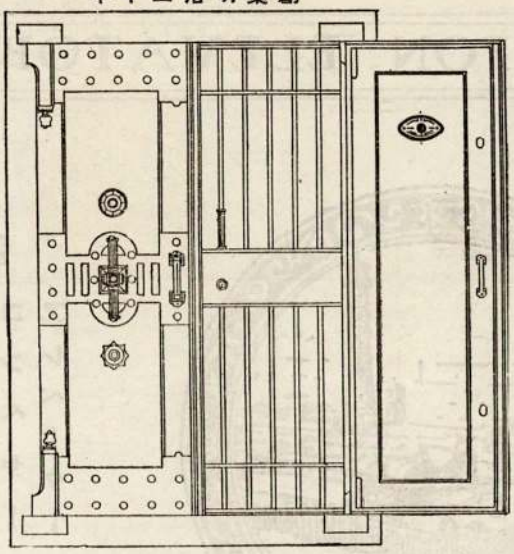
新案特許

火焰遮斷裝置防火扉は

國立大阪工業試驗所に於ける耐熱試驗の結果
最高温度攝氏壹千貳百八拾度の新記錄を示せり
連續加熱七時間十五分の新記錄を示せり

金庫室は完全なる扉と
内部什器（書棚及書函）の
鋼鐵化に因り始めて絶對的
災害防止の効果を實現す

創業明治二十年



金庫室防火扉

御用命を蒙り納入せる尊名

營業科目

金庫室入口防火扉
マンホール幷ニ窓扉
倉庫出入口防火扉
鋼鐵製書函並ニ書棚
美術建築用金物一式

日本銀行名古屋支店
三井銀行
三十四銀行
山口銀行
野村銀行
加島銀行
名古屋銀行
明治銀行
大垣共立銀行
濃飛農工銀行
蘇原銀行
濱松銀行
中埜銀行（愛知縣）
大野銀行
灘商業銀行
武庫銀行
西海商業銀行
久美濱銀行
大垣貯蓄銀行
大阪貯蓄銀行
内國貯金銀行
吉備貯蓄銀行
野村證券株式會社
野村合名會社
奈良信託株式會社
東邦瓦斯株式會社
三井信託株式會社
三井物産株式會社
大日本人造肥料株式會社
豊國火災保險株式會社
東洋海上火災保險株式會社
三菱電氣神戸製作所
松阪屋呉服店
岡谷合資東京金物部
名古屋 岡谷本邸
萩町信用組合
株式會社鹽野義商店
株式會社武田長兵衛商店
芦屋 八馬邸
芦屋 竹内邸
名古屋 安藤商店
名古屋 池田商店
名古屋 岩津邸
京都 平瀬邸
京都 西郷邸
呉市 三宅邸
西宮市廳舍
多聞合資會社
魚崎 中村邸



大塚鐵工所金庫部

大阪市港區九條南通一丁目一三〇番地
所主 瀧村松之助
電話西五〇一七番

工場 | 九條南通一丁目 | 三軒家上之町 | 北境川町

NIPPON ELEVATOR CO.



營業科目

一般輸送機械
ホイスト
ロープホーレージ
エスカレーター
ケーブルカー
コンベヤー各種
エレベーター各種

設計製作

大阪市東區中道川西町

日本エレベーター製造株式會社

電話東 (94.) 2367.3805 番

取締役社長 工學博士 片岡安

專務取締役 工學博士 堀覺太郎

東京支店

東京驛前丸ノ内ビルディング四階

電話丸ノ内 (23) 3073.3074 番

專賣特許 東松式外二拾八件

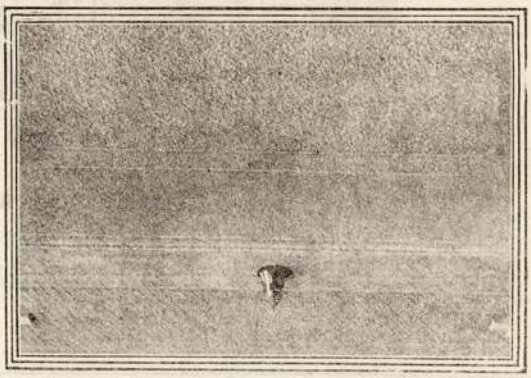
コンクリート天井

木壁天井

防響裝置

專賣特許

劇場・公會堂・講堂
コンクリート建造室内の
反響(聲の響を)防ぐ壁なり



大阪市立靱尋常小學校　天井壁

松井式スポンジ壁、(コルクとゴム
を四分厚みに塗り上ぐ)毛布張
其他防響裝置施工工事一切

コンクリート地付

木壁地付

床板

未着手の設計濟

講堂	三ケ所
劇場	二ケ所
公會堂	一ケ所

カタログ申越次第進呈

大阪市西區南堀江上通五丁目

松井組

電話櫻川一一七〇番

炭化コルク



冷藏防熱用（製産高工場設備）**東洋第一位!!**

住宅敷物用、リノリユーム下敷用

東洋コルク工業株式會社

本社及工場 廣島市吉島町 電特長一七九二

大阪出張所 大阪市北區堂島濱通一丁目百十番地 電話北一三八九

東京出張所 東京市神田區豊島町七番地 電浪花八五三番



チヨコレート色

並に

辨柄・黒

綠・黄

【用途】

舗床、壁塗用
スレート用
セメント瓦斯タイル用
其他セメント加工品用
建築材料用
各種塗料用

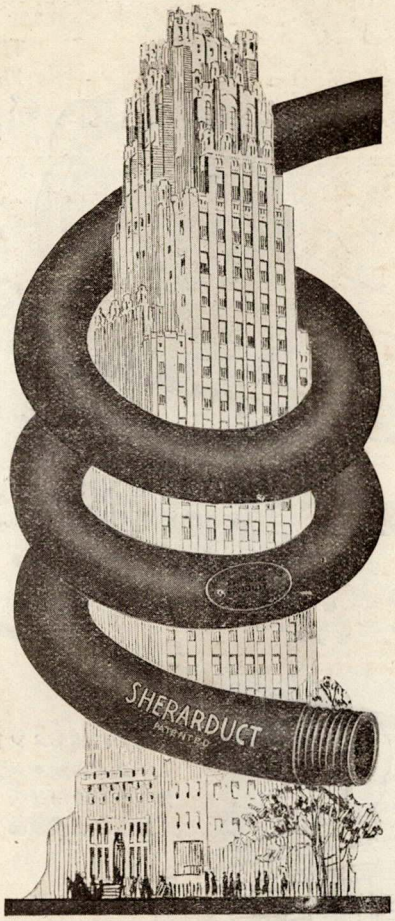
合資會社 **東洋鑛粉所**

大阪市西成區津守町六壹壹（高野線木津川驛際）
電話櫻川四二四六番

東京營業所
東京府下淀橋町角筈六六八
電話四谷七八六番

シエラーダクト

絶對防錆



優秀第一

型錄進呈

日本總代理店

ナンコク商事株式會社

東京　大阪　紐育

丸ノ内仲通十號館　堺筋・野村ビル　チヤーチ街

淺野波形板

母屋が木質でも鐵骨でも
野地板がなくも勾配が緩
くも取付られる
天下無敵の屋根材



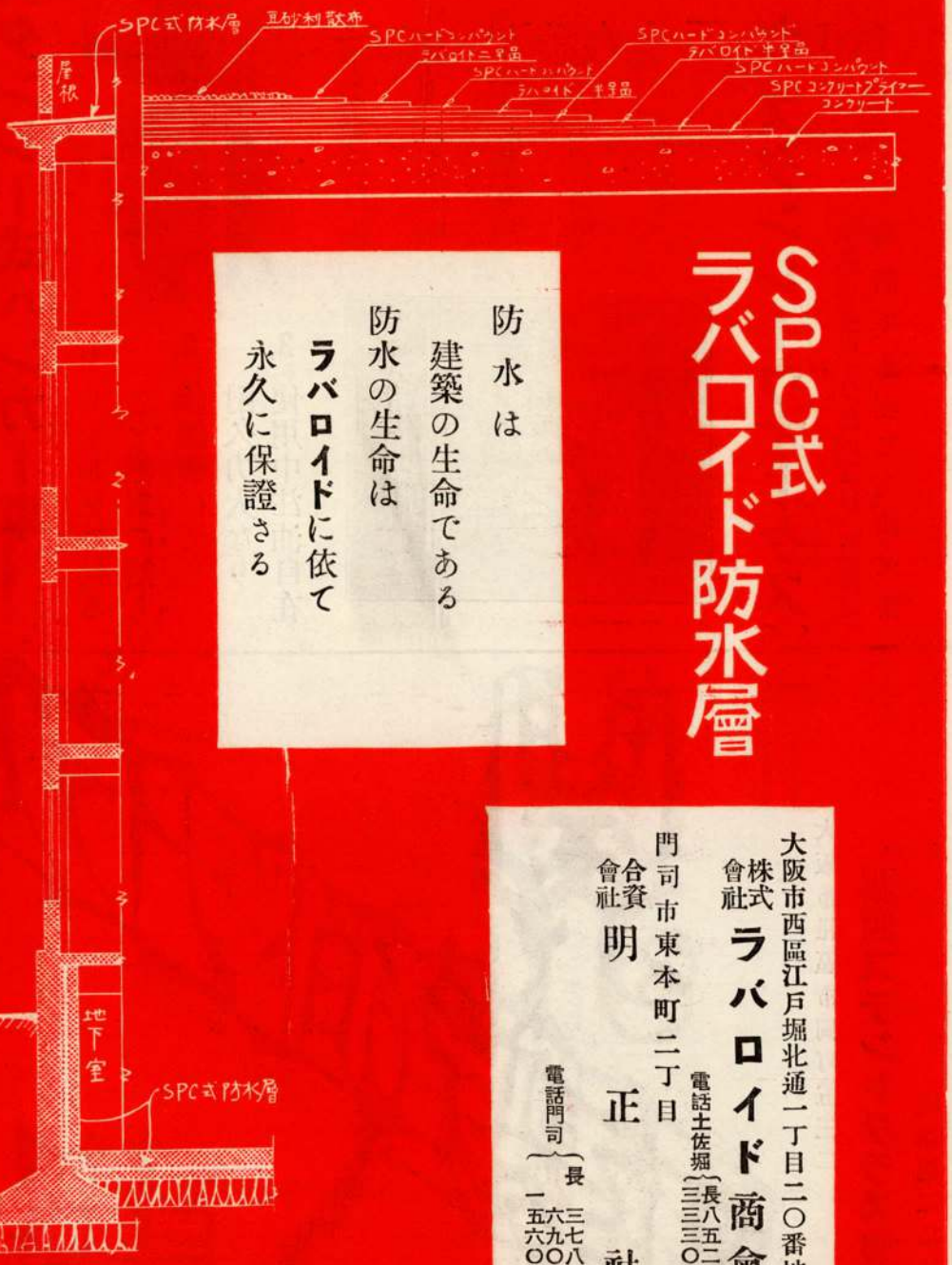
淺野スレート株式會社

東京	大阪	門司	名古屋	札幌
京橋區三十間堀三丁目 電話 銀座 一八六〇 二八六一 二八六二	北區曾根崎新地三丁目 電話 北五〇八二 五〇八三	白木ビル 電話 長一九三一 二三八	中區南鍛冶屋町三丁目 電話中 一〇九七	北三條東四丁目ノ一 電話 長五九八



強靱の石綿セメント製ゆ
ゑ下見・内壁・天井・間
仕切壁等に用ひて
比類なき最敵品

淺野壁板



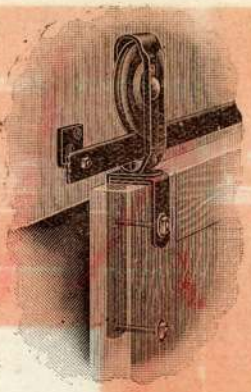
SPC式 ラバロイド防水層

防水は
建築の生命である
防水の生命は
ラバロイドに依て
永久に保證さる

大阪市西區江戸堀北通一丁目二〇番地
株式會社 **ラバロイド商會**
電話土佐堀（長八五二番 三三三〇番）

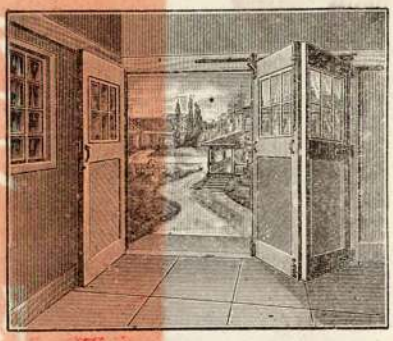
門司市東本町二丁目
合資會社 **明正社**
電話門司（長 三七八番 六九〇番 一 五六〇番）

スタンレー式ハンガー車



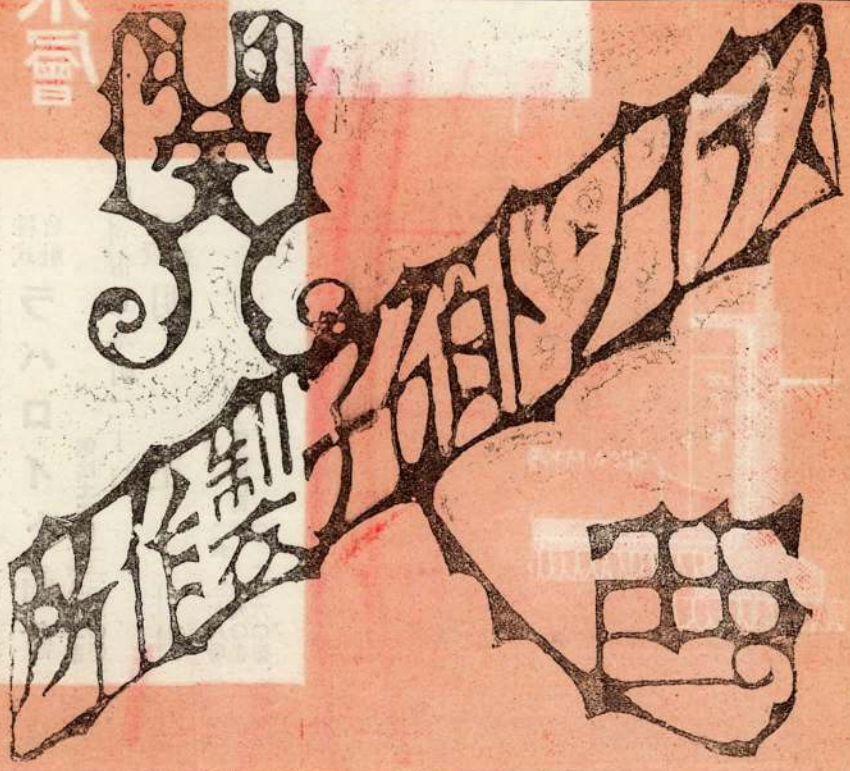
1. レールを外れることこと絶對に無し
2. 鋼鐵製にて耐久力大なり
3. 使用中注油自在
4. 上下の調節自由
5. 首廻り式なるを以て下の如き戸の釣り方に好適

（カタログ進呈）



ゼ。スタンレーウオークス

大阪市北區中ノ島四丁目三二番地
電話 土佐堀二一四五番



大阪市港區市岡町五三二

關西ステンドグラス製作所

電話西二二三四番

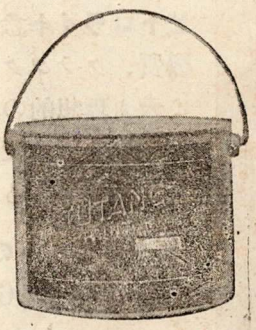
日本ペイント

創業 明治十四年

槍印トタンペイント

トタン板は鐵板の腐蝕を防ぐべく表面に亞鉛をメッキしたものであるが 矢張り腐蝕を免がれぬので從來普通ペイントを塗つて居りました 然るに普通ペイントではスグ剝落して防蝕の目的を達し得ないのであります。

此の槍印トタンペイントは特種の製法により化學的にトタン面と融合作用を生じ決して剝落の虞れなく 且つ其中に有効なる防錆成分を含んでおりますから其名の通り唯一理想的のトタン塗料であります 是非一度試みて頂きたい。



東洋最大之工場

大阪 東京

純國産

ニュース印（日本ドアーチエック製品）

扉閉鎖器（ドアーチエック）各種

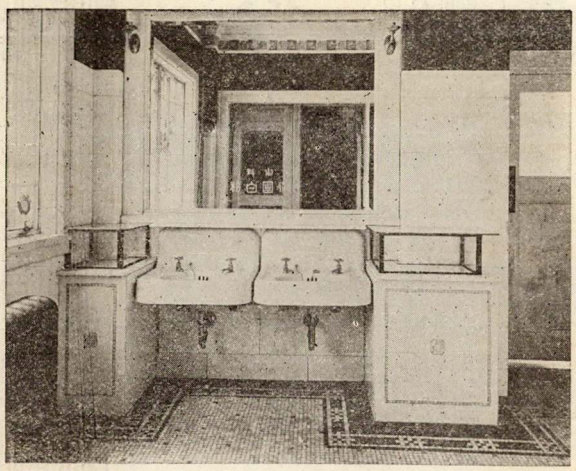
重なる納入先

農林省	大阪朝日新聞社
八幡製鐵所	大阪毎日新聞社
大阪鐵道局	大阪遞信局
呉海軍工廠	寶塚ホテル
株式會社大丸	大林組
丸龜市役所	清水組
大阪商船會社	大倉組
大阪鐵工所	大阪高等工業學校
明治海運	其他省略

發賣元

合資會社 **高陽商店**

大阪市西區立賣堀南通四丁目
電話新町四三九六番
振替大阪二一二五二番



便所…化粧室…湯殿

ビトロライトは永久に、汚染、腐蝕變質、クラック等の憂は絶對にないと云ふ理想的の貼瓦材であります。これを便所に使用してはじめて衛生的と云ひ得るものではないでせうか

ビトロライトの大きさ

3尺×6尺

色合…白、黑、アイボリー、ジエイト

大阪市浪速區櫻川町一丁目一〇五四番地

大阪ビトロライト工事合資會社

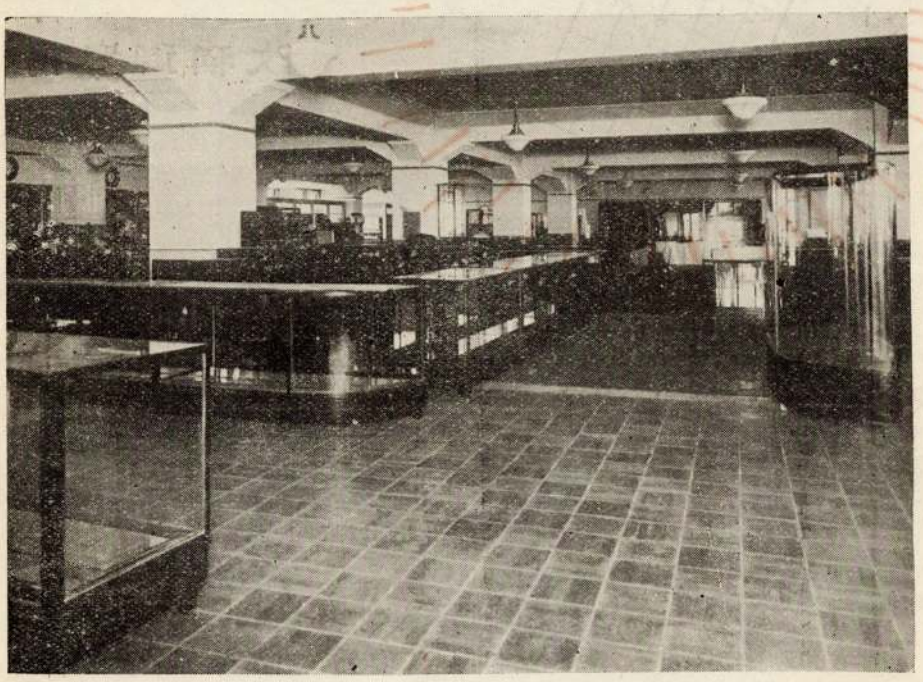
電話櫻川二二一四番

出張所　東京市日本橋區江戸橋二丁目二番地　電話日本橋(24)〇九六九番

▶寫眞は新案特許・專賣特許**リソード**床御使用の◀

阪急マーケツト

◎竹中工務店　施工



◎施工面積　一千百坪

理想的根太無床板

專賣特許　練革床

特許ピトリウム床
特許ピトチック內外壁
特許葵式フローリング
ブロック

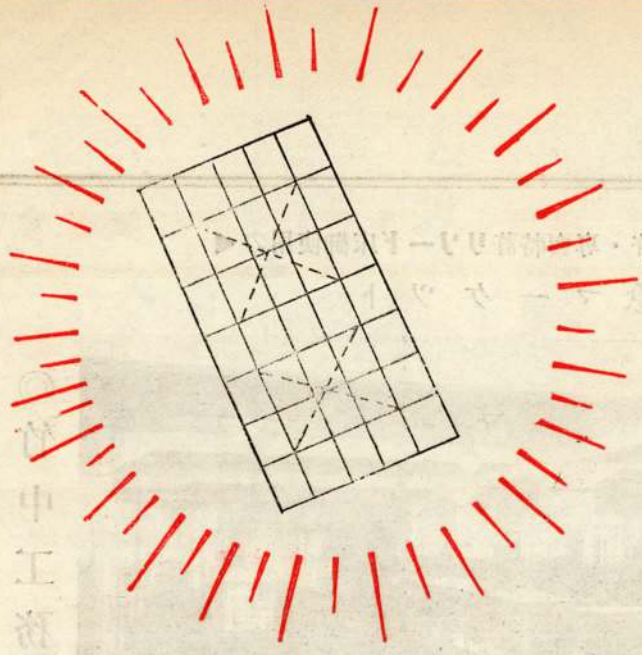
實製　槍床板

特許葵式淨化裝置
水道、衛生工事
タイル、衛生陶器

衛生工事

葵商會

大阪市港區境川町四丁目四十番地　電西(長)四一九六
東京營業所　東京市京橋區木挽町二ノ一　電話京橋三九五・九三二



フェネストラ

改稱御案内

アルミナ・スチール・サッシュ

北米合衆國全土の需用總高の六割を供給す

數に於て、質に於て、加ふるに手奇際よい仕上げに於て、世界的に知られて居るサッシュ。

全て機械的製作による特能でありまして、幾千枚幾万枚作りましも、寸分間違ひのない、同時に美麗に出來よるものであります。一々尺を當てて、鋸で切つて、繼ぎ合せて、焼きつけて、手ハンマーで叩いて作り上げた小異薄のものではありません。特に誇りとして居る、ジョイント即ち竪、横の桟の通貫して居るが故に、どんな事件が持ち上りましても、ジョイントが外れる恐れが有りません。

もう一つの特質は、セクションが全部二重に合して居りますので、水切れよく、隙間洩る風など絶體に入らず、わざわざ 不體裁な水切板など付ける必要がないのであります。

今や日本中は勿論、朝鮮、滿州方面到る處、吾製品が偉彩を放つて居ります。

デトロイト・スチール・プロダクト・コンパニー

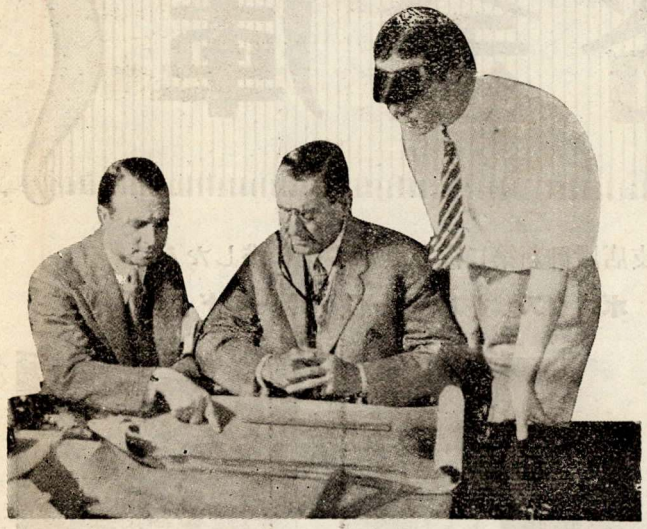
日本特派代表者

横濱 **エッチ・イー・ルート事務所**

關東代理店　東京日本橋區
關西代理店　大阪東區
島貿易株式會社
朝鮮代理店　京城　株式會社　伊藤商行
滿州代理店　大連　株式會社　原田組

AD-L-30

ミンワツクス製品は補裝し・保護し・且つ美化す



奉仕部員と御相談中の一例

防水工事なら何んでも

コンクリート・石・木材の

防水と防濕と
保護と彩色と

相談は一時の世話

成績は末代の寶

奉仕部を御利用下さい。

紐育

ミンワックス株式會社

日本特派代表者

横濱　エッチ・イー・ルート事務所

代理店

東京・大阪	島貿易株式會社
朝鮮	株式會社伊藤商行
大連	合名會社原田組

AD-32-M

メンブレン式防水
基礎工防水
コンパウンド類
プラスター防濕
アスファルト一式
煉瓦コンクリート塗裝
液體防水
コンクリート床防水
コンクリート床塗料
木材防濕材

カタログ御請求あれ

防水工事なら何んでもと申します理由は過去25年間防水工材料專門に研究し試練を經て參りました事により、いかなる事件、問題にも經驗があるもので就中

水・蒸氣・風化・化學的

種々の問題による建築物體の外裝內裝の破損を保護する目的に設計家諸氏よりの御相談があります、この時は直ちに適切な工法を御案內する事になつてゐまして、

今や材料商としても、誠心誠意、施工主又は建築家と協力し、自己に恥ぢず他に何等かの益を齎らすべき建築を生む樣に心掛けねばならぬものと私共は常に考へて居ります。

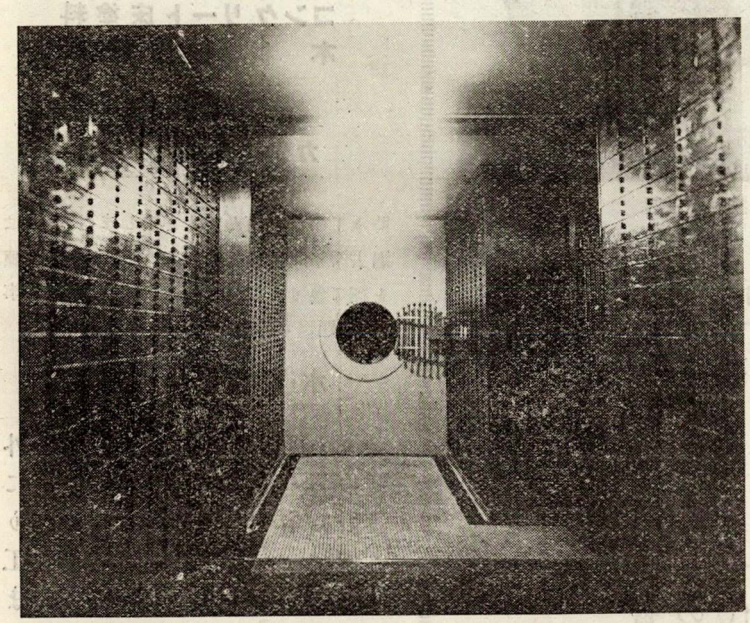
どうぞ、御氣輕に、私共の奉仕部を御利用下さい。

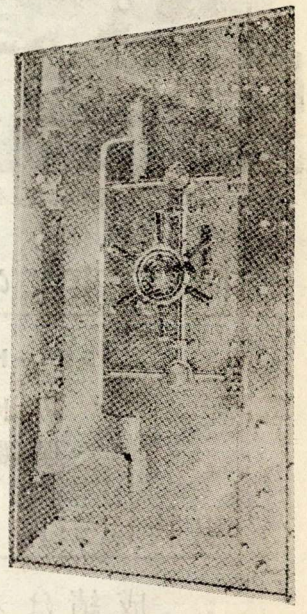
多年の經驗と專門の資料とを差上げます。

大谷金庫

下圖は日本興業銀行神戸支店殿御新築に際し納入の榮に浴したる

大谷製 セーフ デポヂツト ボツクス 並に セーフ ボールド ドワー





株式會社

大谷金庫店

大阪支店 大阪市東區堺筋平野町停留所前

電話本局三九三四番

其ノ他

本支店 東京・京都・神戸

小住宅研究　第一集

謹奉迎龍駕

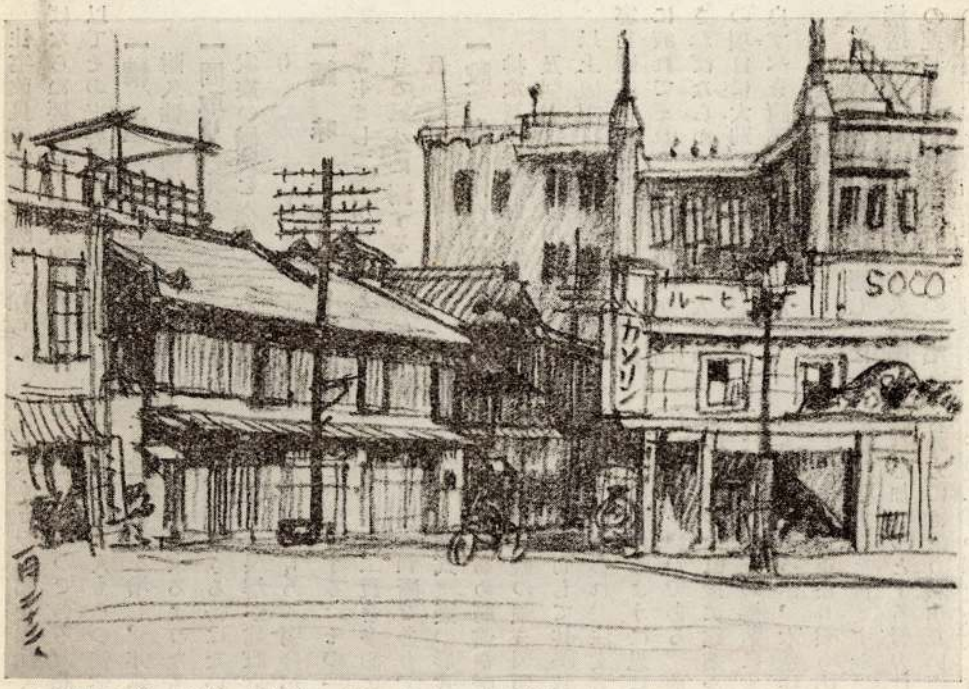
薫風綠葉に映え、祥雲瑞光を昭らす。維時五月二十二日龍駕西巡、海路錦城に御臨幸。御駐蹕三日、親しく産業都市の實況を御巡察相成らるゝ趣を拜聞す。市民の光榮空前の盛儀たらずんばあらず。

其第一日には親しく市民の熱誠なる奉迎を受けさせられ次いで連日府市の教育、産業、並びに社會施設の一般を御觀覽遊ばさるゝのみならず第三日には　畏くも學生、青年團等の御親閲にも臨ませらるゝときく。

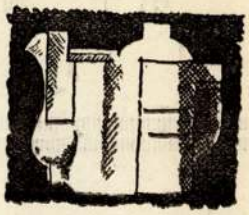
聖慮宏大萬民感泣す。

謹んで茲に奉迎の誠を詞ぶ。

奉祝　奉祝



大大阪の新態，舊態　蜆橋附近（取り殘された曾根崎新地の一部）



我國の住宅は如何にして改造されるか

工學博士 片岡安

我國の從來の住宅は現代の文化に添はざる點が頗る多いから、到底この儘に推移して行くのを見送ることは出來ない。さればと言つて我々の机上に論議さるるように容易く改造さるゝものとも思はれぬ。又建築技術家の住宅改良案なるものも千態萬樣であつて、構造の點に重きを置いて立案するものと、趣味の洗練を主として考ふるものとの間に於ても、亦實用の利便に重きを置く場合と經濟上の利益を主として考ふるものとの間に於ても、其改良振りに可なり甚しき差異がある。要するに改良案そのものが已に非常に廣き範圍に跨がれる多趣多樣到底一律に論議し得るは難かしき問題であるに加へて、從來の我國の住宅がその何れの方面に於てもその改良案を適切とする程、改良を急要とする方面が廣く且つ多いのである。言ひ換ふれば現狀の大部分に改良を加へざるに於ては現代文化に適合するものとならぬと言ふ事になる。然らば實際問題として我國の住宅が如何なる徑路を經て其改造の實を擧げ得るか、といふ眞劍味の研究をなす事が目下の急務ではあるまいか。唯色々の方面から見た改良案を山積してそれを以て改造の實を擧げんとしたところで所詮其目的を達するものではない。むしろ亂雜なる過渡時代の渦卷を激成するの嫌がありはしないか。過去二三十年間に於ける改良案の幾多の試みは何れもその事情を雄辯に物語つて居るといつても差支はない。

◇

住宅改良の立案に際して採らねばならぬ要點は大體左の四項目を以てその主要なるものとする。

一構　造　耐震、耐火、其他耐久性の構造

一間取り　來客本位を棄てて家族の慰安を本位とする間取り

一趣　味　外觀及內部裝飾等主として實用及經濟を超越せる氣分に關する藝術的取扱

一設　備　防寒、防濕、給水排水及便所裝置等の衛生設備及强弱電力の應用設備

以上の項目も詳細に亘りその內容を研究するときは尙幾十の部分に岐れてそれぞれの改良點を見出さねばならぬのであるが、大體右の項目に大別して我國の住宅の改良すべき諸點を概說して見たい。

◇

第一の**構造**の點に關しては構造學、殊に耐震構造や防火建築の進歩せる今日に於て我國の住宅の改良すべき諸點は非常に明瞭となつて來たのである。故に住宅の建設に際してはたとへそれが構造物としては輕微のものであつてもなるべくその欠點を取除くようにせねばならぬのである。此點に就ては如何なる人もその住宅が構造上一段と强度を增し、非常の際にも十分安心出來るようなものになることを喜ばざる筈はないが、唯そこに大なる誤解が建設者にも亦設計者の方にもある場合が頗る多い事を遺憾とする。その一つは耐震構造は建築工費を多額に要するといふ常識的判斷であり、他の一つは在來の楣式建築の形式を極度に保存せんが爲め筋違を嫌ふことや、木造萬能觀の强き因習があることである。而して其誤解には程度に大小こそあれ、注文者も設計者も共に陷れるように思はれる場合が頗る多いのである。地震の被害に遭遇つた直後に建築をする場合は或る程度その構造にも注意を拂ふようであるが、木造住宅は何としても數百年在り來りの儘の構造を踏襲するを常とする。それに改良を加へんとする努力は、設計者の方にも余り熱がない場合が多い。況してや構造全般に亘つての根本的改造の如きは殆んど顧みら

れざるの現況である。

◇

第二の**間取り**に就ては、近來その改良を企てる者が可なり多くなつて來たのであるが、その實現に於て何れも其大部分は相變らず從來の配置を踏襲して居るようである。即ち間取りの改造を必要とする點に於ては異口同音一致するのであるが、さてその實行に際しては十分の成案を得ず、僅かに書齋や應接室らしき椅子式の一二室を添加する位を以て滿足するを常とする。固より小規模の住宅に至つてはそれすらも實現の見込なく改良されたる間取りとして見るべきものは殆んど稀有であるといつても差支はない。

◇

第三の**趣味**に就ては從來の日本風の住宅は相當に洗練されたる數寄屋造りの趣味が十分に取り入れてあるから、間取り、構造ともに從來のものを踏襲せる場合に、忠實に和樣趣味を發揮せるものは假令それが模倣であつて、何等新し味を見出し得ないけれども、依然として良い感じを與ふることは事實である。唯極端に歐米の趣味を加へんとしたものは概ね失敗に終り、住宅としては殊更に重苦しき趣味に陷り、恰も木に竹を繼いだような感じを生ぜしめるようである。中には間取り、構造其他一切歐米のそれを取り入れ、內外の趣味も亦歐米の何處かの風を移入したようなものもあるが、それ等は我國に於ける住宅として取扱ふには余りに輸入臭味のものであるから此處にはそれを考へぬこととする。

◇

第四の**設備**に就ては、從來の日本風住宅には全然欠けて居つたといつても差支ない程貧弱であつた。而して我々の日常の生活に於てその設備の利用が齎らす利便幸福は實に多大なものである事は如何なる人も體驗して疑はざるところである。殊に寒中の暖房や暑中の扇風機の裝置の如き、完全なる照明器、電力及瓦斯の臺所應用更に排水、排便の設備等に至つては、全く現代文化が招來せる人類の幸福を增進すべき必須の條件となつて來たのである。必ずしもブルジョア階級の邸宅と限らず、共同住宅やコッテージ風の小住宅に至るまで、此等の設備は生活を現代化せんが爲めには必要なものとなつて來た。而して若し此等の設備を有せざるときは、其構造や間取りに於て十分に改良され、內容外觀に於て洗練されたる趣味が溢るゝとも、我々日常生活の享有すべき幸福の度合は現代化さる小住宅のそれに及ばないのである。要するに現代の住宅としてはその設備が完全なるや否やといふことがあらゆる他の條件よりも重く且つ緊要であると見られる。

◇

以上述べたる四つの項目は何れも住宅をより良きものにする爲めに緊要なる方面であるが、さし當り共現實力を最も強く發揮するものは住宅內の設備を完全にせんとする建設者、即ち民衆の翼望であると考へられる。構造の改善、間取りの改良、及趣味の研究の如きは、我國住宅改造の大方針には必須の方面であるとはいへ、一般民衆の期待の前には餘りに緣が遠いのである。設備の完全なることに依つて民衆の日常生活をより多く幸福ならしめるように改造の方針を樹て、其方針を實現するに必要なる方面から構造、間取り、更に趣味の方へ移ることを便法とせねばならぬ。設備さへ良くなれば構造その他は論ぜぬといふのではない。むしろ設備の完きを期すると共に他の方面を加味することに忽であつてはならぬのである。

更に一歩を進めて考ふれば、住宅改造の實現力如何は其經濟的關係にあると見ることが出來る。住宅の建設は一つの大なる企業である。企業には其經濟的基礎が確實でなくてはならぬ。經濟的に採算が執れるか、或はその欠陷を社會政策的に補償さるかの外には一般の住宅建設は實現せぬのである。此の意味に於て英國が一八九〇年に已に住宅法を制定し、主として公共團體をして公營住宅の建設を奬勵したことは有名なる事實である。而してその社會政策としての成功は已に定評があるから此處には論ぜぬことゝするが、同時に小住宅を改善して、中古以來の不潔にして非衛生的で、しかも陰鬱不快の住宅が漸次好適なる設備を有する現代住宅に改良され、英國の都市民の健康を大に增進した。又增進しつゝあるその徑路を見遁す

譯にはゆかない。又同時に彼國に於ける勞働階級の家庭生活の幸福を增し、文化生活の向上に寄與したことの多大なるは言ふまでもないのである。住宅の改造を唯ブルジョア階級の閑事業や贅澤三昧の一種と見做さんとする我國の先達者流は少しく眼を海外の住宅改造運動に注ぎ、我國のそれが如何に微弱にして實現力少きかを洞察せねばならぬのである。

◇

我國の住宅改造は先づ第一に國法により其建設を容易ならしめる各種の手段を必要とする。殊に其經濟的基礎を確實にする點に於てたゞ一般の企業と同樣に取扱ふ譯にゆかないのである。土地の收用を容るし、低利資金の貸出し及企業計畫參與に依つてあらゆる資料と經驗を給し、統制を保ちながら其進展を計るようにする時は、非衛生地區の不良住宅は漸次改造さる、ことゝなるであらふ。今日に於ては大都市はそれぞれ公營住宅を計畫し、相當に効果を擧げて居るようであるが、國家としては簡單なる住宅組合法と、僅小なる低利資金貸出しをなすに過ぎない。

最近に不良住宅地區の改良の爲めに相當の資金を補助することになつたのであるが、其實現の程度は甚だ不十分のものらしく、それには余り多くの期待を有ち得ない。要するに我國の住宅の改造は英國のそれよりも、更に更に困難なる條件が伴つて居るのであるから、英國にて成功した其政策に倣ふたからとて、必ずしも其目的を達するものではない。況してや英吉利にて四十年來殊に歐洲大戰亂以來國家の最大問題の隨一として取扱つて來たこの重大なる住宅問題を僅かに內務行政の一項目として考へて居るようでは所詮その目的を達し得ないことは明かである。英國に於ては住宅改造の立案は比較的簡單であつた。過去數百年來の生活の習慣は一擧に變化したのではなく、漸次現代化して來たのであるから、現代生活に適合せんとする住宅も、過去のものに或る改造を加へ、或る設備を加へることに依つて其目的を達するのであるが、我國の住宅は上述の如き四項目に亘り相當大きな改良を加へる事を必須の條件とするのである。それに加ふるに國法の擁護乏しく經濟上の條件も必ずしも有利ではない。そこに住宅問題が容易に解決されない理由が存在すると考へられる。

◇

然らば我國の住宅は如何にして改造されるのであるか、此儘に行詰まりながら自然に時と共に推移するを待つより外に途はないのであるか。我國の文化はいろいろの方面に於て行き詰まつて居るが、住宅はその尤も甚しいものの一つであつて、しかもその行詰りを打開するに最も困難なものであることを考ふる時に、我々建築に關係あるものとしては、一種言ふべからざる不快を感じ、又同時に國家に對して盡すべき道を十分に盡して居ないような感じがするのである。我々の微力にては如何ともすることが出來ないかも知れぬけれども、會員一同の協力に依る研究と努力は或は其打開の一助となり得るのではないか。

會員一同の協力とは限らず、他の有力なる人士や團體と協力することも更に有効であつて、望ましいことである。

英國田園保存會の展覽會

官憲かよい趣味の家の外は許さないことにしたい。運輸については木や花をうゑて、踈野な通路が眼に入らぬやうにしたい。英國には從來眼を驚かすやうな風景はないしかし風景は穩かで溫かい。その風景中に置かれるものは、すべて同一調子でなくてはならぬ。優雅で穩かで洗練されて居なくてはならぬ。」

かゝる演說が勞働黨の首領の口から出ると思ふと、いかにわが國と違ふかと驚かれるではないか。

—山本良吉—



米國公營小住宅に就て並に英國との比較

宮內省技師 權藤要吉

こゝに述べようとするアメリカに於ける公營小住宅といふのは、云はゞユナイテツド ステーツス、ハウシング コオポレーションの大體の說明と、主として吾々建築に關係ある標準の建物及それに關する、數字的に調査されてゐる事項等に就ての記事である。

尙英國に於ては、ロンドン、カウンテー、カウンシルにより住宅に關する調査があり、施設機關もあるから、米國のそれと數字的及其他其相當個所に於て比較的に並べて見よう。

只全般に通じて兩者を比較する事は、國情も異り其成立及兩者の目的も異る故同じスケールでこれを表す事は困難な事である。

さて米國に於て、例の歐洲大戰迄は、此の公營の住宅設備はなかつたが、戰爭當時より引續き戰後に至り住宅問題がやかましくなつた。即建築材料は騰貴し手間は高くなるに從ひ、建築費も當然增して來、一方人口も增加するにつけて益々其れが問題となつて來たのである。尙戰爭中或一地方の工場地帶に自然に集中した勞働者の群があり其部分には至つて住宅設備も不完全で、且不衛生で無理に戰爭といふ混亂の狀態中に生活をつゞけて來たのである。

戰爭がすんで、夫等の工場が舊態に復しても一旦蝟集して來た勞働者は、殆ど大半其地方に住み續けて他の工場に職を求むる狀態にあつたので、之れが問題となり一九一八年五月議會は戰時を考へて公營の建築會社を起す事を協贊して同年七月此の會社が成立したのである。

◇

此の公營建築會社の仕事といふのは、大小各種の住宅を設計及施工するので、大別して左の五部局に分れてゐる。

一、住宅都市の計畫
二、道路の築造
三、建物の設計企畫
四、建築材料部
五、施工部

即一に於ては全般に亘る一般計畫であり、二は土木事業に相當し三が建築の設計四部に於ては材料の供給買入を司り、五は現業部である。現今に於ても此會社の仕事は米國に於ける模範的の代表工事とされてゐる。

第一表

家族世帶數	一九一八年十一月	同十九年四月
住宅	22,391	5,055
アパートメント	2,579	1,093
フラト	計 24,970	計 6,148

第一圖 米國に於ける一般的住宅スケツチ



其建設すべき家屋數の算定の基準を調ぶるに、工業的の住宅布設に關するものに於ては戰時に於ける其地方に入り込む家族數と、平靜の家族數との差を超過せざる事尙又將來五年後に於ける其地の豫想による人口の增加及、土地の發展の狀況をも考慮に入れてある。

一九一八年の發表によると、以上述べた條件に對する必要數の外に戰爭が最も酣にして全般に亘りて總動員する時の追加として

男　一二一・七三三人
女　七九・九一六
計　二九二・六四九

この計畫は、元來戰爭を目的として計畫された數であるから千九百十八年十一月に一時中止され、戰後の一九一九年には急に其數を減じてゐる。（第一表參照）

◇

建築會社の一般計畫部に於ける道路は、其土地の交通狀態にも依るが、車道一筋に就て八呎複線の交通路に對しては各々七呎半宛を充てゝゐる。その植樹帶には五呎半より十一呎迄を適當に採用する事を、衛生調査局より推奬してゐる。圖は米國に於ける一般的の住宅地域に於ける一般的のものである。

英國に於ける住宅は成る可く多くを土地に收容するを目的とし、主として通路前面にテレスを取り其周圍の樹木を取入れ道路と家の間には狹い乍らも出來る丈け生垣及植込を取る樣にしてゐる。

米國のものは殆ど獨立して建てられ、地價の關係にも依るが、テレス式と獨立家屋との坪數に對する密度を比較すれば

第二表

一、家族用住宅	家族數	百分率
一戶建住宅	九、五四三	四三、四
二戶續住宅	三、九九六	一八、二
連續式（テレス）	五、〇五七	二三、〇
二、家族用		
獨立式	四四〇	二、〇
二戶續式	三六〇	一、七
連續式	六九三	三、一
アパートメント	一、八八七	八、六
計	二一、九八四	一〇〇

第三表

住宅の大さ 米國建築會社の分		
二　室（臺所を含む）	三四	—
三　室（同）	九七〇	四一六
四　室（同）	四四〇四	二七六二
五　室（同）	四八三七	四〇九七
六　室（同）	一〇一四三	一八五九
七　室（同）	二七七	一四三
八　室（同）	三〇六	—
其他（各種不定）	一〇〇九	—
計	二一、九八〇	九二七七

ロンドン、カウンテーカウンシルの分（一九二五年迄）

形式	一エーカー（一二一八坪）家族數
テレスタイプ	一八、〇
二戶連續式	九、〇
獨立家屋	五、〇
三種混合式	六、四

これは道路、植樹地帶廣場等を含んで平均した數字である。それを實際に建築された、家屋に生活する家族數によりて分けて見ると、

一エーカーに平均五・六家族となる

空地及町の道路其他を引き去ると1/10エーカー（我國の百二十二坪）となり。我國の小住宅といふ標準と大なる開きのある事を知る。

建築會社の發表による二一、九八四家族の家屋の種類を分類して見ると（第二表參照）

◇

次に米國に於けるこれ等の小住宅が、どの位の部屋數を有するかといふのを數字的に示し、尙又英國に於ける同程度の住宅と比較し

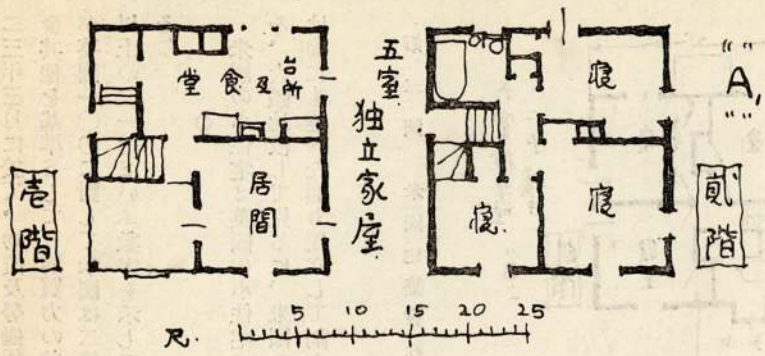
て見るに（第三表參照）

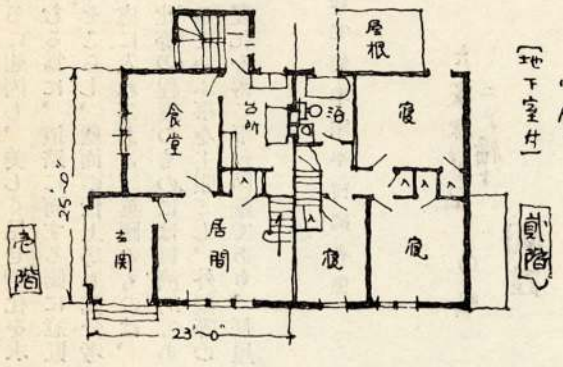
英國の分には、一戸建の住宅がなく、二戸連續の一對が道路の分岐點等に於て見られ、大體としては四戸から十二戸連續の家屋が多く、極く稀に十八乃至二十戸連續のものがある。

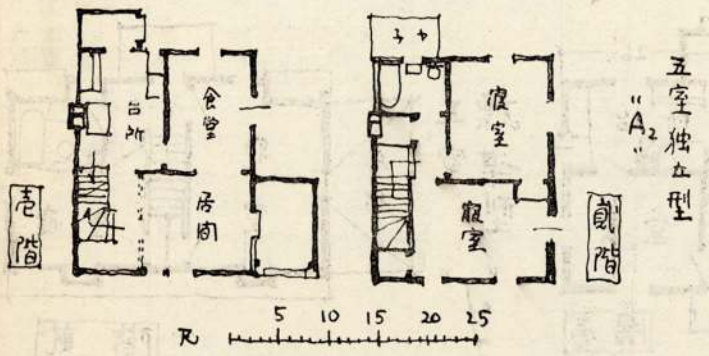
米國のものは、最も普通にして一棟建の獨立家屋が多く、部屋數は一家族に對して六室位である。此の部屋數は米國に於ては臺所を含ませ英國に於ては、含まないのが習慣の樣であるが比較するのに便利の爲に兩方共含ませてある。尙附圖にある樣に食堂と臺所と兼用になつてゐるのが、米國の小住宅にはよく見られる事である。

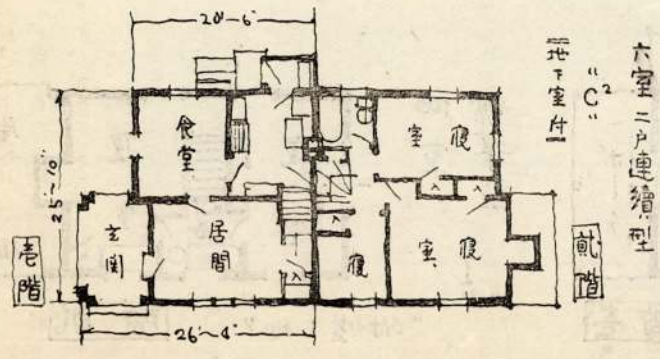
この事實よりしても、アパートメントは米國のものが英國のより遙に餘裕を取つて、のびくした感じを與へる樣に出來てゐる。その相違は米國と英國に於ける購買力謂はゞ生活程度の相違である。英國勞働省の調査に依れば、一九

第二圖　米國建築會社小住宅標準型平面圖各種







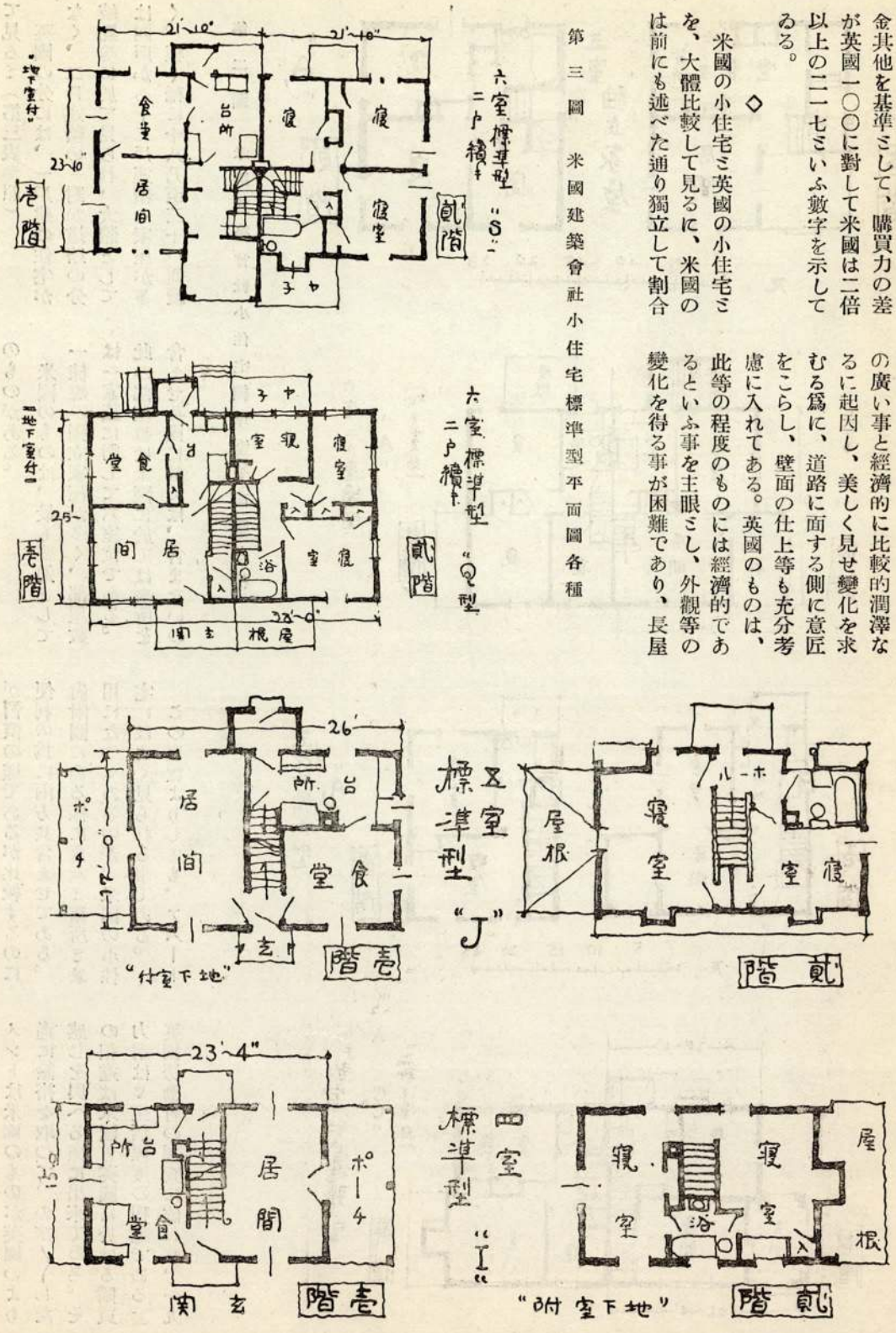


二三年三月に於て、物價及勞働賃金其他を基準として、購買力の差が英國一〇〇に對して米國は二倍以上の二一七といふ數字を示してゐる。

◇

米國の小住宅と英國の小住宅とを、大體比較して見るに、米國のは前にも述べた通り獨立して割合に大なるものがある。それは土地の廣い事と經濟的に比較的潤澤なるに起因し、美しく見せ變化を求むる爲に、道路に面する側に意匠をこらし、壁面の仕上等も充分考慮に入れてある。英國のものは、此等の程度のものには經濟的であるといふ事を主眼とし、外觀等の變化を得る事が困難であり、長屋

第三圖　米國建築會社小住宅標準型平面圖各種



式の連續家屋で、其形や建物によつて美觀を增す事は出來ないが、其家屋の配置を巧に考へて、よりよく美觀を增す事が研究されてゐる。

間取に於て米國の分は、廣き玄關がありそのポーチの扉は直接居間に開く樣になつてゐる。

そして此の程度の家屋に於て第一階の部屋は通路になり、二階に昇る階段は此の部屋より用ふる樣になつてゐるのが多い。

時として、此位の小住宅に於ても內部にホールが取つてあるのも見へる。

食堂、臺所も亦普通の場合は、通路となつてゐる。地下室は大抵の場合に設けて、給湯設備の汽罐室及洗濯場に用ひられ、地下室の床は普通地盤より極く僅か堀り下けて、採光を充分にする。

揭載せる平面圖は、米國建築會社に於ける標準型各種を示すものであり、米國小住宅の代表的のものである。

尙左に揭ぐるもの(第四表參照)は米國に於ける公營建築會社の小住宅に對する部屋の大さ及び、英國衛生保健局の唱道するものゝを比較したものである。(終)

(一九二九・四・一七)

第四表

	米國(公營建築會社)		英國(衛生保健局)	
室	大さ	平方尺	室	平方尺
居室	(一〇×一二×一四)	一二〇 一六八	居室	一八〇
食堂	(一二×一二×一四)	一〇八 一六八	客室	一二〇
臺所	(一〇×一二×一四)	一二〇 一六八	皿洗室	八〇
	(他に食堂なき時)			
臺所	(他に獨立した食堂ある時)	最小限七〇		
寢室	(一〇×一二)	一二〇	第一寢室	一五〇
寢室	(大)(一二×一四)	一六八		
寢室	(小)	最小限八〇	第二寢室 第三寢室	最小限 一〇〇 六五
天井高		最小限八呎	天井高	八呎六吋以上
			二階建小住宅、階上階下の廣さは、此程度にて六二〇—九五〇平方尺となつてゐる	



小住宅にも必要なる耐震構造の心得

工學士 增田清

本則

一、他人の家を建てると思ふな我が家を建てると思へ。

二、不斷の注意が大切なり、建てた時の强さがいつ迄もあると限らず。

三、見榮にかける金があらば、骨組の强さにかけよ。

四、餘分に儲けようと思ふな、暴利をむさぼれば、惡い家が出來やすい。

五、何時迄も喜ばれる樣にせよ。

六、無理な注文をするな、無理な工事をするな、無理は損を招く。

七、何事にも親切がよし、材料にも、人にも。

八、安い家をつくるな、安い家は馬鹿にする故、耐震的になり難し。

九、こまかい所程注意せよ。

十、得心の行く仕事をせよ。

準則

一、地盤の堅いところを、出來るだけ撰べ。
二、軟弱なる地盤の所ならば、地中工事に注意せよ。
三、盛土の深い所は、さくるを賢明なりとす。
四、盛土の淺い所も、盛土に深淺の差あるか、或は家の一方が切取りなどの堅いところへ乘るが如きは不可なり。
五、崖の間際を避けよ、崖の下より四十五度の勾配に引いた線内に建てること。
六、石垣の上に直接乘せるな。
七、盛土の弱い所或は軟い所では、抗打をするがよし、但し水のない所へ、松杭を用ゐるは不可なり。
八、抗打程でなければ、コンクリートを打ち通して、土臺をのせよ。
九、鐵筋を入れば更によし。
十、土臺は出來るだけ廻せ。
十一、土臺の切れる所は、地中でつなぐ工夫をせよ。
十二、上の重さに出來るだけ、比例した基礎をせよ。
十三、安物と雖も、地中工事に手をぬくな。
十四、燧梁は要所々々に、必ず施せ。
十五、土臺と、コンクリートとはよく、ボールトにて止めよ
十六、柱は土臺に充分に枘を入れ。
十七、金物を用ゐれば、更に可なり。
十八、柱は能ふ限り太く。
十九、柱を弱めぬ樣に、横物をとりつけよ。
二十、金物を用ひるがよし。
廿一、梁や其他の水平材も、繼手は必ず金物を用ひよ。
廿二、梁の兩端に特に注意せよ。
廿三、屋根材として重い梁をいゝ加減にのせるな。
廿四、壁は要所々々にくばれ。
廿五、筋違を入れよ。
廿六、筋違は、一方向きだけでは充分ならず。
廿七、壁を一個所に集めても、四方から空きでは、弱し。
廿八、二階の柱と一階の柱とをよく通せ。
廿九、床梁が人が歩いて撓む樣なのや、搖れる樣なのは、粗末な作り方と考へてよし。
三十、壁は板張りの方が強し。
卅一、屋根は輕い材料を用ひよ。
卅二、瓦葺きは倒れ易い。
卅三、同じ重さならば、不燃質のものがよし。
卅四、煉瓦や、コンクリートの煙突を、木造につけるはよろしからず。
卅五、軒が出る方が雨がかゝらず、從つて腐れぬ故耐震力強し。
卅六、モルタル塗りならば防水材をぬれ。
卅七、上材を用ひよ(但し經費の許す限り)
卅八、間取の無理な形はわるし。
卅九、耐震は火事を防ぐ爲めに一層その重要性を增す。



住宅と家相問題

工學士 葛野壯一郎

最近郊外電車の中でふと或る知人に逢つたが其人は、こんな話を私に聞かせたのです。『井戸には困りました、渇水して、併し最近位置を換へて堀りかへてからやつと助つたやうです。それ許りでは有りません奇妙な事實が有ります、私の妻は宅に來て以來不思議に咳が出だして困つたのです。色々に手を盡しても何うしても治りません。冬も過ぎ陽い春が訪れ、夏となつてもやはり奇妙な咳は治らないのです。其内にこんどは小供が咳を始めました。小供が咳を始めると妙に妻の咳が止つてしまつたのです。妻のは止つても小供のは容易に止らず困り切つたのです。何うも氣持が悪くて仕方が有ませんからふと家相の本を觀ますと、子の方角の井戸は妻子に患ひ有りとあるじや有りませんか。私の家の井戸は眞北の子にあるのですから成る程是れだナと思つて、井戸屋を呼び早速吉方に堀りかへました。何うでせう堀りかへて一週間と經たない内に妙な咳はすつかり止んで了ひました。家相は本當に恐ろしいものですよ。』

◇

話と言ふのは是れだけですが私はこれに對して何と返事をしたものか、まさか郊外電車の中で議論もならず、只『左樣でしたか……』とそつけ無くあいさつするより他は無かつたのです。知人と言ふのは決して教養の無い人では有りません。言はゞ中流の紳士です。其人の口から眞面目に公衆の前で斯う言ふ話を聞くに至つては驚くの他は有りません。家相と言ふことが如何に日本人の頭に根強くこびりついて居るに驚くといはふか、或は又日本人の頭がさういふ俗説を誠に信じ易く出來てゐるといはふか、何れにしても私には驚嘆の他は無かつたのです。

事務所に着いても私は井戸の位置と咳の關係をつく〴〵考へさせられました。井戸の位置を換へて間も無く咳の止つたといふのは事實相違ないとしても、その止つた原因を井戸に結びつける理由が何處にあるのでせう。咳といへば呼吸器の疾患であり空氣の濕度とか濕度といつたものに密接に關係することは分り切つた事です。それが井戸と何う關係するのでせうか子の方角即ち北の方位は日當りの悪い乾きにくい方角です。さうした方向に常時水をあつかふ井戸があるといふのは東角其方面をしめり勝ちにする恐れがあり、濕氣は呼吸器の疾患に關係すると言はれますから其れが咳の原因になつたのだらかう無理にこじつけて考へてもみました。それならば餘程不完全な井戸の構造でもあり又排水等にも何の注意もされて居なかつたものと思はれます。しかしそれにしても妻子に限るといふのが一層お可笑しいでは有りませんか。家相と言へば大抵此類のお話が多いのですが、それが教養ある相當の人々にまで眞面目に信ぜられるに至つては、一面近代科學を基調とする文化をとり入れて產業交通あらゆる方面に努力して居る同一の人々である事の矛盾に驚かざるを得ません。

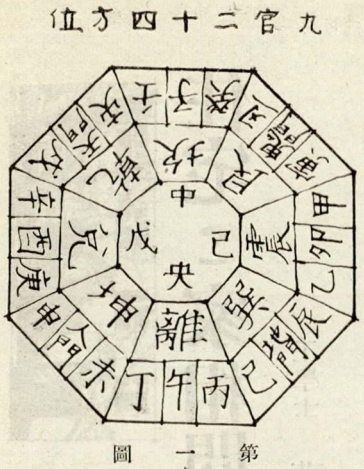
◇

吾々が建築を計畫するに當つてもやはり方位を論じます。何處に何があつてもよいと言ふのでは有りません。全建物の其れ〴〵の部分が凡て有る可きところに在る事を以て理想とします。しかし其據るところは所謂家相と言ふやうなものではなく採光通風といつた衛生上の見地と、內外觀望に關する風致の點及び實際上の必要如何に他はありません。これ以外には何にも考へる必要はないのです。同じやうに家相の方でも方位を論じますが、其據るところは全く違つた似ても似つかないところに有ります。中には吾々の言ふ衛生上の

見地等と一致する様な意見があつても、其れは全く偶然の事實でその論據に何等相通ずるところが有る譯では有りません。かりに左様言ふ一致點がたまさか有つたからと言つて、全く家相說を容認する理由とはならないのです。こんな點もよく世間から間違へられるところで、今日の衛生上の見地から觀ても相當根據のあるものだらふ等と思ふのは大きな間違ひで、全く違つた見地のものなのです。全體何を據所とするのか、何んな觀方をするのか、それさへわかれば大凡そ家相の眞價も分る筈です。

◇

一般に家相家は方位を二十四に分けます。これを九宮二十四方位といつて居りますが、九宮といふのは中央の外に易の八卦を八方に配した事をいふのでせう。二十四位の方は北の子に初まつて東北の丑寅、東の卯、東南の辰巳、南の午、西南の未申、西の戌亥と十二支が順環的に配置され、其間には東方には甲乙、南方には丙丁、西には庚辛、北には壬癸、中央には戊己の十干がはさまれ、更らに各隅々に天地鬼人の四門が置かれるといつた譯です。かやうな割合せに出來た九宮二十四方位といふものを定盤として、土地や家屋の中心に當るところに此定盤を置いて各方位を割り出し其吉凶を論じて居ます。



第一圖

吉凶の判斷には重に八方に於ける八卦の理論が基準となつて居る様です。八卦のこの配當は全體何を說明して居るものか、家相家の方位觀を知るにはやはり八卦の意義といつたものを面倒でも一通り知らなければなりません。何だか如何にも時代離れがして馬鹿々々しいやうな氣持がしてなりませんが、說明出來る程度に簡單に書て見ませう。

◇

西北即ち乾宮は天の義とあります。雨露の惠をうけ凡ての生物が其形を成し其所を得る所以は天の德の偉大さにありとして、此方位を一家にすれば主人、一國にすれば君主に當るとするのです。そんな意味から家相の方では專ら主人とか財產の安危を主ると觀て倉庫等には最吉方であると言つて居ります。又主人の部屋は是非此方位に置かねばならぬ等と云つて、わざ〳〵南向の見晴しのよい部屋を無視して此方角に持つて來た例も有ります。土地や家の形で此方角が欠けたり入り込んだりして居るのは貧地として凶なりとするのもやはり同じ理由で、反對に延びたり出張つた形を吉いとして居ります。

◇

西南即ち坤宮は乾宮の天に對して地の義とあります。地は萬物をのせ產み育てるといふところから君主に對する臣下、主人に對する主婦の安危にかゝわるとします。俗には病門だとか裏鬼門などゝ稱へて非常にやかましく云ふのも地の德をきづゝけるといふ點にあるのでせう。此方位に土地や建物が著しく出張つたり又は引込むのが不可いとするは勿論、一切の不淨を避け、主婦の病氣などが主として此部位の不備から來るといわれて居ます。

◇

東北即ち艮宮は山の義とあり不動の象とあります。陰の極から陽氣の生れるところとあつて主として嫡子の身の上にたとへます。相續人が弱かつたり病死したりするのは主に此方角の不備からとするので西南と同じく、出張りや著しい引込み其他陰濕不淨のものを避けるのです。俗に鬼門といふのは此方角で鬼神の止るところだといふ俗說です。陰の極とするところから自然さうした說も出て來たのでせう。鬼門といふ名が何だか恐ろしいやうな暗示を與へるのと一方實際からいつても日當りの惡い至極陰氣な方角である事が今日のやうに鬼門說の譯もない流行を來したものと思はれます。鬼門ではない貴門であつて陰極から陽氣のきざすところだから恐れ愼むのだ等と變つた說をいつて居る人も有りますが、何づれにしても同じ

やうなものです。

◇

東南即ち巽宮は風の義とあり、風が物を動かすやうに萬物の働らくところ、こんな意味から主に産業の盛衰に關するとします。同じ倉庫でも營業用の貨物を納れるものは此方向がよいといふのも其意味からです。乾宮と同じく土地や建物が此方角に張り出すのをよいとし、門とか玄關、窓、出入口を設ける吉方となつて居ます。東北の山即ち不動の象に對して風即ち活動的の方位と觀、人にすれば青年士女に當るので人門と呼ぶのも其んな意を含めたものでせう。

◇

東方の震宮は雷の義で、長い冬の眠りを春雷が破るやうに陰氣を破つて陽精の發動するところとするのです。この意味から西南と同じく産業や子孫の身の上に關すると考へられて居ます。

◇

西方の兌宮は澤の義とあり、潤澤の意味であらゆる穀類や果物の熱する大切な處として居ます。即ち何らかといふと活動的のところではないといふ意味から、門や玄關が此方角に當るのは凶いとされ、土地や建物の凹凸何れもあまり感心しない事になつて居ります。

◇

南方の離宮は火の義で萬物繁茂の德地とあります。此方角に土地や建物の張り出すのは吉とするのは陽氣を受けるため、しかしあまり多く出張るのは陽の上に更らに陽を重ねる意味となつて反つて凶い事になるのです。此方位に泉水や池のあるのも病難あつて凶、必ず四十五間か四十五歩を距れよなどゝ云はれた實例なども有ます。水火相殺するといふ五行説からそんな事が言はれるのではないかと思はれます。そんな事をいふと南受けの海岸地などは全部凶い事になる樣に思はれます。

◇

北方坎宮は水の義で南方の火に對して居ます。陰極を表象し、水が凡ての形にしたがふ柔順性をも意味するといふ事です。此方位に門や玄關があつたり、北向の竈、井戸等皆凶いとされて居ます。土地や建物の出つ張りは吉いが引込むのは陰を重ねることになつて頗るよくない事になります。

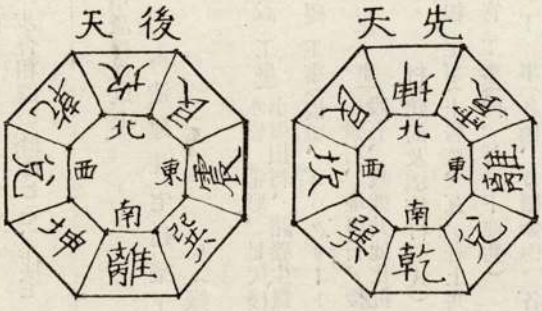
◇

以上であらましの易による八方位の觀念を説明した事になり、家相論の大樣根據とするところも略判明した事と思はれます。本來易の八卦配當には先天と後天と二樣があり、今まで書いたのは後天と稱するものに屬して居ます。先天といふのは圖の如く全く其配置を異にして居ますが説明によると先天といふのは天地の定位、後天といふのは其活動を表すものださうです。吉凶判斷は人生活動によるのですから後天の配當に據るものかと思はれます。先天八卦の配列は靜的であり、西北の山、東南の澤、東北の雷、西南の風などの配列を觀ますと、是れは支那古代の地理思想から來て居るものではないかと考へてみた事があります、果して何うでせうか、兎に角先天八卦の靜的配列に對し後天は動的のものであり、前者が地理的のものであるのに對して後者は時間的のもの、主として陽氣即ち日光の一日中に於ける移動を具象化したもの、やうに思はれます。

（以下六月號へ續く）

先後天八卦圖

第二圖



醫學博士藤原九十郎著
住居の衛生
定價壹圓八拾錢
內容
健康保持と住宅
健康に良い住居
敷地の選定
住宅の配置
健家材料と室內用具の撰び方
居住の樣式と寢室、小供室の設備
臺所の設備と衛生
便所の衛生と改良法
浴室及風呂
室內の消毒と清潔法
室內の害虫の驅除法
夏冬の住宅衛生
採光と照明
發行所 家事衛生研究會
大阪市北區北扇町三八
大阪市立衛生試驗所內



住宅建築の工費と工期の問題

大林組住宅部長
松本儀八

一、住宅建築工費の内譯

住宅の建築にあたつて色んな問題の中で、差詰問題となるものは建築工費の問題であるが、住宅建築の實際に當つて考慮を要するさほどの相違を見出されないのであるが、一面坪單價の低い所謂中流以下と稱する住宅工費に付て各工事別に前者の夫れと比較對照してみれば、第三表の様に著しい歩合の相違を見受けるのである。

此の歩合相違の探配こそ、住宅建築の實際に當つて考慮を要する肝要なところであらう。

ところで中流程度以上の住宅建築各工事費内譯は、第一表に現はし尚其歩合平均は各工事別の頭部に記した數字が即ち夫れで、次の様な表となるのである。

1　中流程度以上の住宅の工費別

M	氏邸	外觀洋風建	洋室八分 和室二分	鐵筋倉庫付　延坪宛四百圓强
Y	氏邸	外觀洋風建	洋室七分 和室三分	鐵筋倉庫付　延坪宛三百五圓弱
T	氏邸	外觀洋風建	洋室六分 和室四分	土藏倉庫付　延坪宛三百圓
YN	氏邸	外觀洋風建	洋室六分 和室四分	延坪宛二百廿圓

以上四軒の住宅の建築工費は第一表に示すが如く、各工事別に並列し調査してみれば、各共の工事費の歩合關係が略ぼ平均されて、今日まで關係して建てた各種類

中流程度以上
木造建住宅建築工費内譯表
（鐵筋倉庫、土藏倉庫を含む）

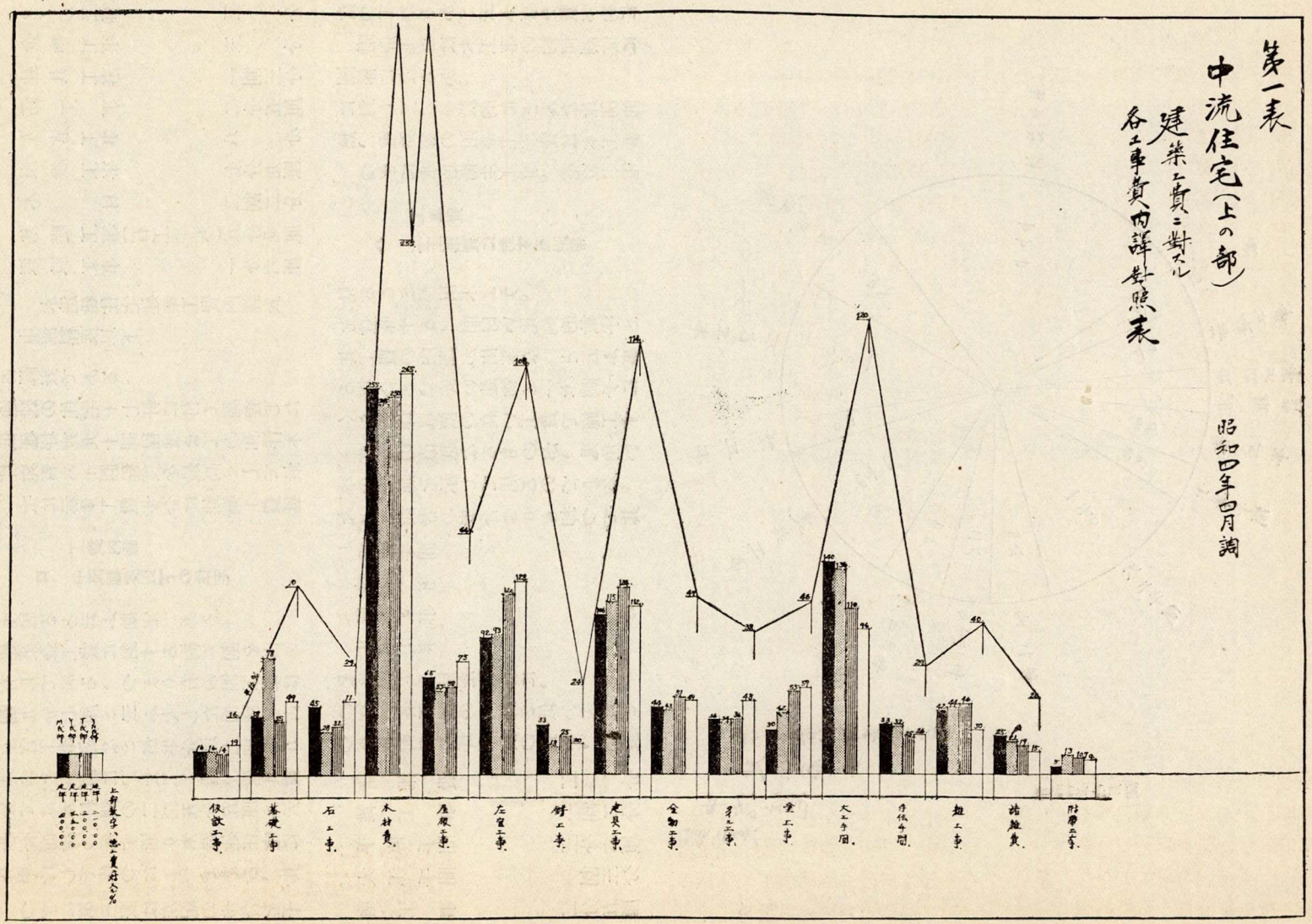
假設工事（水盛、遣形、足代棧橋、小屋損料、諸養生費共）	一分六厘	
基礎工事（根切、コンクリート、埋戻其他）	五分	
石工事（床敷石、地覆石、腰及段石、竈爐其他化粧石）	二分九厘	
木材（建前及造作材一式）	二割五分五厘	
屋根工事（土居葺、瓦、葺土共）	六分四厘	
左官工事（内、外、下地共）	一割八厘	
錺工事（各樋、及樋金物、各所水切）	二分四厘	
建具工事（窓、扉、障子、襖、硝子共）	一割一分四厘	
金物工事（構造用諸金物、建具金物類）	四分七厘	
タイル工事（各所床、並に腰用）	三分八厘	
塗工事（ペンキ、假漆塗一式）	四分六厘	
大工手間（建前、造作其他）	一割二分	
手傳手間	二分九厘	
雜工事（壁紙、浴槽、リノリウム、流し其他）	四分	
諸雜費	二分	

第一表

中流住宅（上の部）

建築工費ニ對スル各工事費内訳割合表

昭和四年四月調



つぎに第三表は左記の歩合を千分率にして作つた表（ダイヤグラム）である、其歩合面積の示す通り木造建住宅に於ては木材費の二割五分五厘と云ふのを筆頭に、大工工賃、建具費左官工事費などが半分以上即ち五割九分七厘と云ふ大した面積を占有して居る、つまり右の四工事は建築全工費に對する約六割を占めて居ると云ふ勘定である。

ロ 中流程度以下の住宅

工費内譯

次に示す工費歩合は建築工費延坪宛百六十圓程度を最高として最低延坪宛九十圓程度までの和洋木造建の住宅十七軒に付て調査した内譯表である。

中流程度以下
木造建住宅建築工費内譯表

假設工事	一分六厘
基礎工事(石工事共)	五分九厘
木材	二割二分
屋根工事	七分九厘
左官工事	八分
錺工事	二分五厘
建具工事	一割三分
金物工事	三分
タイル工事	三分
塗工事	二分五厘
大工手間	一割三分
手傳手間	三分六厘
雜工事	一割二分
諸雜費	一一分

つまり前者の坪單價の良い、程度の高い各工費の内譯と低い夫れとを比較して見た場合に、

基礎工事
屋根工事
雜工事
手傳手間

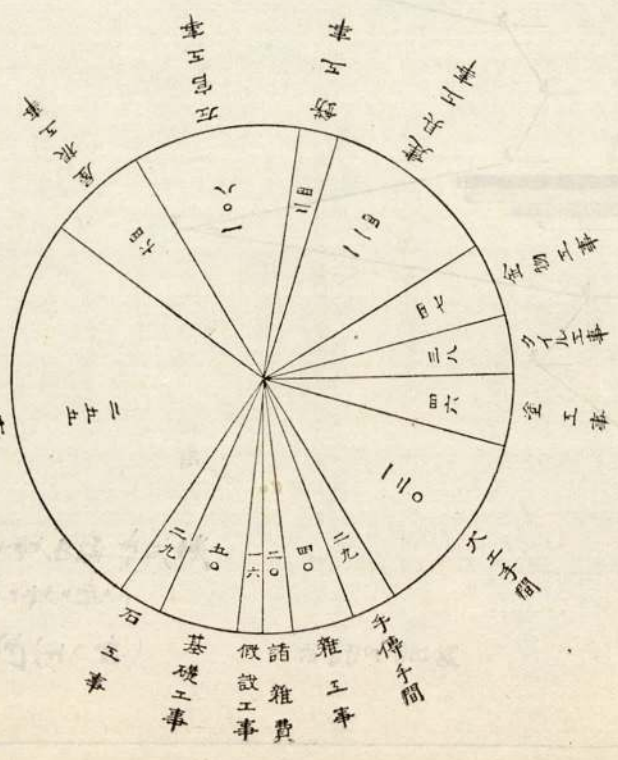
などは前者の歩合よりも却つて其率の增加を示して居るのである。

茲らの消息なるものが、兎角いくらか坪單價の高い工費で施工する場合と、安い建物と一本調子に其工費の内譯が出來ないと云ふ事を意味する、面白い比例的數字と見ることが出來よう。

ハ 本工事費に對する附帶工事費

つぎに水道衛生工事、電燈、電熱、電鈴等の附帶工事費は本工事に對して、一般的にどんな比例的關係になるか。

附帶工事は本工事の約何割位に當つてゐるかと云ふ事を數字的に



統計を取つてみたのが、第四表である。

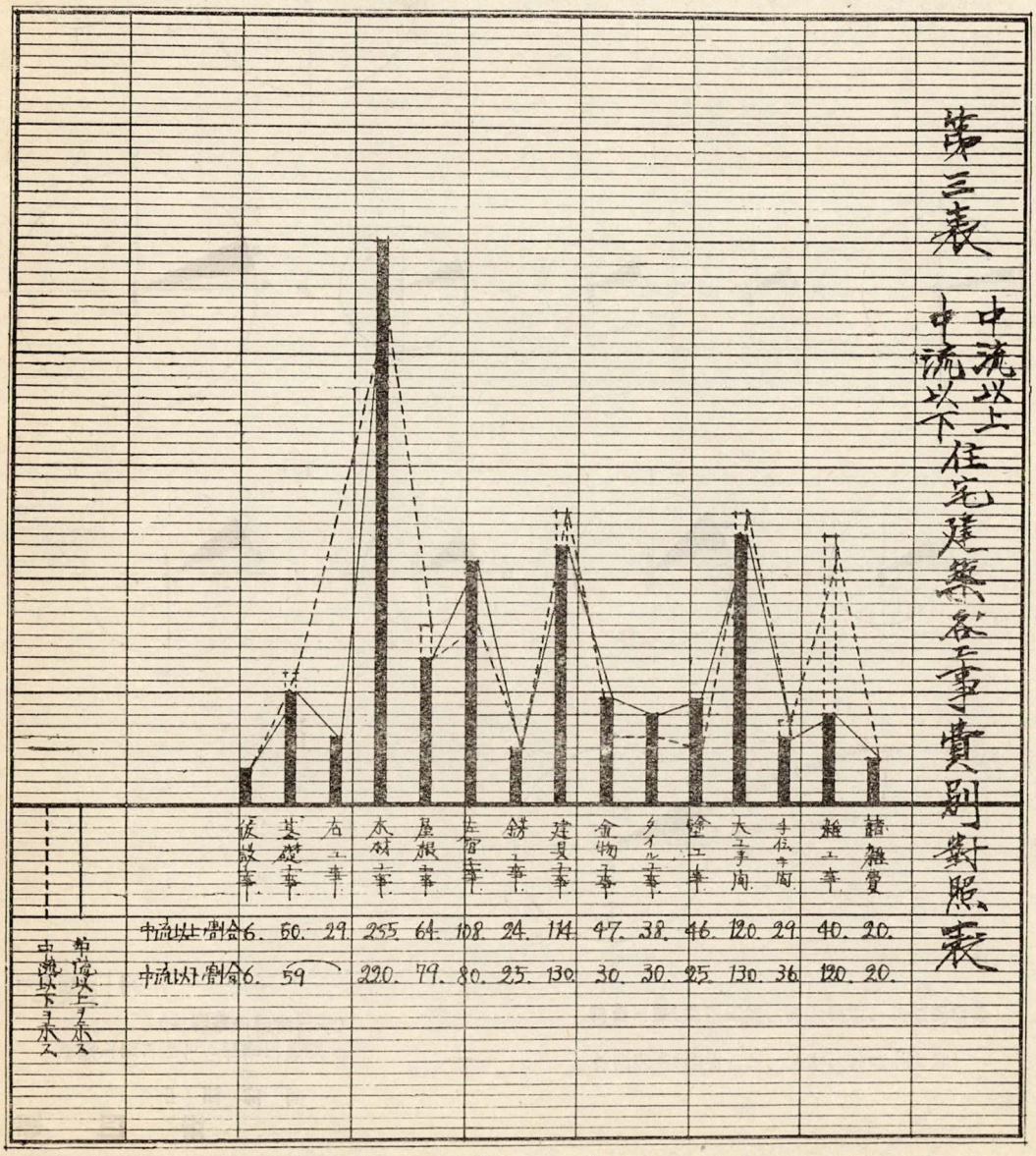
勿論電燈にしたところで、電熱にしたところで、乃至水道などにしても、Aの住宅も、Bの住宅も洋風も和風も一列に論ずる譯にいかないけれど、今日まで施工した各種階級の住宅二十軒を選んでこゝに調査統計して作成したのである。表に付てみるに、圓の大小は建築工費の割合であつて、圓の中の數字は各住宅の施工費である。

之に依て之をみれば、本工事（建築費）に對して水道衛生工事費は『五分四厘七毛』となり、電氣工事費は『三分一厘七毛』となる。

更に水道衛生、電氣工事を合したるものは平均本工事の『八分六厘四毛』となる譯である。

（以下六月號へ續く）

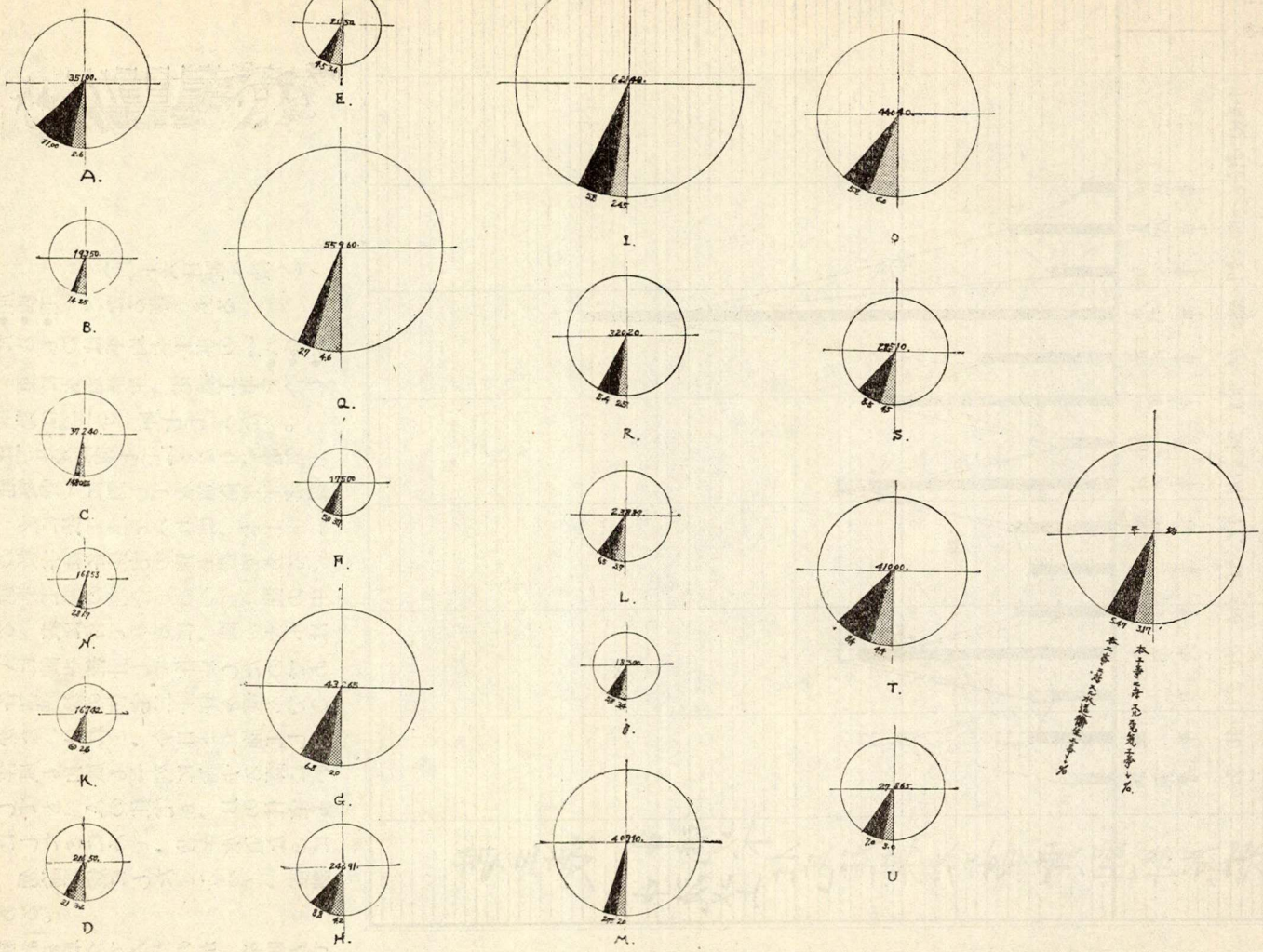


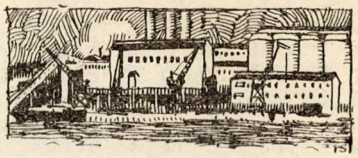


第四表

中流住宅

新築工費に對する附帶工事費
（水道衛生電氣工事）
ダイヤグラム
歩合調査一覧





『通俗的』住宅の衛生問題

「借家撰定の標準」

醫學博士 藤原九十郎

住居本來の使命

吾々人類を初め總ての生物は、常に環境の支配を免るる事は出來ない。中で春夏秋冬の氣候の影響は最も甚だしく、之れがために或は病み、或は斃れるなど健康上の障害を蒙つて居る事は、最も周知の事實である。從つて吾々は之れに對應して、其の被害を成るべく少くするために、色々の手段を講じて居り又講じなければならぬ。其の最初は所謂着物であつて、嚴寒の節に綿入れを重ね、暑熱の候に白の單衣を纏ひ、或は裸體となるも、皆環境の變に應ぜんがためのものである。然しながら衣服のみではこの目的は到底達し得るものではない。

時には驟雨沛然として襲ふ事もあり、折りには霖雨數日に亘る事も稀れではない、又夜は露が置かれ、霜が結ばれる、晝は烈光身を燒く場合もある。斯かる變轉に對しては衣服のみでは到底其の用を果さないために、ぞうしても完全に、この變化に備へ、其の調節をはかるものが必要ことなつて來る。茲に初めて家と云ふものが出來たものと信ずる。即ち氣溫、氣濕、氣流、晴雨等の宇宙間の變化と相應じて、克く之れを調和し、之れを防ぎ、健康上適當なる環境を保つ事は、住居でなくては到底遂げ得られないものである。住居の目的は色々あつても『吾々の生命の安全を圖らんが爲の容器である』事が、その最大の大使命であるは云ふまでもあるまい。

從つて此の使命を有し、この必要から生れ出た住居としては、之れを建てるにも、借家を求むるに當つても、果して健康上適して居るか否かと云ふ事を一に問題にせねばならない、尤も住居は一面には身體的疲勞の恢復のための休憩場所たると同時に、精神的慰安の樂土でなければならない爲に、單に衛生的たる事を要する以外に、愉快であり、調和があり、便利であり、一面落付きがあり、一面美的なるを必要とするは云ふまでもない。

餘りに實用的過ぎて何等の美趣もない家では、誠に殺風景で、いつまでも飽かない滿足的な滋味のある生活は續けられるものではあり得ない。が然しながら之等の事柄は、どこまでも第二義的のものであつて、決して本末を轉倒すべきものでない事を牢記せねばならぬ

必要な住宅の撰擇

處が近來は往々にしてこの住宅本來の目的を沒却して、衞生的には何等、住宅としての條件を具備して居らないのに、單なる外觀や裝飾の美に眩惑されてその撰擇を誤り、不健康な住居に住み、これがために知らず識らずの間に、取返しのつかぬ健康障害を招きつゝある場合が隨分と多い樣である。特に都會の樣な生活環境の惡化し易き生活に於ては、之のために起る被害は一層重大なものである。

其故、吾々は借家を求むるとしても、新たに家を建てるにしても健康上、其の住宅に對して要求せねばならぬものは、如何なるものであるかを、豫め熟知し、其れが應用に於て誤らない樣にする事が生存上、保健上極めて大切な事柄である。特に借家はもと〳〵、他人が營利の目的を以つて建てたものであるから、衞生上からも經濟上からも不便、不利の場合が甚だ多く、從つて之れが撰定に當つては、餘程の撰擇意識を働かせなければならない。實際上僅かな注意と考への置き處によつて、何時までも飽かない健康上良い家を建る事も出來、又良い借家を求むる事も容易であり、且つ經濟上大變な得をするわけであるから、住宅の衞生問題に就て一通りの確實なる

知識を收得する事は最も有意義な事と思ふ。

先づ環境を見よ

さて家を建てる場合や借家を探すに際して、第一に考へねばならぬ事は、其の地方に於て、衛生上から、交通上から、どの方面が適當であるか、どの方面に住居を求めるかを、大體見當を立てねばならない。住居それ自身の問題の外に、周圍の狀態が良か否かによつて、その家は良くもなれば惡くもなり、居住者の保健上、經濟上、多大の影響を與へるものであるは云ふまでもない。

そこで環境の問題として、如何なる處が惡いかと云ふと、それは家屋が建詰められて居る所謂家屋密集地帶や、一般的に考へて不衛生地域と思はるる處や、工場其他の衛生上餘りよくない建築物の附近等であつて、斯かる場所では、家そのものは申分のない良いものであつても、不斷に不良な影響を受け勝ちで、健康上は勿論、經濟上からも不良の結果を招來するものである。それ故家を建てんとする場合は勿論借家を求めんとする時でも、その場所は工場地帶から離れた、閑靜で而も交通が左程不便でなく、水道、瓦斯、電氣等の施設が備り通勤や小供の通學にもさして困らない處であり、日用品も比較的安價で容易に求められ、現在及將來とも住宅街たる所でなくてはならない。

以上の事柄によつて、これから求めんとする住宅地の見當がつけば、益々個々の家に就て研究して行かねばならない。如何に一般的には健康地と思はれる場所でも、その地勢、地價其他の狀態は色々であるから、どの地所も一樣に適當なりと云ふ事は出來ないし、又そこに建てられた家に到つては其の構造、方向、設備に於て差違があるのは云ふまでもないから、個々の家に就て衛生上の諸判斷をやらねばならぬ。

第一に乾燥しているか否か

先づ家を見てそれが良いか惡いかを判定する最初のものは何かと云ふに、乾いて居るか、濕つて居るかと云ふ問題で、住宅の衛生上一番惡い事は何と云つても室が濕つて居ると云ふ事である。即ち濕つた室は體温調節上に、色々の障害を伴ふものであつて、夏は蒸暑く、冬は特に冷感が甚だしい、從つて濕つた家に居住する場合には感冒、鼻喉及呼吸器のカタール其他の呼吸器病、リウマチス、神經痛、腎臟炎、脚氣等に罹り易い。尙又其他の害としては黴や細菌の發育繁殖に都合よいために、飲食物は腐敗し易く、衣服什器には黴の汚點がつき、室内の壁や疊などにも黴が生へて惡臭を發すると云ふ有樣で、これらは衛生上大變に有害である。

其故家の良否は最先きに疊裏や床等が黴臭くはないか、軒下、緣先等に靑苔が生へて居ないかと云ふ事を檢べると大體判斷がつくものである。

尤も室の濕潤は其の原因を根本的に糺せば、一つに敷地の乾濕に歸するわけであるから、從つて敷地の問題が住宅の良否を左右すると云ふてもよろしい。特に其の濕つて居るか、乾いて居るかと云ふ事は最も必要な事である。若しも敷地が濕地であつたとしたら、如何に便利な土地でも、又他の衛生上の條件が如何に申分のない建方の家でも、決して保健上良好な住居であり得ないと云ふ事は勿論である。

衛生を左右する敷地の良否鑑別

そこで敷地の良否は如何にして見分けるか、と云ふに其の撰定は土地の高底、地質の如何、地下水位の高さ等を充分に調査した上で決定せなければならない。

然らば先づ地質の上から見て、衛生的上良い土地は如何なるものかと云ふに、最も良好なのは砂利又は砂混りの地質であるは云ふまでもなく、土地が濕潤して居るか乾燥して居るかの度合は、其の中に含有する水分の量の多寡に關係し、其の含水量は土地の粒子の微細なるもの程大であるから、砂地などの様な比較的粒子の大きいものでは含水量は少く、比較的乾燥して居るわけであるが、反之粘土質の如きは其の粒子が微細であるから常に濕潤勝ちで、餘り乾燥してないのが普通の場合である。

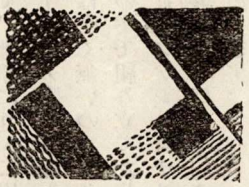
健康上から見て、如何なる地質が良くて、どんなものが惡いかと

云ふ事はあらゆる場合に適用出來る樣に決定す事は甚だ至難であるが、唯極めて一般的に考へると、最もよいのは前述の如き砂利及び砂混りの土地で、これは單に乾燥するばかりでなく、溫熱を最も良く吸收するものであるから、最も都合がよろしい。次では砂岩層、石灰質の多い砂地等でこれも比較的よく乾燥して居る。それから不良に屬するものとしては粘土質、硬粘土、粘板岩層で、其理由は濕潤勝ちであるため冬季特に寒いからである。其他最も不良とされるものは、塵芥や汚物や屑物などで埋立てた所謂人工土や水田の跡などで、之等は元來が低地、濕地、沼池などをかゝる有機性の腐敗物を以つて埋めたために、それが衛生上惡いのは明かな事である。近頃大都會の近郊では、昨日まで水田であつたのが、今日は早や家が建ちつゝあると云ふ風に、簡單な僅かの地揚げ位で住宅敷地に早變りして居るのが見受けられるが、如何に衛生によい郊外でも、これらの家は保健上から見て甚だ良くないものである。

其他敷地の良否鑑別法として必要な事柄は、地下水位を檢べる事である。先づ借らんとする家及び其の近所の井戸が深いか、淺いかを檢査せなければならない。もゝ〳〵地中の空氣は常に室内に這入つて來て居るわけであるが、この空氣は一般に濕潤で、而もいつも清潔であるゝは申されない。而して其の地中空氣の水分の量は、地下水位の深淺と關係する。水位が地表面から近ければ近い程、敷地は濕潤し、地中空氣は濕つて居るわけである。一般的に其の水位が地表面下三呎そこらでは、土地は常に濕氣を以つて飽和して居り、又假令長い旱魃が續いても、地下水面からの毛細管引力並に蒸發作用に依つて濕潤し、全然乾燥する樣な事がないのである。其故、敷地を撰ぶに當つては井戸の深さは如何に淺くとも地表面下五呎以上深くなければ、健康地と稱する事は出來ない。近くの井戸を檢べてこれよりも淺かつたらその家は決して衛生上良いものではない。

水田の跡や埋立地に於ては往々にして、そこの土地を堀るゝ、すぐ水が湧き出る樣な處が多い。斯樣な場合は深く導水溝を堀り、或は導水官を敷設し、或は樹木、例へば梧桐や『ユーカリ』樹等を植へ付けて、土地を乾燥させる方法を講じなければ、家を建てる事も借家を撰ぶ事も良くないのである。

斯樣な家が大都市の周邊には大變多い樣であるから、餘程撰擇判斷を誤らない樣にせねばならぬ。(以下六月號へ續く)



住宅の裝飾に就て

工學士 本野精吾

こゝに述べます事は住宅の裝飾ゝ云ふ事に就ての極めて根本の問題に關する事柄でありまして、世界の大勢がドンな風になつて居るか、日本に於てドンナ風に考へねばならぬかと云ふ樣な事を主にして書きたいゝ思ます。

元來住宅ゝ云ふものは個人〳〵の家でありまして銘々が自分の思ひ〳〵に勝手にすればいゝ譯でありまして、自分の思ふ通りにしたものが銘々にはピツタリ合ふワケであります。假りに部屋の色の調子丈に就而考て見ましても甲は花やかな明るい室に住たい、乙は沈んだ暗い調子の室に住みたいと、云つた風に銘々が自分の心持にピツタリ合ふものを求めて行けばいゝのでありまして、ソコには少しも規則も約束もないので有ます。ソコで私共專門研究者はドウ云範圍を取扱つて居るかと申ますゝ、人銘々の違つた心持特徵と云つたもの、底に一貫して流れて居る人間の共通性と云ふものが有ます。其共通の人間性に適應した住居樣式や裝飾と云ふものがドンなものであらねばならぬかと云ふ事が中

心でありまして、ソレを色々の場合に展觀して行つて最後に各個人の嗜好を其の中に盛り込んで行くのであります。

コウ云ふ譯でありますから、今の日本の樣に樣々の文化の種類程度が同時に並行して居る場合は實際問題は全く困難を極めるのであります。今の日本の有樣を見ますと之れが同じ民族であり、同じ國の中に住む人々であるかゞ疑はれる程に色調の異なつた兩極があります。コウした中でドンな處に住居樣式の針路があるかと云ふ事に就ての私の考を述べ樣と思ます。

コウ云ふ譯でありますから私の意見は在來の習慣を其のまゝに墨守して行かうとする方々や外國の者をウノミにしてモホウしてソレを住居文化進展と考へて居る方々には全く用のない事であります。眞實に少しでも生活樣式の改善向上と云ふ事に心ある方々丈に關心していたゞく事を望むのであります。

◇

ソレでコレから最初に歐洲近代の住居樣式と裝飾に這入ります。コヽで近代と申ますのは最近約十年間を含むのでありますが、世界大戰を境として歐洲の住居樣式に革命的の變動が起つて居ります。此の事が最も明瞭に具體化して展開されたのは一九二七年のドイツのスツツトガルトに開かれた住宅展覽會であります。此の展覽會は今の歐洲に於ける住居樣式の針路の先頭を示すものでありまして、世界注目の的になつて居る面白いものであります。

コノ展覽會は同市の郊外の小高い土地の一劃にアパートメント式の小住居群から獨立した數種の住居迄を含む都市の一區劃を實際に建たのでありますが、コレに關係した建築家は皆自家の見識を持つて現代に指針を與へつゝある人達で歐洲全土に亘つて殆んど今の重だつた人達を網羅して居ますが、最も注目に價する事は之等の人達が一樣に共通に一貫した考が底を流れて居る事でありまして、コノ考の共通性が全體を統一して居るのであります。コノ全體を貫通する考の流れは即ち現代の針路を示すものでなければならないのであります。

◇

コノ流れがドウ云ふものであるかと申ますと、一口に申しますと人間の自然性に眞實にふり返つて今迄習慣的に用ひ慣されて居た住居樣式の中から不合理なものを全然取り除いて最も人間性に適合するものを現代の科學（サイエンス）の上に立脚して組み立て樣とするのであります。形の上に現はれた最も著いしい事柄は今迄裝飾と名の付く樣なものは殆んど全部取り去られて、住居樣式の根本が用途の上に立脚した內容の働らきにあるのでありまして、人間の自然性に最も適合して內的に生み出された形態が基本になるのでありまして、實際にコヽに出來た家を見ますとドノ家に就而も要らないものは全く無いのであります。要るもの丈で組み立てた家であります。近代ファンショナリズム（機能主義）と呼ばれて居るものが之れであります。

住居の內部に就て見ましても、今迄飾りとして取扱つて居た樣な分子は全くないのであります。

ソウして材料や構造の上には全く現代の科學の智識の全的應用を基礎としまして其の中に全き人間性を盛り込んで行かうと云ふやり方であります。ソレでありますから一見無裝飾にして無味乾燥なる者の樣に見へますが注意深く觀察します時に豐かなる人間性の容器（人を容れる器）として周到な注意が拂はれてある事を感ずるのであります。是等の人達の考の中には實際の用途と云ふ事を單に無味乾燥なる實用本位（役に立てさへすればいゝ）でなく人間性の本質にピツタリ合ふ（心持よくつかへるゝと云ふ樣な意味）が一貫して流れて居ます。

コウした取扱に現代住居に共通な特性を認めるのでありますが之れは尙廣い意味に於て現代文化の先鋒に立つ全き大きなる潮流の中の一つの現象であります。

之等の事に就て實物を離れて書く事は非常に困難でありますから之れ丈に致しまして尙此事に就而知らうとされる方々は近來日本の建築關係の色々の雜誌にも此の種の建築に關する記事が隨分に出て居りますし私の近代建築に關する叙述を近く『建築と社會』の誌上に出す事になつて居ますからソレ等を御覽願ふ事に致し度と思ます。

◇

コレから日本の現在に就ての話に進みます。

現在の日本には今でも日本風西洋風と二つのものが對立して居る様な形になつて居て、日本風と西洋風とは全く相容れないものでドツチが勝か負るかと云つた風な形になつて來て居る様に見えます。けれども之れは全くをかしな現象でありまして、今は一切を一つにして日本住居様式の建設に急がねばならぬ時であります。在來の日本風と呼ばれて居るものは鎌倉幕府の頃に出來上つた住居様式と大差ないのであります。

西洋風と呼んで居るものは十九世紀の半ば頃の歐洲のものが主になつてソレに近代の色調が年代に依而加つて居ると云つた様な不徹底なもので、コノドチらもが日本住居様式の將來に決定的の針路を示すものとも思へません。

ソコでドウ云ふものが將來を決定する針路であるかと云ふ事に就て考へる事が吾々の仕事であり、且又需用者側の方々も實際に生活を營み裝飾を行なふ上に常に此事に注意を拂つて戴度思ふ點であります。一切の裝飾に關する事も此の根本の問題の上に立たなければ何等の意味もないのであります。

實際今の日本の有様の様に、自國の者と外來の者とが對立してドコに中心の針路があるのか分らない様な處は、今の世界の重な國々には先づないと云つてもいゝのであります。フランスはフランス、ドイツはドイツと云つた風に皆各自國の文化の根底の上に、他の長を學び自分の中に消化するのでありまして、自國の文化をシッカリと築き乍ら世界と歩調を揃へて進みつゝあります。

◇

最初にぶつつかる問題は疊の上の坐生活問題で有ます。私が十數年來持ち續けソウして自分の住居に就て實行に移して一層信念を固くしたのでありますが、日本から此の生活様式が消滅する時でなければ、日本の生活様式の基礎針路は確立しないと云ふ考で有ます。其の當時一雜誌社の計畫で多數の建築家に就て日本の住宅に關する意見が集められた時私は此の考の根本に横はる所の多くの理由を詳しく述べたので有ますが、今に此の考の根底には大差なく進んで居ます。其の上實際の一般狀況の推移は大體に私の考を裏書する事實が多く示されてありますから今は只時間の問題だと思はれます。關東大震災の直前でありましたが東京に於きましてある目的で鎌倉邊に小住居を置いて東京に通勤し様と云ふ様な人達の住居に對する希望を集められたら約九割までは疊の生活を廢すると云ふ希望であつて其の時已に疊の生活は過去の者である事が數に於て明かに表はれて居たのであります。災震後に於て此の傾向が急激に增加した事は申す迄もありません。

ソレならば如何なる様式が將來を決定する針路であるかと云ふ問題でありますが、住居の半分を疊にし半分をイスにすると云ふ今隨分に用ひられて居る生活様式も一つの針路とも考へられますが、之れが遠い將來に向つて展びる事は考へられません。一つの過渡期の產物でありましやう。今歐洲に於きまして東洋的な分子を取り入れたのでありましやう、低い寢臺や低いイスを用ひて居ます。先達フランス新工藝品の展觀を御覽になつた方は御分りでしやうが寢臺等は殆んど床から三〇センチとは上つて居ない低いものさへありました。(私の考は)けれどもフランス人の考へたものは矢張りフランス人のもので日本人にはピッタリしない心持を感じます。私の考は此の逆にして日本の心持の上に、ソウして日本の天然の基礎の上にシッカリと立つて、ソウして歐米の生活様式の優れた點を學んでソレを果斷に取り入れて行き消化して行く事が今の日本の生活様式の基礎を確立する上に最も大事な事と思ます。

◇

コノ結果はドンな風なものに成つて行くかは分りませんけれども最近のフランスあたりと同じ様に坐るとも腰かけるともつかない極めて自由な生活様式に成ると思ふのであります。私が今一番日本に適當と思つて居ますのはイスも机も極めて低いものを用ひ寢臺も一切を低くして疊の上の坐生活と心持の遠くない腰かけ生活を採用する事であると思ます。事務仕事のイス机等は中で比較的高めに休息のイス客用のイス等は極低い日本

のあついフトンを重ねた位のものにすると云ふ風に色々の目的に應じて高低をつけるにしても全體が低く床に着いた生活様式にし、從つて建築自體の窓や建具の取扱も自らそれに適應したもので寢臺は一般に極低くすると云ふ様な事等は第一に注意しなければならない問題でありましやう。

コウした生活様式は大體に於て今フランスあたりでやつて居る生活様式と略々同じ原理の上に立つのでありますから結局は同じ様な處に落付いて世界的共通の生活様式が成り立つのかもしれません。コヽで最後に御話し様と思ふ事は日常の生活は人間の情操の上に様式の根底がありますから日本人が持つ處の情操がドウ云ふ風に此の上に盛られて來るかと云ふ事が最も考ふべき問題であります。此の點が室内の裝飾に最も關係の深い事柄でありまして、來るべき様式の考察に對して最も大事な點であります。

◇

疊の生活を廢すると云ふ事は日本にのみ生ひ立つた美しい情操を捨てる事とは全く別の事でありまして、新らしい生活様式の上に民族の持つ獨自の情操を盛つて行く處に傳統と云ふものゝ眞實の意味があるのであります。之れは外國のもの殊にフランスやドイツ又はイギリスの様に民族の色調の極めて濃厚な處の裝飾の模様の變遷等を見ますと、形式は時の移り變りと共に全く似ても似つかないものになつて行くにも係わらずフランスはフランス獨特の世界を造り出して居ます。ソノ國に行つて生活全體を綜合して見る時に此の事は最も鮮かに感じられるのであります。コノ魂の底に一貫して流れて居る民族の色調が即ち傳統と云ふもの、基本であります。之れを今の日本の有様に照し合せて見ます時。近時所謂日本風に對し傳統のカラを破つて踊り出した西洋風なるものは民族の魂の底から流れ出たる新らしい生活様式ではないのでありまして、急速なる文化の輸入に伴なつて生れ出た畸形兒と見る事が當つて居ると思ます。現代は大體に於てコウした混沌たる狀態の中に居るのでありますが、一日も早く確かなる針路に向つて生活様式の基本の立つ事が望ましくあります。

カクして生れた新らしい生活様式の中で眞實に今の自己を見つめ過去の持つ美しく且高い處の者をジツとふり返つて傳統と云ふもの、眞實をつかむ時に始めて眞の意味の新らしき生活様式が建てられるのであります。私は此の夏もある事で時折り小堀遠州の居りました大德寺の孤蓬庵を見る機會を持ちましたが見る度に日本の過去が生んだ美しい住居様式に感激を以て接するのであります。古くして常に今に生々しき生命を保つて内なる生命の光が私共の魂の底に喰ひ入る様に響いて來る事を覺えます。日本の過去が持つコウした數々の貴きものを見つめる時傳統と云ふものゝ眞實の意味も會得され將來に向つての暗示を得る様に思ます。

◇

私が一般の方々に向つて望みます點は習慣の上に縛られないで、又外來の生活様式に其のまゝ感染しない様に、ソウして眞實に一切の事物を見つめて少しづゝでも進んだる生活様式に這入る事に努力されん事を望むのであります。殊に新らしく家を計畫される方々は最もいゝ機會でありますから、充分なる考慮を費やされて眞實に現代に即して將來に向つての針路の上に乘つたものを計畫される事を望むのであります。在來の家を用ひられる方に出來る丈工夫を凝らして其の用途を新らしき様式の中に生かして行かれる事を望ましく思ます。

之れに就て私自身の經驗を述べ様と思ますが、私が數年前今の家を計畫致します前迄、七八年の間普通の借家に住つて工夫を凝らして全體をイス生活にして居ましたが、其の間に得た體驗から在來の日本家屋の欠陷を感得しまして、其の欠陷を全部取除き、保存すべきものを保存して今の家を計畫して日本に於ける來るべき住居様式の針路への實驗材料の心持でやつて見たのでありますが、數年の經驗は大體に於て良好なる結果を示して居りますから之れを骨子として將來を考へ様として居るので有ます。私の家の事に關しては雜誌『建築と社會』及『デザイン』の上に書いた事が有ますから尙ソレを見て戴く事が出來れば幸に思ます。



室内裝飾へ 色彩の應用

神戸高等工業學校講師
古塚正治

本文は色彩の應用的方面について特に住宅建築の室内裝飾としての實際を書かうと云ふのが目的である。それであるから理論や研究と云つたことは總てを除いて直ぐさま實際的に入つてゆくことゝ致します。

諸種の色彩には、それ〴〵異つた感觸を持つてゐるものです。感觸と云ふ點から申しますと單に色彩と云ふのみでは無いので、例へば同じ色彩と云ふうちにも、その色彩の純眞さにより、光澤の多少によつても異るもので、斯うした感觸上から色彩の系統と云つたものを拵へて見ませうならば、溫い感觸の系統と冷い感觸の系統と云つた二つに大別が出來ます。これを色彩の實際について系統づけますと次の如うに拵へることが出來ます。

溫い感觸の色	冷い感觸の色	中性の色
黄　色(Yellow)	空　色(Blue)	灰　色(Gray)
橙　色(Orange)	紺青色(Altramarine)	象牙色(Ivory)
栗　色(Brown)	綠　色(Green)	クリーム色(Cream)
帶黄色(Pink)	菫　色(Violet)	鈍黄色(Buff)
バラ色(Rose)	藤紫色(Wistaria)	黄褐色(Tan)
赤　色(Red)	濃紫色(Plum)	灰褐色(Putty)

この表で見ると解る如うに、赤と黄の勝つた色彩が溫い感じの系統であつてそれからは愉快な、活々とした、樂しい感觸をうけるものである。冷い感觸のある色彩と云ふのは、主としてブルーに支配されてゐる系統の色彩であつて、比較的眞面目さと、落つきと、靜けさ—或は憂鬱さと云つた方が好いかも知れない—を聯想せしめられる。中性色はブライト、カラーと調和する爲めに使用せられて好い結果が得られる。

◇

ウワム、カラーは進行的な傾向を多分に持つて居り、この色を用ふれば物が大きく見える。また日光の照り輝く如うな感觸がある。それであるから室内に此系統の色彩を施すには、小さな室とか、北向きの部屋等には至極好い譯であります。悟う云ふ目的に最もよく使用せられます色彩としては黄色とか、黄褐色とか、クリーム色等が普通の如うです。

暗い、そして重々しい色彩と云ふものは、物を集中せしめる傾向のあるものです。云ひ換へると物をより少く見せると云ふ傾向を持つてゐると云ふ譯なのです、それであるから若しも部屋が大きくて採光量が多過ぎる場合に、涼しさが必要であると云つた如うな場合は空色なり綠色なり灰色なり青藍色と云つた冷い感觸の系統色に仕上ければ好い結果が得られると云ふ譯なのであります。

白色は中性色と調和するものです、けれども元來白色は非常にパシチーブな性質を持つてゐるものであるから、その性質を辨へて用ひねばなりません。時にはそれは冬の日の雪の眩ゆさと寒さを聯想せしめるものです。美しい御婦人か純白な襟巻をしてゐるのを見ますと一層美しい、くつきりと抜け出した如うな感じがあるのと同じ如うに、敷物や中心飾に純白な仕上げを施すと周圍から飛び出して來る感が致します。實際純白な天井の場合に、周圍と餘りに懸け離れ過ぎた感じで困る如うな場合がしば〳〵あるのは斯の理由による譯であります。

黒は映えない色ではありますがこれにも捨て難い好い特徴があります。黒色はものゝボーダーにするには至極好いものであるが、大

量に仕上げると云ふには適しません。(たゞしこれは住宅の室内装飾と云ふ場合に就て申すのであつて或る場合には却つて大量に用ふることが非常に面白い結果を齎らすことがあるものです。例へば活動寫眞館の室内装飾の如うな場合等です。)實際、黒い背景を持つた部屋では家具の調子をより一層に引き立たすことゝなります、恁う云ふ傾向の壁面に織物類を装飾として懸けますなれば明い色彩は一層明さを増して好い結果が得られるものであります。

◇

恁う云ふ譯で諸種の色彩にはそれ〴〵異つた性質と特徴とを持つてゐるのです、それ故に、個々の色彩に就いて研究し、練習することによりまして、それ等の色の調子(これを色のトーンと云ひます)を會得し、色彩の撰擇に當つて考慮せなければなりません。そこで今少し各色に就て詳細に討究して見ることゝ、致しませう。

◇

赤色は最も光彩のある、また最も刺戟の多い色彩です。この色彩からは豊かさと、華麗な趣きが湧き温さと慈恵の感觸とをうけるものです。純な赤色と云ふものは室内装飾上では大量に使用せられると云ふ事は少いものです。多くは食堂なり、廣間なり、書齋等に用ひられるものゝ如うです。

また赤色は小さな室や温い氣溫の室では用ひないのが好い如うです何ぜなら前説致しました如うに一層に温な氣分を助長することゝなるからであります。

黄色は光と光線の射入する感觸をうけるものですから、これは愉快な感じと壯重味とを與へる色で室内を明くし、樂しくするもので室内装飾を引き立たしめるものです。

晴れ渡つた青空の如うな、或は底知れぬ深い水の色合、それは多くの色のうちでも最も冷靜さと浮世離れした色感を持つてゐるのです。さればこの色からは自制と休養と、靜さと落ちつきといつた感觸があります。應用するとしては温い室に涼しい感じを與へるとか小さな部屋を幾分大きく見せると云ふのに適してゐます。

◇

兎に角赤とブルーと黄色と云つた三原色を其儘に室内装飾上に用ひるには餘程注意深くあしらはねばなりません。そして白と黒と黄金と銀と云つたものは斯様な三原色中のどれかの代用として使用するのが好いのです。

綠色は御承知の通り黄色とブルーの混色であるのですが、之は二つの色とは全く異つた別の感觸を出すものです。そのうちでも黄色が勝てば温みと光の感じを多く出しますし、ブルーが勝てば冷さと陰氣な感じになつてくるのです。それが灰色でもつて中性色化致しますると靜な、落ちついた感じに變つて參ります。綠色は温い氣候とか、田舍家とか、神經質な人にとつて一種特異な優秀な感觸をもつてゐるものですが、斯う云ふ場合には餘りにブリヽヤントな綠色は避けた方が好い如うです。

菫色は赤とブルーとの混合ですこれは色のシャドー(蔭げ)に當ります。紫色は壯重味と貴重味があるものです、赤味勝な紫色は特に恁う云つた感觸を多分に持ち合せてゐる如うに想れる。

橙色は赤と黄の混色です、これからは温さと云ふよりも寧ろ元氣澄澈たる感觸のあるものです、ゴールデンブラウン(秋の木の葉が黄ばんで來たときの色合です)はやはり秋の感じの色合ですから室内装飾としては食堂なり、廣間なり書齋と云つた室に相應しい如うです。

◇

こゝ迄で書いたついでに幾分理窟めいて來る如うですが色の限界と云つた點まで話をすゝめて見ることゝいたします。

色の調子と云ふのは色合の強さとか、色の註釋と云つた意味です換言すると色合とは調子の質の意味で、その色の價値なり強さなりを意味してゐるのです。

即ち色合とは字の通り色の度合を表はす言葉であつて、赤色とか橙色とか、黄色とか綠色とか、ブルーとか菫色と云ひパープルと云つた色は總てその色素の色合でありまして、例へばエメラルド、グリーンと云ふのはグリーンの持つ本來の色合であるのです。これをノルマル、ヒューと云つておきます。そして凡ての色でノルマル、ヒューより暗い色は、これをその色の蔭(セード)と云ひます。つま

り、セードとはノルマル、ヒューに黒を加へて出來た色である譯なのです。ヒューの變化はこれに白を加へることによつて造られるもので、これをテント(色の隈)と云ひます。一例を申上げるとカーマインと云ふ色は赤のセードでありローズは赤のテントと云ふ譯なのです。

◇

次に色彩の明るさ(ヴアリュー・オブ・リュミノシチー)と云ふのはその色の性質と云ふ意味を有つてゐるのでありまして、その色彩から感受いたしまする眼に入る光線の反射總量によつて相異する譯なのです。それ故にヒューのテントは其色のセードよりは一層リュミナスであり光明の度が高いと云ふ譯であります。更にまた、色の强さ或は色の純眞さと云ひますのは其色から反射する白光線の比較的射出量に關係してゐるものでありまして、その色が何んなに光るとか、或は色調が何んなに强いとか云ふことによつて決定せられるのです。そして中性色と云つた不純な色は一つの色に黒とか、白とか或は灰色とか乃至はそれ等のコンポーネント補色を加へることによつて出來ます。

兎に角、純正色は進取的であり際立つて居りどちらかと云ふと一般に强調過ぎる感觸の色ですが、中性色は之れに反し軟みがあり、靜な感觸であり何れの場合にも無難なうま味がある色です。從つて中性色の應用と致しましては他の色彩を一層强調せしめて然も無難な結果に導うとするときの關係色として使用せられる場合が多い如うです。

◇

室內裝飾上に色彩の應用と云ふ點で心得ておく可き要項の二三を參考迄でに上げて見ませう。

一、バツク、グラウンドの色合は如何樣な室內裝飾の場合でも、その目的物よりは調子を弱めた方が好い。つまり壁とか、天井とか、床と云つたものは、これに用ひられる壁掛とか敷物とか椅子の貼り地乃至は額類等のバツク、グラウンドとして、それ等のものよりは軟調の方が好いと云ふ譯である。

二、着色面が廣大であるだけ、その色の調子は弱い方が好い反對に狹少な面積である場合は調子の强いのが好い。實例で申せば敷物や壁紙類は、クツションや電燈の笠乃至は小さな裝飾品類よりは調子が弱い方が好い結果が得られると云ふ意味である。

慥う云ふ種類のことについて、二三知名の氏が與へてゐる記事を追記してこの稿を了ることゝいたしませう。

◇

エフ・エー・パーソン氏の說では一つの室內を全體强い一本調子の色彩で、仕上げるのは餘りに嗅々しい過調な觸感があつて好しくない。それよりもどちらかと云ふと引き立たせて見せようとする、こゝぞと云ふ一部分を强調すると云ふ行き方に配色の苦心を練る方が好い。また

ビー・シー・ジツヤクウェー氏の說を紹介すると

仕上げようとする全面の面積に應じて、好いと思ふ色彩の强さで一樣に扱ふと云ふ行き方は誤である。それは寧ろ面積と逆比例するものである。例へば一室內で、クリムソン色した敷物をしき、壁も窓掛けもと云つた行き方よりは、たつた一つのルビー色した陶器の鉢でも掛けた方が好い、斯う云ふ意味はつまり、昔から日本でも云つてゐる萬綠中の紅一點と云つた如うな禪味的な面白味のある言葉である。更にまた氏は次の如うに言葉をすゝめてゐます。

◇

總て室內裝飾では、その室毎に一つの系統の色彩でゆくと云ふことが必要である。例へば壁と天井とを中性色でいつて、比較的純な色彩を少量用ゆることによつて統一するとか、或は部屋の主要面の總てに異つた度合で配色して統一するのが好い。部屋の目的に應じて、その大さ、それからうける光線の量とによつて統一すべき色彩を決定せねばならぬ。と、そして、更に室內裝飾家として色彩の調和と云ふ點に考慮すべき四つの條項を上げてゐます。

一、互に氣持の好い色彩を撰擇すること。

二、是等の色彩の配合が面積に於ても、位置に於ても共に結果

に於ても氣持の好い結果を齎らすと云ふこと。

三、總ての色彩の配置は夫等の色彩の光線と蔭との總合的調子の好い結果を得るものでなければならぬこと。

四、配色はそれ等の色彩の純眞さと、強さと、均衡とが一層助長される如うでなければならぬこと。

尙ほ、連續した室では調和した色彩で統合するのが必要である。

例へば非常に眼につき易い異つた色彩で出來てゐる單純な模樣の敷物が室内の調和を得ると云ふことは難しいものであるが、この場合灰色でそれ等の色合を緩和すると云ふゆき方をとるのが好い、一體灰色は恁うした諸種の色彩間の調和をとるに適つてゐます。この意味でモザイックが相異る強い對色の調和それをセメントの目地でうまく調和を與へてゐるの等がその一例です。(をはり)

住宅の室内裝飾と家具

植實宗三郎

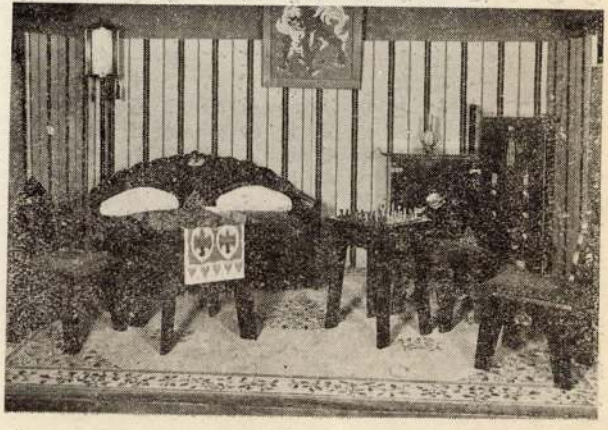
家庭をより以上居心地よく、愉快に、氣持ちよく、しかも美しくするには、先づ室内裝飾を完全にする事です。

上流中流家庭の人數の多少に拘はらず、常に室内を氣持ちよくしたい人々が年々に多くなつて來た傾向が有ります。

この種の趣味が年々增すごとに室内裝飾の設備についての問題が益々重要なものに成つて來ました主として、今日迄の室内裝飾は上流家庭若しくは、貴族の獨占的のものでありましたが、少くも今日家庭を持つ人々には是非必要となりました。室内裝飾の今日迄に發達せなかつた一つの理由としては、贅澤視されて居つた事が、大なる原因だと思はれます。とにかく室を氣持ちよくする事が室内裝飾で有ります。それ〴〵趣味に會つた室内裝飾を設備するには必ずしも金が無ければ出來ないと云ふ事はありません。ただその人々による趣味的な或る一種の方則とでも云ふ可きものを用ゆれば宜いわけです。

古代より人類の生活に必要とされるものは、衣食住の三つであります。先づ食を求め、衣をまとひここに住なるものを見ださなければならなく成りました、初めは雨露を凌ぐために、穴居も行はれ進んで、小屋となり變化發達して今日見る住宅建築を形成する樣になりました。

◇



第一圖　家具を定めた室

塗——漆塗

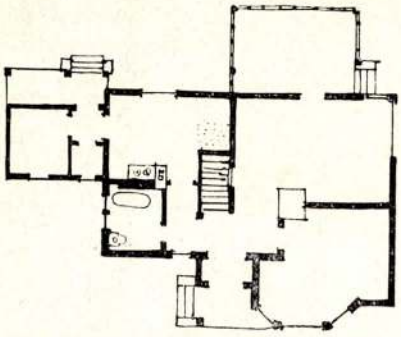
材料——櫻材

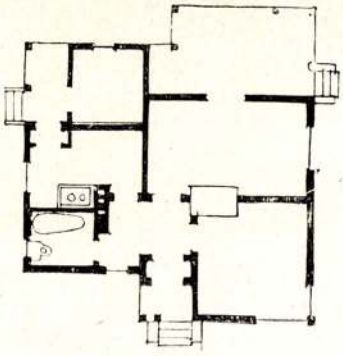
形——東洋風(印度)

少くも人間を中心として造り出されたる住宅として、人間に一番密接なる關係のあるものは、この室内裝飾でありましやう。人間が住む可く造られたる家の内部即ち室内には是非それ相當の裝飾と設備を施さなければならない事は云ふ迄もない事であります。この室内裝飾として、第一、見た感じを氣持ちよくする事で、如何程立派な品物や高價な材料を以てしても其結果、不快乃至氣持善く感ぜしめないものは、室内裝飾として、









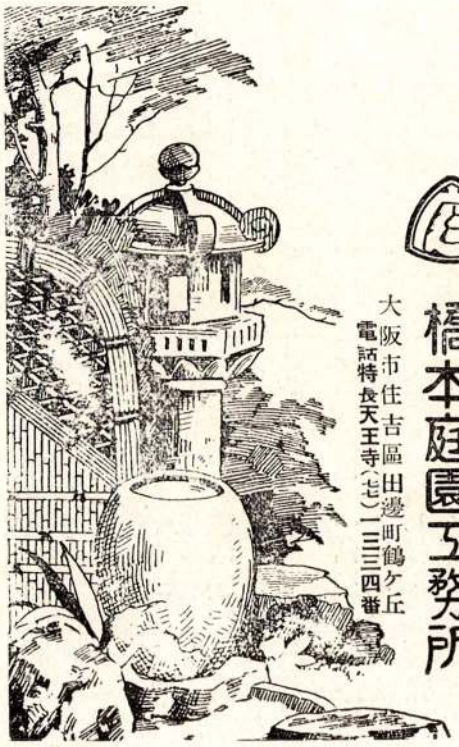
モスコウ郊外の小住宅二種　（設計 MARKOWNIKOW）

切取線

庭園設計と施工

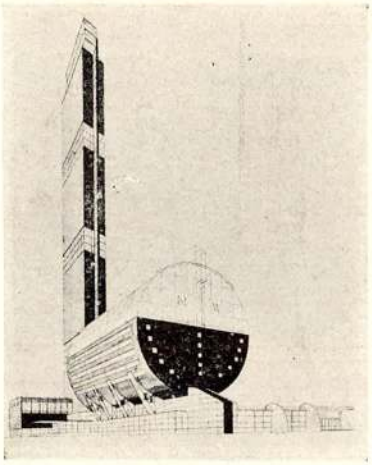
造庭學上の新智識を實地に應用して經驗を積む事十餘年
獨特の技術と從業職人の訓練と優秀な設計と完備せる施工

和洋庭園築造請負專門
創業大正五年我國唯一　設計と施工案内進呈



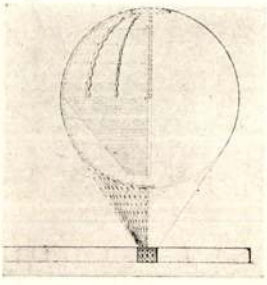
橋本庭園工務所

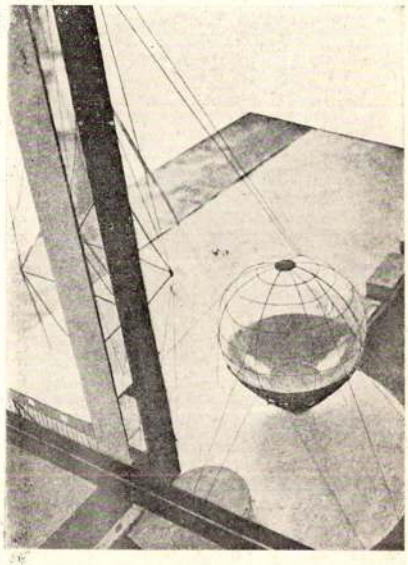
大阪市住吉區田邊町鶴ケ丘
電話特長天王寺（七七）一三三四番



1 レーニン圖書館計畫(モスコウ)　2 一般閲覽室の透視圖と斷面
建築家 W. Paschkoff
3 同上記念議堂斷面圖　4 同上記念講堂　建築家 LEONIDOW







切取線

セメフアルト

◎「セメフアルト」工場の完成

「セメフアルト」は「セメント」製品又は「セメント」アスペスト」混合製品並に燒成「ブロック」に絶對の防水耐酸工程を施したるものにして破壞、剝落、風化を防ぎたるものなり

◎青色淡黃色褐色「セメフアルト」の發見

從來の「セメフアルト」製品は黑色の一色なりしが今回研究の結果之を淡黃褐色となすことを得たり今後は如何なる防水耐酸色料も之を製造し得ることを豫告す

營業品目

『セメフアルト』瓦
『セメフアルト』ブロック
『セメフアルト』ユレート
『セメフアルト』タイル

工材社

大阪市西區京町堀一丁目四十番地
電話土佐堀五八〇九番

長尾薰
阪口芳三郎

全く價値のないものであります。

其反對に品物が安物でも材料が惡くとも、出來上つた室内裝飾の感じが氣持ちよくなれば、これが室内裝飾として立派に成功せるものであります。これは一方室内裝飾の容易であると同時に、非常に六つヶ敷しいものである事を證明して居ります。

住宅の室内裝飾としては、その住む可き人々の嗜好と趣味によつて、それ〴〵方法と結果を異にするもので、この各人の持つ本能的裝飾なるものを、第一として構成さる可きものであります。世間で云ふ『十人よれば十種』と稱する如く、各人の氣持ちと趣味に依つて各々考へなければなりません。この問題は、或る一種の方則によつて室内裝飾を施せば、室内裝飾として完全に近いものが得られると思ひます。



第二圖　家具形を定めた室
形——オランダ風
材料——オーク材
塗——ラック仕上げ
天板と木端は色違ひ

◇

室内裝飾は、三つの要素より成れるものと考へて左にその内容を述べます。

第一要素となる可きものは色調の關係であります。

先づ人に對して色調程氣持ちを變化さするものはありません。例へば明い氣持ち暗い氣持、麗しい感じと汚い感じ等も、この色調の關係で表す事が出來ます。

春の花、夏の新綠、秋の紅葉、冬の雪、各々其美を誇つて居りますが、これは色より見たる自然美であると共に一種の裝飾とも考へる可きものであります。これ等は人の氣持をよくさせるもので、同樣住宅の室内裝飾にもこの氣持のよい事が第一に必要であります。

住宅の室内裝飾として、玄關を初め、客室、食堂、書齋、居間、寢室、等それ〴〵その使用上より見て、その室の性質によつて、各々一種獨特の色調を持つ可きものであります。

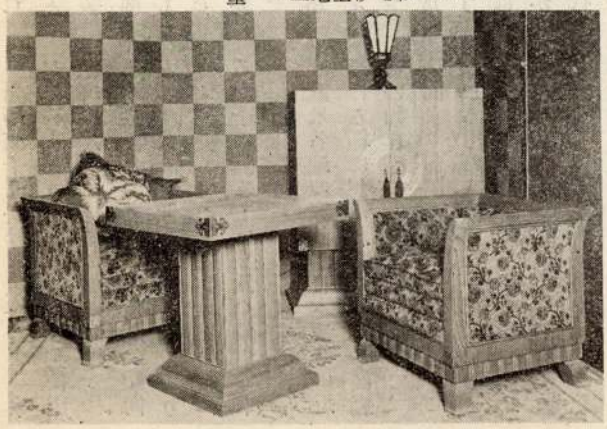
裝飾上よりその色調は各室の性質特徴を、自然に表はせる色調でなければならないと同時にその室特種の色調を持たさなければなりません。

例へば寢室は、靜肅な感じを出す爲めに澁き同色調和を取る事、亦客室は、氣持宜い麗しい感じを出すためにおとなしい反對色調和を取る事等であります。

第二の要素としては、形及模樣でありますが、これも色調と同樣、各室の性質に依つて、各々形及模樣にせなければなりません。例へば、重い感じと輕い感じ、堅い氣持と柔い氣持、強い感じと弱い感じ等もこの形及模樣の關係で表す事が出來ます。

東海道の富士山、近江の琵琶湖天の橋立、松島等は形の自然美であります。同樣室内裝飾にもこの形及模樣の美を、その室の使用上より見てその室の性質に應しい樣に裝飾を施さなければなりません

第三圖　家具材料を定めた室
材料——日本桐
形——東洋風(日本風)
塗——生地上げセルニス



例へば食堂は男性的なもの、客室は女性的なものを取ります。

第三要素としては材料であります。これは以上述べたる第一要素(色調)第二要素(形及模様)によつて、それ〴〵異にするもので使用上より見て其室の性質に應しく撰擇すべきものであります。室内裝飾は材料の上下は第二の問題として、先づ其室の感じを氣持よき雰圍氣に構成せなければなりませんそれに必要とされる程度に於て各材料を撰擇使用すべきものであります。

以上三つの要素の完全なる組合せと、住む可き人の爲めに造られたる住宅の室内裝飾は其人の趣味とによつて定まるもので、他人のために裝飾すべきものでない事を考へなければなりません。

◇

住宅の室内裝飾に必要なる第一條件として餘分に裝飾を施さない事、云ひかへれば裝飾が過ぎては宜くない事であります。

室内裝飾として取り扱はれるものは、室の造作(壁面と天井、床)と家具、敷物、窓掛、電燈器具、其他部分的な裝飾品等であります

室内裝飾を施すに當つて裝飾品の一品一品に至る迄注意を拂つて總合的に調和すべく撰擇せなければなりません。

先年佛蘭西巴里に開催されたる萬國裝飾美術工藝博覽會に出品されたる各國の室内裝飾にも、この總合的調和なるものに意を用ひ苦心されたるあとが明かに認められました。各裝飾品の不足の部分を他の裝飾品を以て補へる等裝飾として完全せる點は感ぜずには居られませんでした。

この完全なる室内裝飾が出來たのは永き研究と經驗の結果だと思はれます。

◇

ここに云ふ裝飾の總合的調和は室内裝飾に用ひられる裝飾品一切の調和によつて出來上る一つの室内裝飾を云ひます。室内裝飾を形造る部分的裝飾品の各々が持つ、色調形、材料等は一つ一つの持つ完全せるものよりも、總合的に完全さる可きものでなければなりません。例へば敷物として、非常に立派なものでも、其室に應しくないものもあり、家具として申分のない結構な品物でも其室に用ひて調和せないものもあります。これ等敷物、家具、共に美術工藝品として價値の有るものでも、室内裝飾としてこれを見る場合は、全部の調和即ち、總合的調和を缺くものは裝飾として價値のないものであります。(但し其室に對して)要するに裝飾品の一つ一つが完全でなくとも總合的に調和すべき事が必要であります。他の一方から考へると裝飾品の一つ一つが完全せないものが反つて結果總合的に成功する場合が度々見受けられます

最近室内裝飾の新傾向としては成る可く構造的で清楚なるものが悦ばれます。またこの反對に時代の形式をふんだ、室内裝飾も奥ゆかしく賞ばれて居ります。スタイルによる室内裝飾は其スタイルによつて總て裝飾方法を限られて居りますからここに其の裝飾の說明を略します。

◇

室内裝飾の一部、家具について少しく述べます。

他の裝飾品と異なり、この家具は、日常生活に直接人に取り扱はれて密接なる關係を有するものであります。

先づ椅子は掛けて氣持のよい事が第一であります。これは共使用される人の身長によつて變化されるものでありますが、最近の傾向としては漸次低くなつて來て居ります。從つてこれと共に用ひられる卓子の高さも自然低く成つて來ました。特に我々の注意すべき事は歐米各地の家具が日本趣味に近づける樣に思はれます。例へば寢台の如きものも漸次低くなつて、床面より蒲團の厚みだけの高さになれるもの或は室の一部の床面を上けてこれを寢台とした等殆ど日本人の生活狀態に似て來て居ります。

一般家具としては、室内裝飾に述べたる如く、同樣色と形の材料の三つの組合せによつて出來上ります。

家具に於ける色即ち、塗、例へば漆塗の家具を造るには先づ材料はこれに適當すべき櫻或柱を撰びます。形はこの塗と材料に應しいものにせなければなりません。

形の上から家具を造らんとする時は、その形に適應したる材料を撰擇して、塗を定めなければなりません。

例へばオランダ風の家具を造る場合は材料はオーク塗色は部分的に變化させます。

材料を桐として造る場合は、形及塗も或る程度迄制限されるものであります。斯くして以上三つの組合せによつて種々變化されたる家具が出來たる樣に思はれます。

以上述べたる家具も、室内裝飾の一部分ですから、同樣の方則のもとに取り扱はれます。

要するに住むべき家の室内裝飾は、その住む人の趣味と嗜好と、或種の法則によつて完全せる室内裝飾を得るものであります。斯くして氣持の宜い室を造られん事を望みます。『居は氣を移す』とやら室の氣持は人の氣分を、變化させるもので室の裝飾は、人と密接なる關係をもつて居りますから簡單にこれを取り扱ふ性質のものではありません。充分なる注意を要します。(昭和四年四月十五日稿)



住宅の改善と考慮すべき要點に就て

須賀藤五郎

私は此處に二階建延五十坪前後の現代的中產階級者の住宅として專ら簡易な生活に適するとせられてゐる建物の改善と經濟的に能率發揮本位及び衛生的諸設備に就て實際の立場から述べて見度いと思ひます。

先づ住宅を建築するに就て、各自の趣味を基調とする計畫は、一面の眞理である事は爭はれぬ事實であります。然し一方に於て實生活に觸れる事、即ち日常生活の總ての點に能率を發揮させて經濟的の方面にも充分に考慮せねばなりません。寧ろ此の方面こそは充分改善研究の必要がありはせぬかと思ひます。然らば如何なる程度に此を改善すべきやと言ふ事になりますと、此の問題が又頗る難しい事であります。何となれば多くの人々が其家族の狀態に依り、職業に依り又資産の程度に依り、各自が日常生活の表現即ち趣味等に依つて各々の希望する處が千差萬別ですから止むを得ぬ事であります然し大體に於て趣味と云ふものは十人十色、人々各自の性質に依つて異なる者でありますが、生活樣式が大體同じである以上は、その中に一脈の共通性が見出し得るものと信じます。近來我國では、各方面の職業に從事される方々から文化生活又は生活改善と言ふ事が唱導されて、一步一步、一般の人々が此問題を眞面目に考へる傾になつて參りました事は、誠に喜ばしい現象であります。

さうして此改造されつゝある住宅に就ての構造とか、又室の配置とか言ふ事は、夫々專門家の御意見を承る事として、差し當りその中で日々生活する私共に直接に關係の最も深い臺所、浴室、化粧室洗面所、及び便所等の湯、水の供給、衛生的諸設備並汚水の處理法冬期に於ける煖房裝置及び防火設備に就きまして、實際の立場から今後我國の住宅に如何なる程度の改善が必要であるか、又吾人日常の生活に於て最も心地よく、且衛生的で經濟上能率上の見地からも實行の可能性を有する程度に於きまして、少々私共の希望と私自身の實驗を述べ度いと思ひます。幸に此内に何かの御參考になる點がありますれば結構と存じます。

一、水と敷地の撰定
二、給水法
三、井戸と喞筒に就て
四、浴室設備
五、洗面所、脫衣室、並に化粧室の設備
六、炊事場の設備
七、食堂の設備
八、消火設備
九、居間、寢室其他の煖房設備
十、煖房裝置の種類と其の概算
十一、水洗式便所設備
十二、汲取改良便所設備
十三、兩川便所設備

一 水と敷地の撰定

先づ第一に家を建てる前に考へ

なければならぬことは、良質の水を充分に得られる土地でなければならぬことであります。別に何でもない様な事でありますが之が又重大な問題でありまして、簡單に敷地を定めて家を建て、移つてから水質檢査をやると、飲料水にはこても使用出來ないと云ふことが判つて困惑して居られると云ふ例は再々私共の耳に聞かされて居るのであります。

將來水道が布設される土地であるか、又は人工的に簡易に清淨されるならば宜敷いのでありますが自分で家を建てる場合には先づ良水を得る事を第一の條件として充分調査をする必要があります。

二　給水と水槽に就て

都市に住宅を求める時には大抵の場合、上水道が布設されて給水の問題に就ては殆ど其心配がありませんが、都市に依つて稍もすると一時的にも斷水の起る場合が屢々あります。而も水の最も必要な夏季に限つて居る事は今日迄の實例でありますから、別に豫備水槽か又は喞筒を以て給水させること謂ふ豫備給水裝置が理想でありますが一般小住宅の給水法には略二種類ありまして、從來郊外でよく見受ける高架水槽に依つて給水する方法と密閉水槽(氣壓水槽)に依つて給水する方法があります。

何分前者は大きな圖體を屋外に曝されて居る爲に、充分な保溫設備を施さないと多少寒暑の影響を受け易いのであります。

此の影響を避ける爲に、水槽を屋上又は天井屋根裏に置く場合がありますが、此の場合には特に溢れ水孔を完全にして屋外に排水せしめる方法をせなければなりません。

水槽を屋內天井に設置する場合には如何たる場合にも其下に『走り』を設けて、其走りには充分な排水管を設ける必要があります。

溢水管(オバフローパイプ)が不完全であると、思はぬ失態を演ずることがありこれが爲に溢水管は給水管より尙一層大きいものを設備して置く事が肝要であります。

次に密閉した鐵製の水槽に壓入して屋內に据付け地中に配管して直接給水栓に連絡して給水する方法に依りますと、冬は溫かい水を夏は冷たい水を供給出來るのであります。而し其反面には電氣がビタリと止れば高架水槽の如く水槽內に貯水された水を最後迄使用する事は不可能であります、之を多少考慮する爲には、氣壓水槽を直立させて地上より約二三尺高く設置しおく時は幾分之を緩和されるわけであります。

三　井戸と喞筒に就て

井戸は喞筒の性能によつて二別され普通の吸上喞筒が吸揚げる程度の深さ即地上より水面迄二十五尺位迄のものを淺井戸と呼ばれ淺井戸喞筒で吸揚げられない程度即ち地上より水面迄が二十五尺より深い場合には之を深井戸と呼ばれて居ります。

淺井戸はごんな種類の喞筒でも撰定が出來而も井戸の横にでも臺所にでも隨所に据付けられて場所には何等の制限を受けませんが更に深井戸になると複雜な深井戸喞筒を使用せなければならぬので其喞筒は井戸の上に置かなければなりません。

既に申し上げました氣壓水槽による給水方法は水道の恩惠を受けない郊外住宅では誠に有難い設備で郊外住宅が近年急激に增した爲その需要も頓に增加して小型の家庭揚水喞筒は多種類に亘つて市場に販賣される様になりました。

それが爲に喞筒を撰擇するのも容易でないのでありますが値段も安く隨分立派なものが澤山出て居りますが何分機械的の代物である丈に相當の年月を使用して見ないと善惡を判然と區別するのは困難であります。

先づ之を撰擇するのには

一、機械的に完全なこと

二、故障の起つた時に修繕が容易に出來ること

三、成可く電燈線からとれるものを使ふこと

これは使用上使利で危險が少く自働スヰツチも動力線用に比較して簡單なること

四、何馬力のものを据けてよいかは給水栓の數や水の使用量をよく調べて決定する必要があります。

右の通りでありますが使用に就ては尙細密な注意と掃除が最も大切でありますが之が實行を怠れば如何な完全なものを裝置しても其使命を全う出來ませんのみならず斯

様な處に限つて何時も喞筒が悪いと云ふことは度々見聞する事であります。

さて實際吾家に設置するとすれば附近の住宅の喞筒を一度はよく見て參考にすることが必要で若くは直接信頼の出來る責任ある工事請負者に一任するのが得策であります。

四　浴室の設備

入浴と云ふことは體を清潔にすると云ふ丈ではなく一日の疲勞を癒す唯一の場所でありますから最も愉快な氣分で浸れる樣に充分な設備が望ましいのであります。

歐米の都市では浴室にはバス、シャワー等の浴器具の外に洋風大便器、洗面器、鏡、化粧棚等の一切の器具がこゝに設備されて居つて一通りの身づくろひは此室で全部出來る樣になつて居ります、舶來品では此の種の器具の嶄新なものが豊富な所を見ればよく其邊が窺はれるのであります。

日本浴室でも浴槽に『上り水』『上り湯』と湯水合併カランを取付ければ湯水の出加減を程よく調節出來て適宜の溫度の湯を出すことが出來て便利であります。第一圖Aは此の種の湯水合併カランで溫度計とシャワーとを設備されたものであります。

第一圖Bはタイルに嵌込んだ陶器製の石鹸受であつてこれさえあれば石鹸の置場所に困ると云ふことはありません。

坐浴器に就て

第一圖Cは坐浴器で過半分が寫つてゐる譯であります、左に傾いて寫つてゐるのが蓋であつて二枚折れとしてあり坐浴器の不用の時で常時は腰掛として之に腰を下すことが出來ます又身體を洗ふ時には最も好都合である許りでなく更に此の裝置に依つて幼兒の入浴も此處で簡單に出來又場合に依ては之が洗濯槽に充分利用されるのであります、此場合には前の腰掛はドレンボールとして役立つのであります。



第一圖　浴室裝置と腰掛裝置

坐浴器は寫眞の如く極小型のもので全身の上半分は衣服を纏つた儘簡單に使用出來るものであつて痔疾、腸疾患のある場合には適度の湯を以て腰部のみを溫めるに云ふことは最も効果が多いのであります。一度使用するとこの簡便な點で容易に廢することは出來なくなるものであります。此の外『シャワー』も湯水混合弁（ミキシングバルブ）の優良品が輸入されて居りましてハンドル一つ指向けることに依つて自由自在に湯の溫度を調節出來る裝置が施されて居ります。

尙此外に飲用水濾過器、婦人洗滌器、化粧道具箱、タオル掛、スポンジ入、洗面器、フートバス、等の設備されることがあります。

浴室の排水裝置に就て

住宅の浴室の排水にはよく立派な排水口を附してあるのを見受けますが何れも防臭裝置を完全に施してあるものが少いので大抵は土管で其儘汚水溝に導いてゐるのを見受けて居ります。之は必ず下水の悪臭の逆入を防止する上に於て完全な防臭裝置を施した防臭裝置付床排水『トラップ』の設備をお勸めしたいのであります。

第一圖Dは此の防臭裝置の床排水『トラップ』であります。

浴室や臺所の排水は臺所の淨化槽に流入してはなりません。之は石鹸水が混入して居ります爲に淨化能力を減殺される惧れがありますので別の排水管でとらねばなりません。

五　洗面所と脫衣室並に化粧室の設備

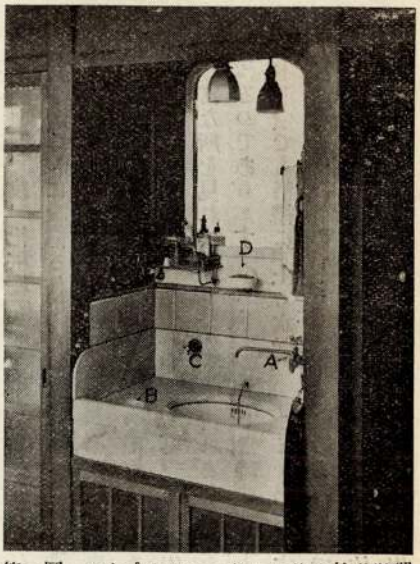
近來內地製の陶器洗面器の新型のものが製作されて舶來品と肩を並べられる程度のものがぞんぞん出來て參りました。尙室の調和上洗面臺には丸鉢の嵌込みや又は大理石やカラタグラス等で走りを造つて其上に硝子棒やニッケル棒を列べると謂ふ風に色々嗜好に依つ

て設備されて居ります。第三圖は情圓型の鉢を嵌込みの洗面所でAは給水栓頭を打たぬ自在のものBは痰吐(水洗式)Cは痰吐洗滌用弁Dは陶器製の石鹸受で取外し自在のものであります。此等の室には噴水飲用器、生水の飲用には飲用水濾過器、洗滌式痰吐器、石鹸入タオル掛、ブラシホールダー、コツプホールダー、化粧道具箱、鏡化粧棚、エヤードライ、湯水合併カラン、焜房設備、眞空廓埃掃除裝置が設備されます。

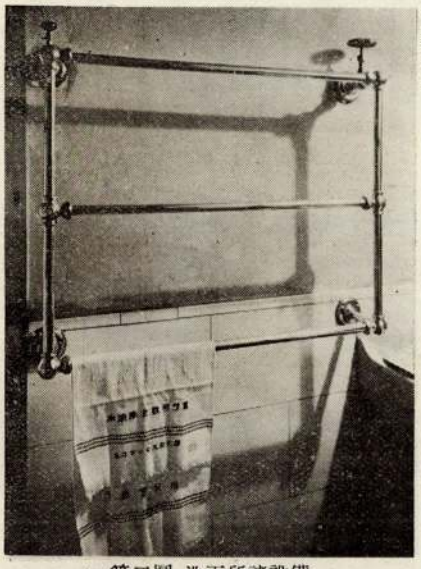
脫衣室パイプ放熱器に就て

パイプ放熱器とは第二圖に示した眞鍮管で製作した放熱器で之には『ニツケル』鍍金を施さず眞鍮パイプの儘で時々磨けば美しい光澤が出て誠に氣持のよいものであります。特に浴室又は化粧室や脫衣室の上部へ設けて此の中を溫水が間斷なく循環するのでありますから一面放熱器にもなり冬期非常に溫かいよい氣持を與へ夏期はタオル掛又脫衣場の衣類其他を掛けて置けます。

尙冬期雨降りの日にも此の上に濡れた『タオル』や洗濯物を掛けて置けば心地よく直ぐ乾かすことが出來ます。



第二圖 パイプラジエーターに依る乾燥裝置

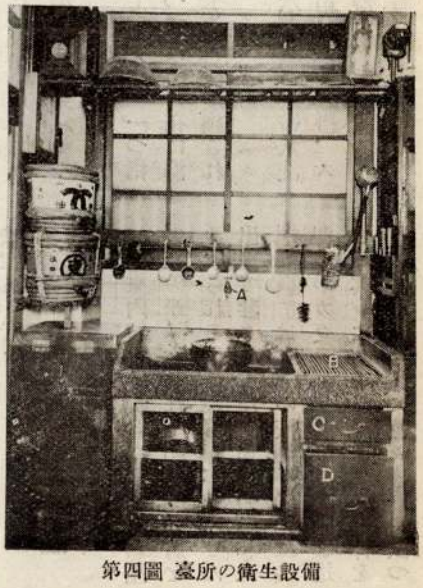

第三圖 洗面所諸設備

六 炊事場の設備

給水裝置は勿論必要でありますが更に給湯用『ボイラー』(第六圖參照)溫水罐消火器(ミニマックス)キチンシンク、(走り)飲用水濾過器グリーストラツプ、布キン掛、換氣風車が設備されます。

炊事場は一番よく水を使ふ所でありますから第一排水管の太さも充分なものを使用し施工も完全にして置かないと排水管の途中で詰り排水が出來ないことになります。若し此處に階上の排水管が立下つて居つたならば階下の床に溢れ出して床が汚水で滿ちると云ふ不都合も生じるのでありますから排水管が詰らぬ樣完全な設備が必要であります。(但し此排水管は最小二吋もの其以下は不安で有ります)

次に第四圖は流しであつてAが給水栓Bが洗つた器物の置場所であつて此の雫は下の引出の中に落ちる樣になつて居ります。又臺所の調理の不用物、汚物はこのBの眞鍮製格子金物を開けば下の引出Cに落ちる如く施してある故此處に捨て、引出の中に溜つた雫は其下の排水管によつて屋外に導かれます。Dは火消壺でありますが箱は鐵板製で引出の正面は銅板、周圍は人造であつて火災の危險は少しもない譯であります。



第四圖 臺所の衛生設備

メートル箱の設置に就て

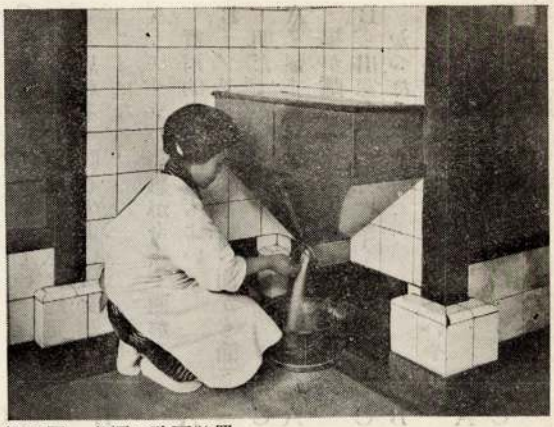
第四圖の左側で冷藏庫の上部ガスメートルの下にメートル箱があります。

之は電氣、燈火、電熱、水道、瓦斯三各種のメートルの計算紙を納めた箱であつて之に依つて家庭に於ける總ての消費量の計算が容易に出來て比較研究が完全に出來誠に便利であります。

米櫃に就て

米櫃に就ては鼠族の侵害を豫防する爲に最近では鐵力製の米櫃が一般に現はれて居る樣でありますが唯鼠が侵入出來ぬと云ふ丈で矢張昔と相變らず上部から入れた米が上部から掬ひ出されると云ふ不便利な致し方であつて米の量が少くなれば誠に困難を感ずのであります。又底部の米は底迄使ひ果さない限りは殆ど何時迄も殘る事となつて居つて日々の取扱ひの上には何の改良も施されて居ないのであります。

第五圖は之等の欠點を除く爲に考案して作つたもので成績は至極良好であります。即ち容器の上部より投入された米は下部の口金を引くことに依つて間斷なく押出され口金を放すと強い發條の力で自働的に口を閉ぢる裝置であります尙正面の縱線の部分は硝子板にて容器內の量を檢べる時に必要であります。



第五圖　米櫃の改良裝置

此方法に依りますと第一勞力が省けて米屋から持つて來た米を上から投入れば追々と下へ下つて旬日の中には使用されることになつて以前のものに比べると取り出すと云ふ勞力は殆んど省けて而も衛生的であります。

この硝子板に容量の目盛を刻んで置けば米の容量を外側から知ることが出來米屋が投入した量も分れば使つた量も現在の量も明瞭にわかるのであります

鼠族の侵入を防止すること

鼠族が屋內へ侵入するのを防ぐ爲に炊事場の壁には下部二三尺は煉瓦で築き上げて貰ひ度いのであります。そして其上に炊事場の排水管に防臭裝置を施した排水トラツプを設備すれば絕對安全であります。此のトラツプは鼠類の侵入を絕對に防げると同時に下水の臭氣も逆流させませんから此の場所には必ず設備される必要があります、大抵炊事場の排水管は風呂場の排水管と同じ樣に簡單に土管で下水溝へ導かれる場合が多いのでありますが、此場合に炊事場は特に鼠の通路となり易いのであります。例令金網の類で通路を塞いだとしてゐても一方不衛生的な下水の惡臭がドンドン逆入するのであります。只料理場の臭氣を逃す事計り苦心しても下水の臭氣の逆入を止めることを忘れては何にもならぬのでありますから充分注意せねばなりません。

配膳室にはキチンシンク。スロツプシンク、飲用水濾過器。布キン掛の設備も必要であります。

臺所に煖房の爲に放熱器を置く場合にはパントリーラヂエーターと云つて放熱器の間に工合よく食器を數段入れられる仕組みとなつて居つて此の中に藏つて置けば寒い時分でも溫かい料理をすぐ出せる裝置が施されてあります。格好も普通の放熱器と殆んど變りません。

又脫衣場に備付けるパイプ『ラジエーター』放熱器も布キン、雜キンを乾燥させるのに結構で有ります。（以下六月號へ續く）

舟橋俊一述
住家經營の顧問
定價　金五拾錢
內容
一、投資の程度、土地の撰定
一、家主と借家の性質
一、諸官署の手續
一、請負人の撰定
一、設計圖面
發行所　舟橋建築信託所
大阪市港區鶴町四ノ一八二



サンマーハウス入選圖案講評

工學博士 武田五一
工學博士 藤井厚二
工學士 葛野壯一郎

總評

A…こんどの應募圖案六十七葉を通じて閲るのにサンマーハウスといふよりは、小住宅向きのものが多つたのは遺憾であつた。

B…サンマーハウスとしては、風通しのよい事が必要な條件であるのに、この風通しを無視したものが多つた。

C…意匠的に就て日本趣味の取入れ方が少ないやうである。

B…些細な點であるが、開き戸が多く用ひられてゐるやうであるが、寧ろ引戸の方が適當と思はれる、殊に狹い廊下に無暗にドアーを付けるのは考へものである又窓にしても狹苦しい開戸はよろしくない。

A…サンマーハウスとして屋根の架け方と材料にもつと工夫を要する。

C…一般に製圖の技術が非常に勝れてゐる、最近の進歩だと思はれる。

第一等當選圖案評

A…谷川を股いで建てるのはサンマーハウスとして實に面白い思付きである。

B…プランがよく出來て居る。

C…サンマーハウスらしいプランであるが、家族室の窓は蛇足だと思はれる、肝心のよい所を遮ることになる。

A…プランの着想が奇拔で而かも實川的で風通しもよい。

B…プランは一番よい、而かも簡明だ。

A…強て欠點を言へば寢室と風呂場が離れすぎて居る。

B…出窓をもつと大きくすればよかつたと思ふ。

エレベーションも欠點がないやうに思ふ。

C…屋根の銅板葺はどうだろう。

B…屋根は一工夫ありさうに思はれる、外の方法でもおさまりさうである。而し屋根から下には欠點は見出せない。

C…中央の屋根を一段高くすればよくはないか。

B…そしてうんと大きく風抜きを付ければよかろう。

A…さうすれば中央の家族室の天井が高くなつて至極結構である

第二等第一席

A…このプランは平凡であるが、エレベーションがサンマーハウスらしい。

B…全べて開戸でなく引戸にしてほしい。

C…サンマーハウスとしては全べての點で可成く開放的がよいわけである。

B…窓の引違いは結構である。

第二等第二席

A…私はこの案を餘程よいと思つた。

C…玄關が大變窮窟である。

A…それも欠點の一つだし、椽側も不必要だろう。

C…居間がかなり陰氣ではないか

B…大體に小住宅といふ感じがある。

A…エレベーションはよい。

C…屋根の勾配を變へたのはどうだろう。

B…變化を見せる爲だらう。

A…寧ろ屋根を交叉させた方がよからう。

第三等第一席

C…サンマーハウスとするより小住宅としたらよささうだ、あちらを向いても戸こちらを向いても戸で少しも開放的な所がない

B—今迄の內一番小住宅らしい。

A…固定的な感じが多分にある。

B…エレベーションも其通りである。

第三等第二席

C…シンプルな點で勝れてゐる。

A…エレベーションは大體よろしいが少し貧弱だ。

B…西側の窓を塞いだのは何んの爲だらう。

C…西日を恐れたためかも知れない。

B…入口が不味い。

C…切角のよい方向に入口を持つて來たことは惜しい。

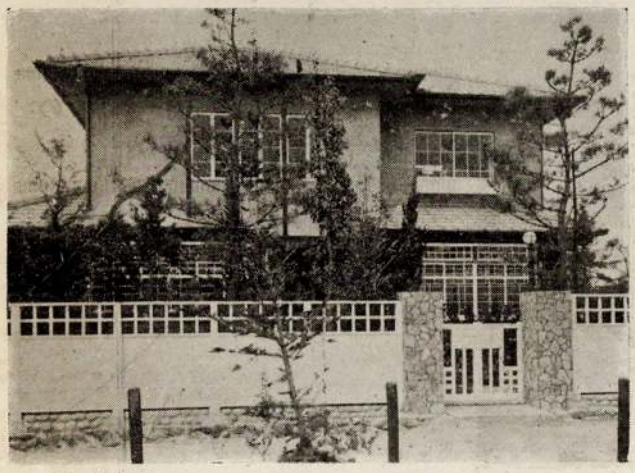
第三等第三席

A…これも小住宅といふ方が適當だろう。

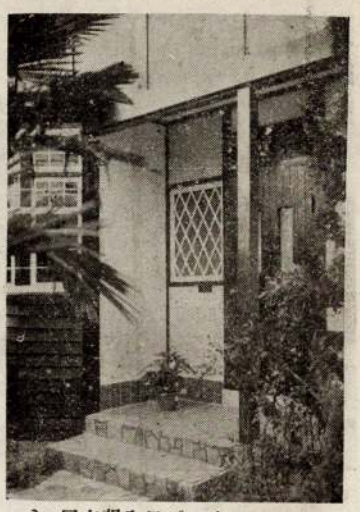
B…サンルームがあつたり、二重窓があつたりするのは寧ろ冬向きである。

A…エレベーションは先づ無難だらう。

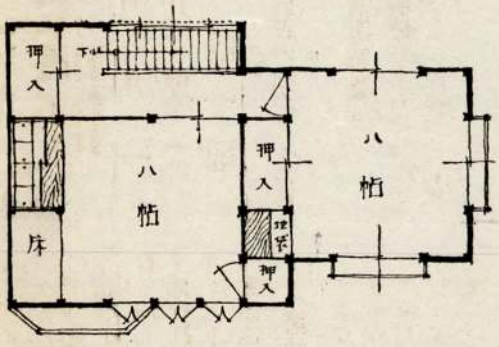
C…斜につき出した切妻はこれも近代的傾向といふのだろう。



1 S氏邸外觀



2 同玄關入口ポーチ



3 同上二階平面圖

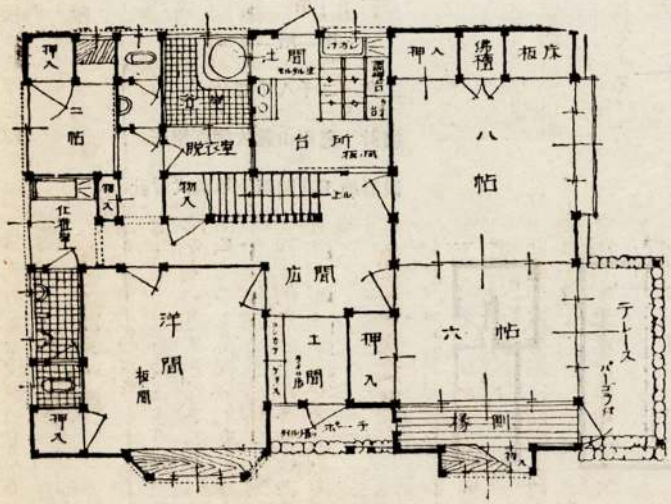
S氏邸

坪數　一階二十七坪
　　二階十二坪二五

工費　六千五百圓

場所　大軌沿線瓢箪山

施計施工　關西土地株式會社



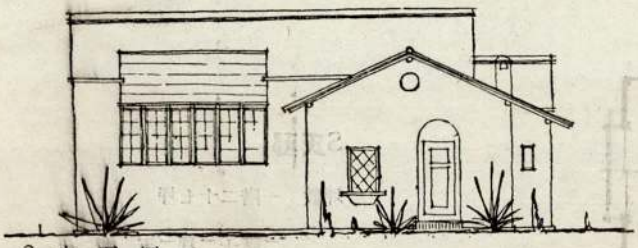
4 同上一階平面圖

大阪近郊に住宅會社の建てた住宅の種々(1)

大阪近郊に住宅會社の建てた住宅の種々 (2)



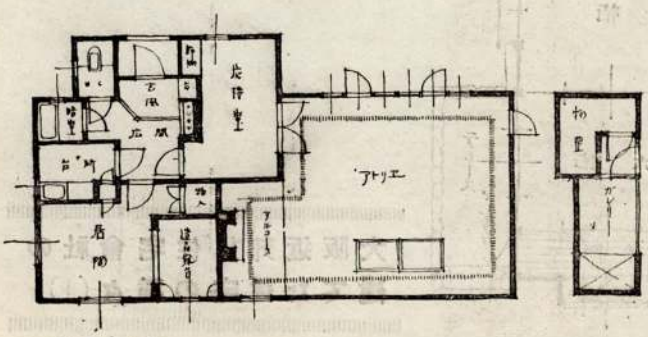
1 M氏邸外觀



2 立面圖



3 測面圖



4 平面圖

M氏のアトリエを兼ねた住宅

坪數　一階十六坪八七
　　中二階二坪五

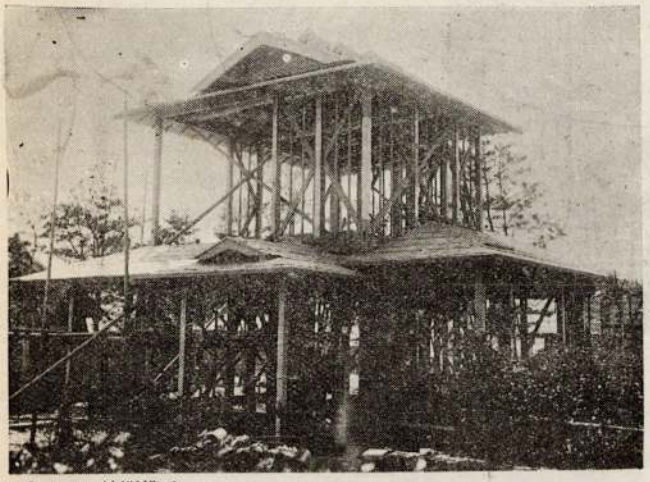
工費　二千八千圓

塲計　箕面山麓牧落百樂莊

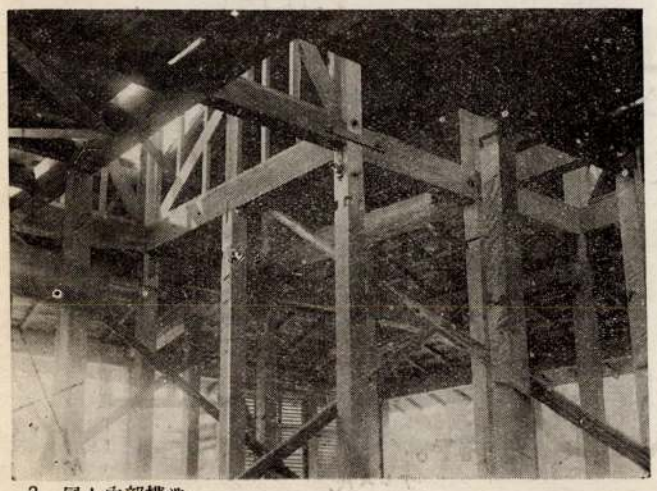
設計施工　關西土地株式會社



1 耐震的に建てられた某邸外觀



2 同上外測構造



3 同上内部構造

大阪近郊に住宅會社の建てた住宅の種々 (3)

耐震的に建てられた某氏邸

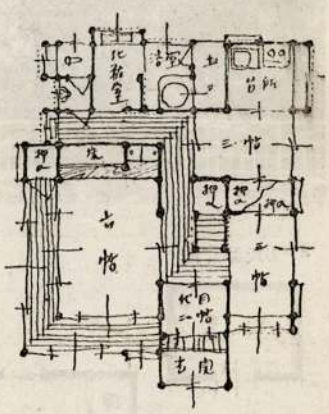
坪數　一階十七坪二五

　　二階六坪五

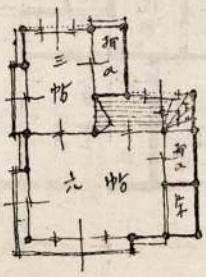
工費　三千九百圓

場所　南海沿線高師の濱

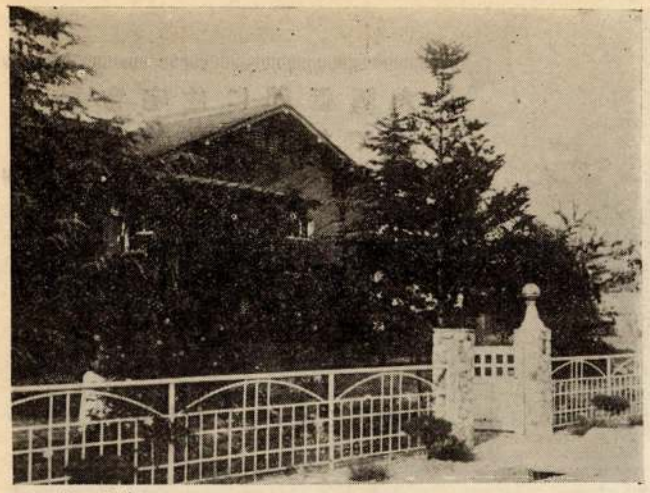
設計施工　關西土地株式會社



4 一階平面圖



5 二階平面圖



1 A氏邸外觀

大阪近郊に住宅會社の建てた住宅の種々 (4)



2 B氏邸外觀

A氏邸

坪數　十八坪

工費　二千七百圓

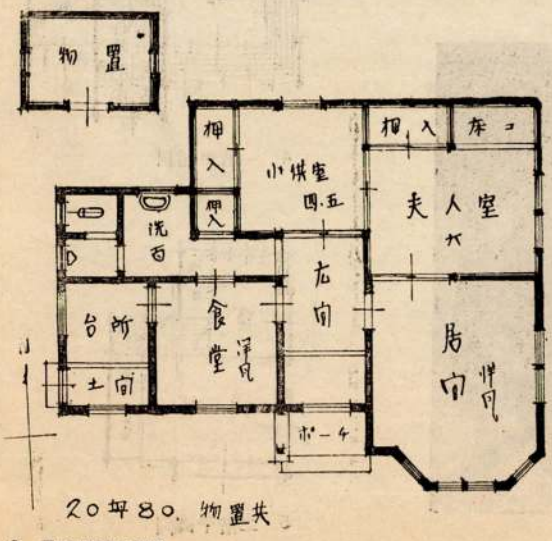
B氏邸

坪數　二十坪八

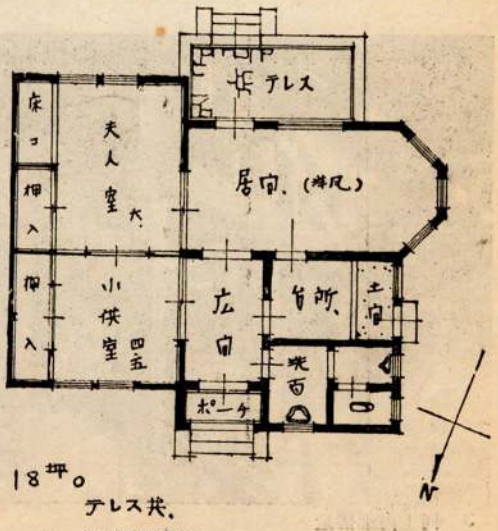
工費　三千百二十圓

場所　阪急沿線石橋(兩邸共)

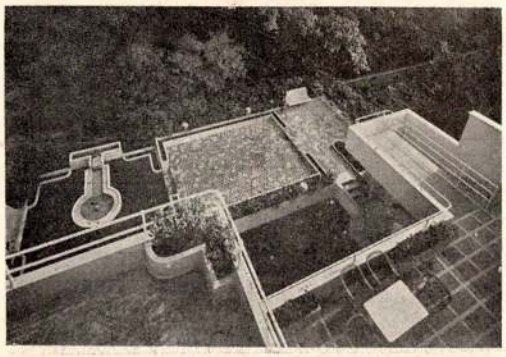
設計施工　日本住宅株式會社

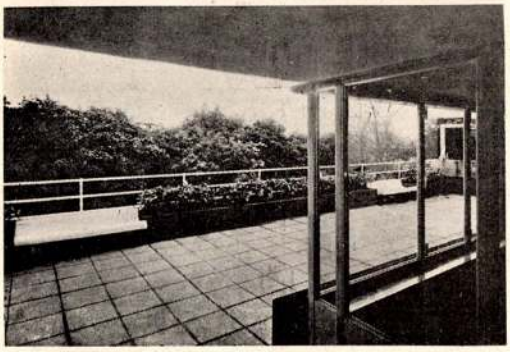


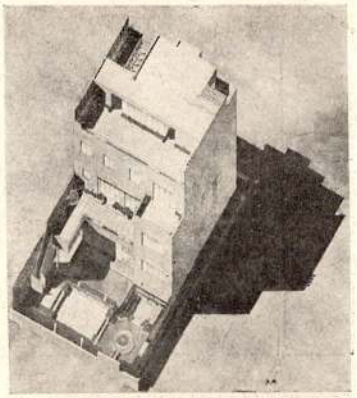
3 B氏邸平面圖

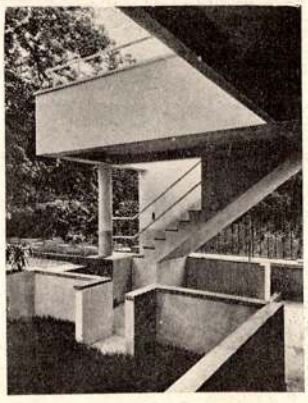


4 A氏邸平圖面


3


4


1


2

巴里西郊外の別莊　建築家 GABRIEL GUEVREKIAN
1 全景　2 庭園の一部　3 三階よりの瞰下視
4 三階の屋上庭園

切　取　線

登録商標



LION BRAND

資本金　五百万円
年産　百五十万樽

ヨーキヨーセメント
ヨーキヨー級高セメント
（特許七八四五）

二日で普通セメント四週の強度

耐壓力
一日　三〇〇
二日　四〇〇
七日　六〇〇
二八日　七〇〇
瓩平方糎

高輪伊皿子路面工事は冬期
三日で八噸ローラーに堪えて
完全なりき

「早期高强度」時代の要求
脫枠迂速工事期間の短縮は
弊社高級セメントに
依りて得らる

終局强度も大にして
使用法は普通セメントに同じ

本品は已に陸軍省、鐵道省、東京、大阪兩市等に御使用の榮を得たり

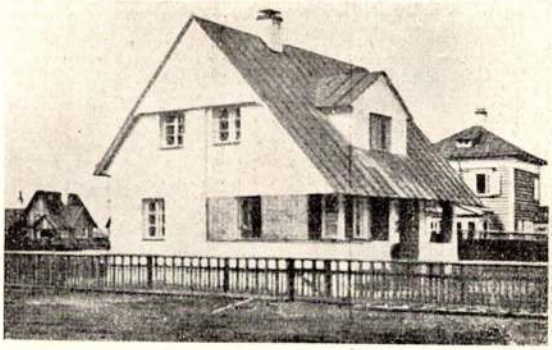
大阪窯業セメント株式會社

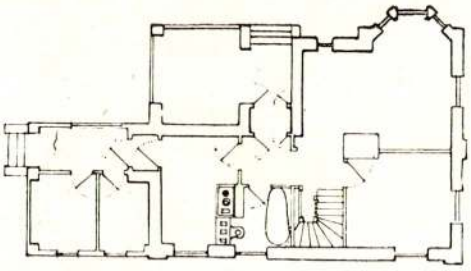
大阪市北區堂島濱通二丁目　電話北自一一〇至一一三番

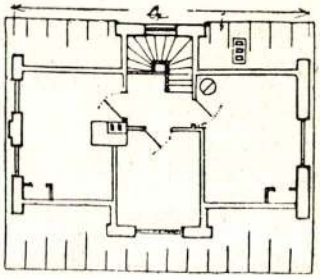
工場　大阪市港區南恩加島町
電話櫻川 一一七七 二六〇九 二八四三

東京出張所　東京市神田區表猿樂町
京都出張所　京都市二條驛前
名古屋出張所　名古屋市中區老松町七丁目









モスコウ郊外の小住宅（設計 MARKOWNIKOW）

切取線

昭和四年度『建築と社會』特輯號廣告

二月號　震災豫防號（既刊）
三月號　**レストランとカッフエー號**（既刊）
四月號　鄉土建築號（既刊）
五月號　**小住宅研究第一集**（既刊）
六月號　小住宅研究第二集
七月號　都市問題號
八月號　**貸家建築とアパートメント號**
九月號　商店建築號
十月號　林泉と庭園號
十一月號　照明、暖房、衛生研究號
十二月號　防火建築とビルヂング號
一月號　昭和四年建築大觀號

五月號までは好評の裡に發行致しました、六月號は七月の浴場、浴室研究號と合して小住宅研究第二集とし豫定の都市問題號は七月號に變更致しました、どしどし會員諸君の御投稿を冀ひます。原稿締切は其月の十五日です。

建築と社會編輯部

久安寺樓門に就て

阪神毎朝新聞社長
原田長治

はしがき

三月上旬日本建築協會編輯部から雜誌『建築と社會』四月號に鄉土建築に關する記事を特輯するから『北攝方面の鄉土建築』に就いて執筆せよと云ふ御書面に接し、同月下旬大林組の住宅部長松本儀八氏から電話で是非鄉土建築物に就いて何か書いて呉れと云ふ退引させぬ御要求があつた。私は古墳に就いては多少趣味を有してゐるが建築物に關しては全く門外漢であるだからお斷りをしたいのであるが已を得ず責任を遁れる爲に北攝の古刹久安寺の樓門を實寫し覺束ない說明を加へて參考に供することにした、詳細は實地に就いて御研究を願ひたい。

一 久安寺と傳說

久安寺は大阪府豐能郡細河村大字伏尾に在る古義眞言宗の中本山である、寺傳に依れば神龜二年七月皇紀(一千三百八十五年)僧行基が倭彦王の舊蹟に開山した寺院である、其後保延六年(皇紀一千八百年)回祿に罹かり久安六年(皇紀一千八百五年)第七十六代近衛天皇の勅を奉じて賢寶上人が再建した、即ち現存の樓門は其の當時の建築であり本年から數へると七百八十五年前の古建築である、住職國司嵩相師の談に依れば明治三十六年大阪府の調査に依り室町時代の古建造物として指定されたが更に昭和二年本省からの調査に依り鎌倉時代の古建築物たる指定を受けて特別保護建造物に昇格したと云ふことである、大阪府攝津部に現存する鎌倉時代の古建築物は大阪市四天王寺の東門と久安寺の樓門だけであると私は聞いてゐる。

二 樓門建築と私見

木造瓦葺三間二面、中一戸を入口とし、左右脇の間、金剛棚の內に金剛密迹の仁王像を安置して守護してゐる。桁行二十六尺、梁間十五尺、高さ四十一尺、單層、樓上周廻に廻椽を繞らしてゐる。內外丹塗りで屋蓋の形式は入母屋造りである。正面及び兩側面本瓦葺背面のみ平瓦葺の南面せる建造物である。



久安寺樓門

柱は圓材を用ゐ繰形をなせる礎盤上に建ち、上下共に水平に切り稜を明かにせるもの及び指肘木を有するものもある。或は粽を有するものも二柱あり、是れは樓上扁額前にある二本の支柱と共に後世脩繕の增補であらう。

枓栱の架構は柱の上にのみ置かれ、柱と柱との中間は斗束を立て或は蟇股を置き、三斗組、二手先三手先組を組織し、前にのみ手先を挺出して左右口は延ばしてゐない。

枓斗は一般に低く斗どりの曲線は緩かである。鬼斗は繰りたる部

分深く、四隅は下がつて下端に四角の面を生じ、菊斗となつてゐる。

肘木鼻は圓孤をなし、其の背には背繰を附してゐるもの、曲線と稜ミよりなり背繰のないものもある。大瓶束には繪樣を施さず、懸魚にも鰭を附してゐない。

蟇股の股間には繪樣彫刻なく、曲線の性質は華麗なものもある。肩、兩脚共に中位を占め、丈のみ少々高い。又或ものは構造的よりも裝飾的の意匠に移らうミしてゐるのもあり、蟇股の中備たる本質的の意義を失ふの前提を表現してゐるものがある。

肘木のあるものは末端を彫んで繪樣肘木とし、先棰は先端太く反轉してゐる。入口扉は板戸を用ゐ軒は二軒にして地棰、飛檐棰共方形、僅かに反りを有してゐる。

樓上高欄は架木平桁の端上に反りを生ぜしめてゐる。一部天井は組入格天井にして支輪は反曲線をなしてゐり、大棟兩端の鬼瓦は共の姿雄偉にして降棟のものは半明のものである。

屋根の流れ少なく急峻にして屋蓋の量の少なきは後世修補の際の改惡たるを思はしめる。本來ならば屋根の勾配緩かに妻は深く入りて破風の反りなどよく、優美にして輕快の外觀を呈せしむるに適したる檜皮葺の樓門であつてほしい然るに現在の如く瓦葺ミなせるが爲に外觀頗る面目を失してゐる。是れ修繕の際に改惡したる缺陷であらう。

全體の構造手法は元氣に乏しく創意の新らしさを見ることは出來ないが內部に潛在する國民性を手法の上に表現してゐるのは愉快である。川材は槻、栂、松である。

本樓門の編年的形式手法は藤原末期より鎌倉時代にして一見却つて室町時代の特性を多分に有してゐるかのやうに解せられるのは修補の際の缺陷であらうか。私が此所に云ふ藤原時代ミは皇紀一千五百五十年より、鎌倉時代は一千八百八十年より、室町時代は二千年よりの考古美術的年期であることを附記して置く。



建築道の爲に (二)

フランク、ロイド、ライト

名古屋高等工業學校助教授 松永德昌
城戸久 譯

一 建築家と機械 (2)

彼等は今や彼等の建築即ち工學又は建物に皮相的に應用された表面裝飾の醜惡なる形式が示してゐるであらう如く生命に對する如何なる完全なる關係からも遠ざかりつゝある。斯くて彼等の機能は何か他の物に變移して行く。古代風に於ける富の持てあまし、時機を得るの甚だしき容易さ、數ケ國語を解する人々、裸體の鋼鐵骨組に見苦しからぬ樣に又は當世風に粉飾する『出來合ひ』建築の必要、時代の毒趣味。此等の不在證明は建築家ミ謀つて私共を凡て機械の自由にされるに至らしめた。而も斯くなつたことを建築家は誇を以て指示して居る。而し私は此のことに何等偉大なる物を見出し得ない少くミも崇高なる何物をも見出し得ないのである。それは富あつて以來のつまらない浪費である。私達は皮膚の下に起つて居る事を分解して『自ら』示さねばならないことを恥かしく思ふ色々の理由を持つて居る。そして私達が現在見ることが出來るやうに多くの建築は一種の皮膚病のやうなものであるそれは少くミも有機的ではない。

『構成』を除いては何等の完全さをも持つて居ない。而も建築家以外の近代の藝術家はミくの昔に『構成』に就て語ることを止めて了つて居る。

然し乍ら幸にして建築とは二元のものではなくして第三の元を有し而もその第三の元こそ精神的意味に於て事物に於る完全な性質、或は事物を完全ならしむる均一性として解釋され得るものである、ミ言ふ信念が生じつゝある。人が作つた『物』に於ける生命の本質は

恰かも草木禽獸に於けるそれと同様である。而して『樣式』なる『物』の特質の秘密も亦同樣である、それは精神の物質化である。あからさまに此を論ずれば建築は機械が建築の周りに又建築の內に在ることを避けるものであるそして私達は建築の爲の建築を有して居る。此は感情的な矛盾である。かゝる建築は、人々が一介の職工であり材料や道具が異つたものである場合に、建築とは凡ゆる材料や道具の背後にある偉大なる生ける精神である事を認識せずして建てられたる建物である。この生ける精神こそは建築を私達の時代とは別の種蒔きと收穫時の尊い記錄として時の流れの岸に打ち上けて置いたのである。此の精神は今わずかに我等こそ其精神であるとゝ云ふ私達の學究的な斷言に依つて否定せられ誹られるために生存せるに過ぎない有樣である。何故にこんな愚かしき斷言をするのか。私は多くの場所に於て多くの建築家に對し色々な形式で此の質問を提出したが而し常に私自身で答へねばならなかつた。何故なら否定や背信以外にこの斷言の背後には之を支持する何等の哲學もない。その代りに社會的臨機應變主義者、投機的建築屋や『學派』のみに適應する便宜主義のみが存在して居る。其以外に何等の意味もない。機械は不平を言はない、全てを食ひ盡して更にあとのものを望んで絕えず叫んで居る。

あとのものは如何なる場所から來るべきであらうか。私達は既に殆どありとあらゆる『時代』を數回通過して前進し淺薄なる現在の趣味を喜ばすべく再び後戻りをしたのである。現代は『物』を有機物として眞面目に考へ且つその微妙なる方法に於て其生命力を研究すべき時代であらうと思はれる。何故に如何なる自然がこの『物』の中に存在するかを發見しないのであるか。そして間に合せ手段よりも寧ろ理論に依つて導かれるべきではないか。斯れを立派に爲し得るであらう者は建築に携はる青年である。多くの今日の所謂成功せる實際家にとつては彼等の成功から目覺めやうとするには既に時機を失して居る。從つて私の此の小論は只其等青年諸君に向つて書かれつゝあるものである。

二 規格統一 機械の精神

彼のジョンラスキンとウイリヤムモリスは機械を、而して又機械が近代美術や工藝の上に表した總ての機械的なものを忌避した。彼等は機械が彼等の愛するものゝ凡てにとつて恐るべき脅威であると觀じ、終には死に至るまで機械と戰ふに到つたのである。今や彼等のことは追憶となつて居る。樂しき追憶となつて居る。彼等は何物かの破壞を遲らし、又何物かを建設することには成功しなかつた。然し乍ら彼等は機械の使用に依つて、或は彼等に言はしむれば、機械をして私達人間を使用せしむることに依つて、人間が失つた所のものを私達に思ひおこさしてくれたのである。

或程度以上に行はれる反復は常に、生ける精神に呼びかける『物』の生命を奪ふものである。單調は死である。人間の感情は自生の活氣、新鮮さ、豫期せざるものゝ魅力を愛する。換言すれば生命を愛し死を恐るゝものである。ラスキンとモリスは機械が全ての生命の敵であるとゝ信じた。そしてこれは過去に於ても又現在にても事實である。それは然し單に、曾ては藝術家が機械を呪つて之を道具として避けたが、現在に至つては遂に藝術家が機械に依つて擯斥されるに至つたが故にである。

原則としての規格統一は曾てなき偉大な勢で全ての物に行はれて居る。之は文明に於ける最も重要な要素であり、或程度までは文明それ自身である。

光と色とで滿され、豊かな華麗な幻想をはらんだ美はしき模樣に輝く、華美なる東洋の敷物は縱糸と橫糸とに眞に的確な規格統一の基礎を有つて居る。あの綿糸の規則的な下地の上に眞直に張られた毛糸の股の規則正しき整然たる針の歩みに、規格統一の原始的理論が在るのだ。而して之が十二分に幻想にも役立つて居る。

規格統一は此の場合良く『精神』に奉仕して居る。即その機械學は熱烈な心の綾——美に對する愛を抱く織匠の詩的感情の中に姿をかくして居る。

規格統一は敷物と云ふ簡單な織物に於ける如く、私達が文明と稱して織りなして居る織物の中に、

其れと同じ地位を占むべきである而して創造的な藝術意識は之を更に大きな更に廣汎な織物の中に置かねばならない。如何にして？それは左程簡單ではない。此の規格統一の理論は現在その道具或はその主體として機械を有して居る。之こそ過去の凡ゆる道具が比べものにならない理想的の道具である。

恐らくグーテンベルグの解き外し活字の發明は、壓倒的形式の機械の最初の大出現であつた。而してこの發明の恩澤が明かである如く同時に又弊害が伴つたことも明かである。書物の本體は揮發性となりほとんど無限となり、心が之に伴ふことが出來なくなつた。屑が文明の世に氾濫し、印刷せる頁の流は荷箱を滿す包裝紙となり、或は棄てられて世界中の溝の中に吹き散らされる樣になつた。

大洪水だ！。而も書物は猶生きて居る。現代には過去の時代の一人に對して一千人もの作家があるが、しかも大抵は千分の一程の値しかない。『組み變へ活字』は規格統一の原理であつた。そしてその機械は私達が今日使用して居る『印刷機』である。そして印刷界に起きた樣な斯る事件は私達の生活の殆どあらゆる方面に起つたのである、同樣なしかも、もつと不幸なる結果をもたらして起つたのであり、或は起りつゝあり、やがて起らんとして居る。質を犧牲にしたる量である。然し之には常に、曾ては珍奇であり高價であつた處のものを安價な、卑近な形に於て貧窮人に役立たしめると言ふ恩惠が伴つては居る。が然し私は建築家といふ立場から美術に就て語つて居るのである。

斯く私達は機械に於て、ユソニアン民衆主義（デモクラシー）の先驅と理想的の代理者をばありのまゝに見るのである、感傷的な不健全なデモクシーである。然し此のことは自ら別問題で之を語れば長くなる。

私達はこの古き（規格統一の）勢力の中に統御し難き新しい作用を發見する。一たびこの世に放たれた以上、曾ての善なる或は偉大なる生活との密接な關係に於てそれ自ら尊く價値ありし此の世の凡ゆるものが——極端に云へば——犬や豚の餌になるに至るまでは決して停まることなき勢力である。然し乍ら、斯かる間には犬や豚を、より人間らしきものに變ずる僥倖（チャンス）を有する物が世界中に現れる機會が發生し兼ねない。正直に言へば其は恐らく人間を凡て犬や豚の支配下に置くところのチャンスである。

これこそ創造的藝術家の踏み入るべき處である——此の強き作用に新しき心の生命をもたらし、原物に代る模倣性を曝露した間に合せを廢し、生活をして、より明るく眞正ならしめる新しき理解をもたらすために——古代に對する此の不名譽なる跳梁と强奪から私達を救ふために。然しこれ等全ての內には何等藝術的良心は存しない如く思はれる、藝術家は此場合、恰もパン屋の店へ放り込まれた餓えたる孤兒の如きものである。眞の創造藝術家はかゝる內には存しないのである。

古代に於ける民族の榮譽とも言ふべき創造的藝術は決して死して在るべきものではない。只覺醒を必要とするのみである。それは疑もなく普遍の流れのまに〳〵殆ど死に瀕して『洪水』に漂ふて居る。そしてその指して行手は希くは大洋の泰平であらしめたい。この規格統一の原理は藝術や藝術家に何等損害を與へるものではない。其はこれ迄にも常に存在して居つたけれども之には、他の原理と同じく、其利用と濫用とが有るのである。それ故に物事夫れ自身のためにそのものを甚だしく濫用する事の如何に馬鹿氣たことであろう。

藝術家は感覺的である。決して頭腦や科學や經濟等に依つて愚にされるものではない。感覺——云はゞ本能の働に依つて善と惡、生けるものと死せるものゝ區別を知るのである。然しながらその『知ること』に効果あらしめる技巧を有しないで不分明のまゝで居るかも知れない。併し知ると云ふことは彼の義務であつて、彼の技巧は彼を藝術家として彼の仲間に役立たしめる所のものである。規格統一の道具としての機械の技巧を修得すること、兩者の性質を會得することは今や彼をしてこの洪水の漂流貨物と投荷を救ひ、若しくは凡てを流し去つて、再び始めからやり直すのに必要な生ける力たらしめる唯一の道である。

他の時代を始めよ。機械の現代は凡て經濟的に人生をして、量に於ても質に於ても、より豊富により快活に、しつゝある。

規格統一は秩序の原理として理解されるとき、その應用に於て單調に流れる危險性を有して居る。規格統一は、規格化されたものゝ中なる生命が想に依つて保全されて居るか、或は其の缺乏に依つて破壞されて居るかに從つて、殺戮者ともなり有益な要素とも成り得るものである。

私が物の『生命』といふのは（前にも其說明に努めた如く）第三次元の意義に於ける物（私達は藝術上の物に就て語つて居るのである）の『完全さ』を意味するのである。物の『生命』とは物を全く自然的ならしめる所の其或は其中の性質である——勿論之は有機的であることを意味する。そして其れは單に物を作つた所のものに對し、及び物が作くられた目的に對して眞實であることを意味する。故に其れは『物』の『體』であるかも知れない善き意味の物質である。新しい機會は手口ではなく、心にやつて來たのである。これはさして特別なものに思はれないかも知れないが併しこれから先の經驗を了解するに必要なる觀察點である。こいふのは、この精神に於て實驗が行はれ、その結果の良否が判斷されたのである——このことは拙稿中に逐々出て來るであらう。之に就て重要なる第一の研究事項は勿論材料の性質である。

何等未知の物を、巧妙に取扱ふことは不可能である。故に木、紙、ガラス、金屬板、テラカッタ、セメント、鋼鐵、鑄鐵、鍛鐵、コンクリート等の性質を具さに知ると云ふことは此等の材料を敏く又巧に利用するに役立つ道具を如何に使用すべきかを知るのに缺くべからざる事柄である。

其故に私達は此等の主要なる材料に就て一瞥しよう。私達は之等凡ての中に、規格統一が役立つ所の或る性質を、又、度を越へた規格統一が滅して了ふ所の他の特質をも發見するであらう。

應用された規格統一の原理は之を應用する物の性質を研究して之を棄るべき時を知る事であると言ひ得る。

さて私達は此れより木材を極く簡單に研究して見やう。木材とは何か？其は加工し易い纖維質の材料、而して樹木から任意の長さ、或る巾と厚さ（今では規格化されて居る）のものとして得られる一材料である、樹木は世界中到る所に夥しい種類を以て成長し居るが故に殆ど如何なる色合或は地肌のものをも得ることが出來る。各種の木材が各々異つた特質を持つて居り、其等が各時代に使用せられて知られ來つた。人は殆ど全ての目的に木材を使用した。その用ひる殆ど全ての物の一部或は全部を色々な形に木材で作つた。

木材は、その美の大なる特質たる杢目を露はす爲に、磨いたり、塗つたり、或は染めたりすることが出來る。又種々の方法で此の美しさを表面に出す爲に鋸にかけたり、切斷したりすることが出來るだが嘗ては、手で挽いたり切斷したり、滑らかにするのに、甚だ勞力を要した。然るに今日機械は此等のことを、より上手にやり終せる。機械は木材を廣い表面に、あたかも壁紙の如くに使用し得る程安價に薄く且つ廣く合せ板にすることが出來るのである。又機械は丸太のねぢくれた表面から、今まで知られなかつた木理を有つた面を巻きもどして、任意の巾の合せ板を切り取ることが出來る、實際木材の此の性質は解放されて美しい薄板に利用せられたのである。その面の美しさたるや、もはや木材を繰り、繼ぎ合せ、或は苦心して羽目板にするのが馬鹿らしい程である。木材は今や、全てが短片であつたためにばら〳〵と成り勝ちな彼の骨の折れる指物細工に於けるよりも、一層安價に、廣い、簡單な、彫塑的な方法で使用することが出來る。其他述ぶればまだ澤山あるが、茲では機械挽の木材を用ふる設計の新しい可能性を示すことだけで十分である。廣い平な面の間にある纖細な象嵌の裝飾的な繪模樣や小割板等も亦共の特徴である。そして此等はもはや『構造的』な處理でなくして『彫塑的』な處理である。茲に無限の可能性が存在する。木材で家具を作るのに、出來る限り纖細に爽やかな直線的効果を得ることは機械の特徴である。斯ゝる形の直線的極限は其內に表はれる木材の性質を頗る美しからしめるものである。

木材の彫刻は概ね木材の性質を損つて居た。或は木材を不具にし破壊せんとする傾きさへ有つたのである。

然るに、機械は木材の性質に一層忠實な彫塑的取扱ひを以て象嵌し裝飾をつけて木材が美しさを表はすことが出來る。然らば何故に手の自由に適する樣に特に作られた古代の型を忘れ樣としないのか木材の性質はあまりに細工されすぎた、そして如斯型の六割までは其の內に木材の性質が失はれた。然し建築家がこの新しき『彫塑的』な意味に於て木材をながめ、使用するならば木材の美は規格を超越して生きるであらう。

次に硝子を採つて見やう。硝子は以前はそれ自身爽快な物質であつたが、現在では主として完全な透明體であるに過ず、格別爽快な何物でもない。今日の磨硝子の透明さは世界に於ける新しいものである。私達は大きな磨かれた反對面を得ることも出來、開孔をして恰も何物も之を閉ぢざる如き儘に殘すことも出來る。その透明な面は、凡ての室內に於て恰も水が風景に於てつゞめつゝある役目をつとめて居る。私達は物質を失つたけれども、建築設計家にとつて無限に貴重な自由を見出したのである。即ち機械製板硝子、之である茲に新しい機會がある。今少しく想像して見やう。清朗なる硝子に目もあやなる纖細さと、變化ある細い直線で模樣の要素をとり入れる爲には、電氣燒付法がある。その昔、硝子自らの自然な性質として珍重せられた處のものに代るべく、今や心が入らなければならないのである。場面は變つた。けれどもなほ私達は硝子に一層豊かである。私達は塗師が繪具として使用する爲に、色硝子を作ることが出來る。だが此のことは現在では興味が少なくなつて居る。私達は機械に依つて、透明なる面、眞の反射、及障害なき眺望を有つことが出來たのである。

更に鋼鐵が在る。之は太陽の下に於ける新しきものである。しかも現代の最も意義ある材料でありそして既に樹立されて居る範式(オーダー)或は『擬古典』に最も大なる障害を與へた材料である。(つゞく)



飛行機より見たる建築と社會 (三)

4 社會の卷

下浦光衛

八 統一病患者

大空に機上の人となると、時間的にも空間的にも總てを超越して超人間の心意氣にはなるが、凡夫の悲しさに直きに何かに囚はれる自分は少しばかり建築に關係をして居た關係から、知らず知らずの內に餘りに建築の方にのみ視線が傾注せられて居たのに氣付いたので、直ちに上げ舵を取つて今度は社會に視線を轉じて見た。見るに現代の社會は如何にも騷然として落ち付きのないのに一驚せざるを得ぬものがある。第一に、肉體的不健康者の多い事、第二には思想的病弱者の多い事である。肉體的不健康者は物質科學の變態的發達に禍せられて相對的で自然を無視した生活の結果生じたものである如何に病理だ細菌だと醫學が發達しても之を治療する事は不可能である。只自然の生活に立歸る事に依つて始めて彼等は救はるべきものである。

思想的病弱者 は肉體的病弱の四百四病に比べると其種類は著しく少ないが、今之を大別すると、怠業症、依賴心症、形式症、雷同症不勞所得症、統一症、の六大症であります、之等の症狀は、何れも科學萬能、物質遍重、利己本位、から發病して、現今に於ては慢性の病狀を來たして居る、之が治療の方法としては、奉仕的精神の復活か若しくば、物慾を離れた絕對自己愛に立歸るかにある。人世は極言すれば、只取る乎、與ふる乎の二者に歸する、與ふるを主とす

るや取るを主とするやに存す。人間は食ふ爲めに働くや、働く爲めに食ふやの何れを取るべきやにある、動物の本能は食ふ爲めには、手段を選ばず、親子の間に於ても直ちに爭ひを始めるが萬物の靈長たりと稱する、人間が、動物と同樣に食ふ爲めに手段を選ばずとするのは、餘りに情けない事ではないか。此所に於て、與ふるにあらず求むるにあらず啄同時でなくてはならぬ。與ふるを主とする奉仕的精神生活の必要を力說するものである、此六大症狀の內にも最も滑稽なものは

統一症 である、曰くメートル法宣傳、曰く漢字全廢片假名論者、曰くローマ字、曰くエスペラント曰く封筒統一、曰く建物低さの制限、曰く何何、然も之等統一症の通弊として、能率增進、生活簡易化を、目的とするもの、如くである。が然し餘りに何れも極端論者のみであるのに驚く。能率の增進を根本的に望むなれば、文明の利器を一切使はざるにしくものはない。然し全々使はねば折角自然が人間に與へた總てが無駄になる。何事も中庸を持する事が大切である。近來日本人の中には、雷同性を帶びた、統一症が非常に多いのに驚く、世界の一偶で、平和論を稱へるとすぐ、軍縮や民本主義を振り廻す、世界の大勢に順應する事は勿論異論のなき所であるが、然し日本人本來の個性を拋つて他國人の眞似をするのは順應とは云へない、如何なる風向をもよく之を利用して行かんと欲する所に達してこそ即ち順應と云ふ。

メートル法宣傳 の如きも大いに考へねばならぬ大問題でなかろうか、米突法の統一は理論的には一寸よい樣に思はれるが、英米の如き決して自國の度量を捨ててまで他國の米突を採用するものでない然らば世界の中から只日本從來の尺度を亡くすると云ふ外に得る所なしと、斷言するには尠からない米突法を根據とせる理學を修めた者、或は獨佛と商取引に關係深い者等の宣傳に依つて、日本尺度の葬られんとするは悲しむべき一大事である。國語と國民性とは重大なる關係を有するものである。假令度量衡だけとは云へリットルだグラムだと云ふ他國語を國民に强ゆると云ふ事は小事の如くして重大問題ではあるまいか。此米突法は國民の聲でなくして一部俗官の宣傳に外ならないものである。現在國民の使用せる日本の度量衡と米突度量衡と何れが多きやを比較すれば實に九牛の一毛にも及ばずである、或る一中工場の設備を米突法に改造するためには、三十萬圓以上の巨費を要するとの事である。世界共通に只一つの日月すら東經百八十度に於て一日の差が出るものを、單に寸尺であるからと云つても世界的統一は不可能である、若し異つた事が面倒なりとするなれば言葉も世界共通に人種も一色に統一すればよいが、所變れば品變る、自然の力である事に氣付かねばならぬ。

漢字全廢 片假名左書きと云ふ運動も可成熟心に一部に於て宣傳せられて居る。假名文字にして文字を覺える時間を、金儲けやむづかしい學問に振り向けて大いに能率を增進しやうとする理想は結構であるが、然し、靜かに考へて貰い度い、文化未だ開けなかつた時代は暗記傳承で文字の必要はなかつたのであるが、人文日に進み世事漸やく複雜を極め其所に文字の必要を生じ、更に進んで莊嚴の美を加味するため漢字を採用し然も訓讀を用ひた事は如何に吾人の祖先が賢明であつたかに感謝をせねばならぬ。漢字が日本帝國の精神文明の向上に寄與する所極めて大きかつたのは爭へない事實である。然るに理性萬能の結果とはいひ、此見易き道理を無視して、文明に逆行するが如き漢字全廢運動をなすが如きは言語同斷の不心得である。要之暇と金のある者が考へた愚案である。人間として生存する以上漢字位ひは使つてもよいではないか、夫れ程いやならば人間業を廢業するに而かずである。殊に面白い事は否なりとする理由からして、稚氣滿々たるものがある。即ち

曝名の左書き は左側進行の汽車には左から讀み易いと云ふ、何故米國式汽車の右側通行を採用せぬか、勿論少しばかり英語の單語を筆記する必要ある、學究の徒には必要かも知れないが、英語交りの筆記の必要ない多數の國民に左書きを强る事は不都合である。和漢の文字は右から左へ、上から下にと書くのであるから、橫書に澤山

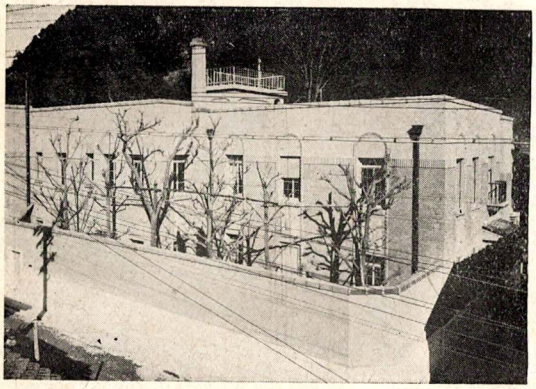
の文字を毎日筆記する商賣の人は勿論左書にするのが當然である。何故ならば右よりすれば一と云ふ文字の長さだけ逆戻りせねばならぬ、此點は左よりすれば進行する事になる、然し左右共に一字毎に下から上へ逆戻りする。此點に於て本來の右端より上から下に書く事は最も合理的に出來て居る、然るに自分が左書の必要があるが故に宣傳するを、利己主義と云ふ、看板とか額、並に驛名の如き立札は一度書けば永く使用せられる者である、傳統的習慣を破る必要は更にない。更に曰く漢字はむつかしいから制限し、制限から全廢へと愚にも付かぬ字例を掲げて尤もらしく云ふ、成る程漢字はむつかしい、然し小學卒業生に難解の文字も、中學卒業には易々たるべし假令假名文字であつても習はねば讀めても意を得ない、文字は物理や數學を研究する道具のみではない、獨立した一つの學問である以上、初等數學から高等數學へと進む如く、イロハから漢字へ易より難へ進むのが當然の事である。漢字を習ふのは面倒だと云ふので、假名文字に替へ度いと云ふ事は、高等數學や物理哲學は難かしいからやめよと云ふのと選ぶ所はない面倒いか、知らなければ假名文字を自分で使へばよい。五十嵐を讀み悪いからイガラシとせよは無理な注文である。十三と書いてジュウソ、が知らねば、ゴジュウアラシ又はジュウサンと讀めばよい、無學者には假名字すらも必要のないものである。

地名は物を云はぬからよいが、孝治と云ふ人に面倒だから假名でタカハルとせよなど云はふ物なら大きに御世話様だと云はれるに決まつて居る。無趣味な事は云はぬが花だ、能率だ統一だと賢こそうに云ふ人に限つて、二號を蓄へたりゴルフだ、倶樂部だと、遊び抜いた上句が時間接迫自働車と來るに相場が決つた人である。

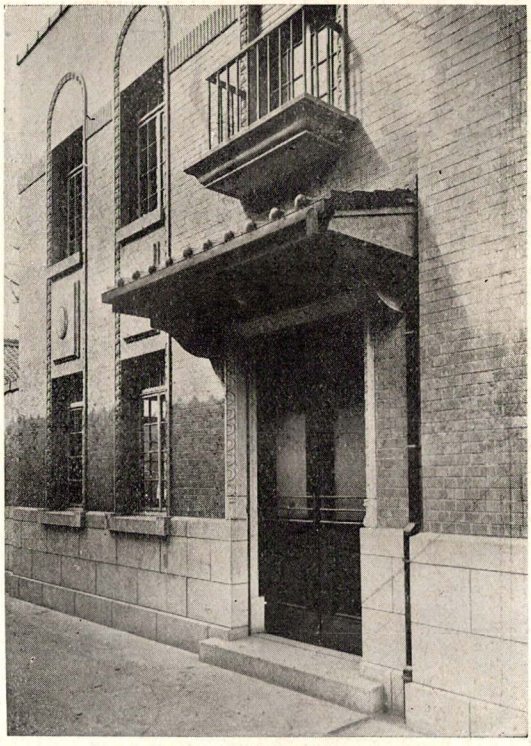
ローマ字、エスペラント、宣傳の如きは可否を論ずるの價値なきものである、統一病者は、總ての物を統一して滿足し得るものと推斷して居る樣であるが、人種の統一が出來ない以上風俗習慣趣味の異なるは但し自然の現像であるまいか、此意味からして、書翰用封筒の統一などを寄り〳〵考案して居る愚者共は、スタンプを機械で押す爲めに、國民に手紙を發送さすかの如く速斷して居る者の如しである。

建物低さの制限　と云ふのが近頃發案せられた樣である、高さの制限と對照したらしい、高さ耐震耐火の制限は、衛生、安全の方面から試けた事で、結構な事である。然し之とても、如何なる有利な狀態にも特別制限を設けざるは不合理である、然るに低さに制限を附すると云ふ事は笑止千萬であるまいか。曰く都市の美觀を損するの甚だしいと。板圍であろうと平家であろうと、所有者の自由である凡そ建築をなさんとする者は、夫々綿密なる收支豫算を立てて工事に着手するのを常とする　資力の關係又は商賣柄二階以上の必要ない場合に於ても、斯かる不都合なる制限によつて、四階乃至五階の不必要な建築を强ひられるか、或は出來ない事になる、小人閑居して不善をなす、及ばざるは過ぎたるに優るとかや、暇つぶしに事を缺いで、考へ違いしては困る。美觀や暇人の爲めの建築でなく、住む爲めに必要あつて建てる事を忘れて居る。假りに高さを揃へたとしても外裝する材料色彩は如何にするやだ。高さだけが建築の美ではない、夫れとも是非に制限を設くるならば、道巾に應じ百尺、六十尺、四十尺、三十尺の如く徹底的にしては如何、浪花の町の鶴町と云ふ所に軒並の揃つた上品な長家がある、之をしも都市の美觀と云ふや。

錦の織物も種々樣々な色糸の配合で始めて立派なものになる。都市の建築も人間も、善悪美醜長短高低あるので妙味のあるものである。紐育市の美觀を云々するのは千差萬別な建物あるために外ならない。如何に輸入が盛んになつたからとて、六大病の輸入超過は寒心に耐えぬ、曰んやレーニンの出張所、ムソリーニの代理店の激增に於てをや。低さの制限運動などは止めて、せめても番地整理でもする方が郵便配達上はるかに有意義ではあるまいか。（まだつゞく）



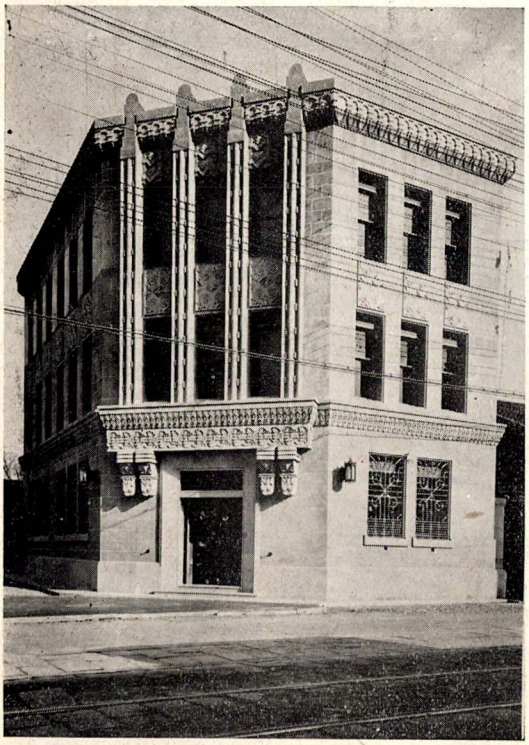
1



2

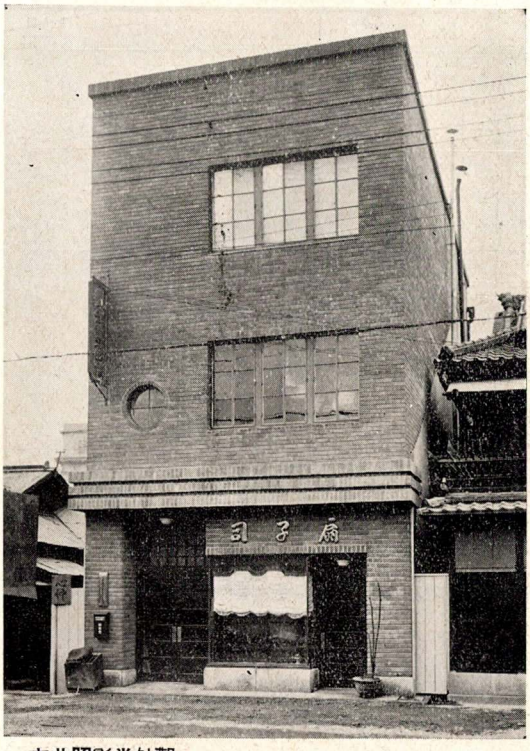
大阪府池田・北村邸
設計者　小笠原建築事務所
施工直營

鐵筋鐵骨混凝土住宅の一例
1 全景
2 玄關



三四銀行谷町支店外觀

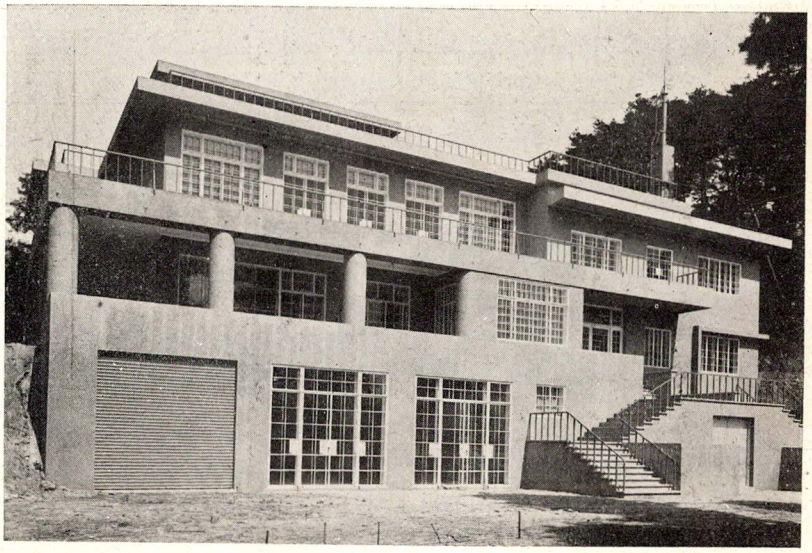
大阪・三四銀行谷町支店
設計監督　竹內建築事務所
施工者　大阪橋本組



吉井照影堂外觀

大阪・吉井照影堂
施工者　小西組

1

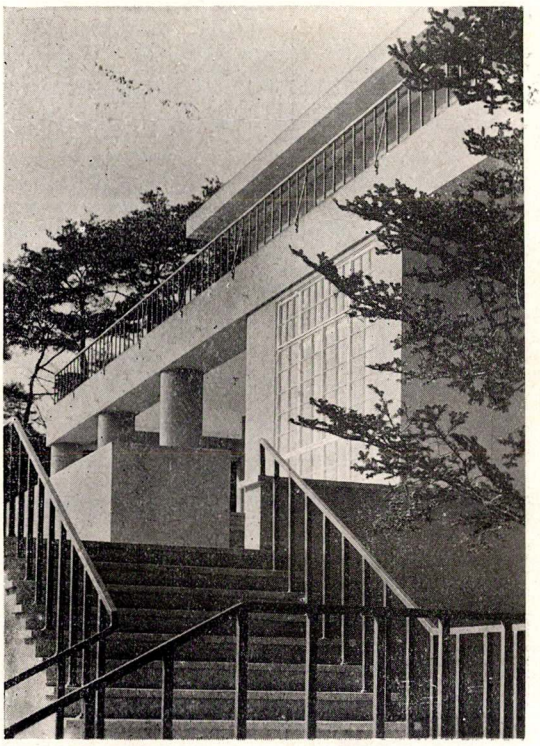


京都·北白川の或る住宅(1)

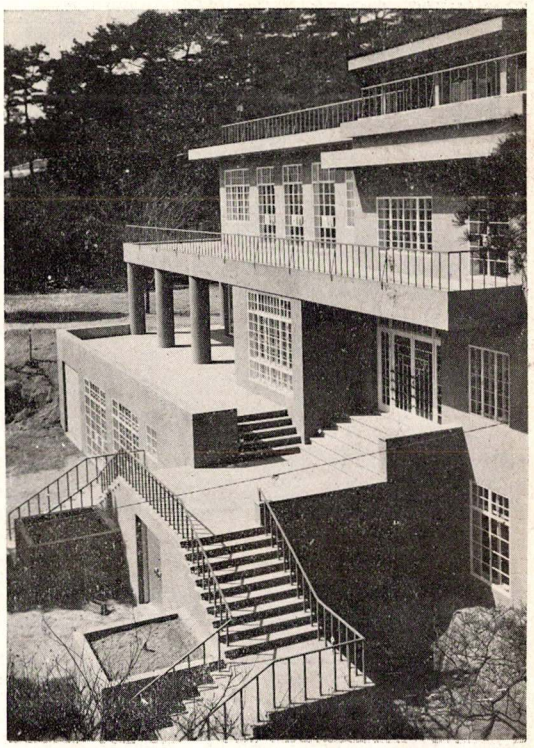
設計者　上野伊三郎氏
施工者　竹中工務店

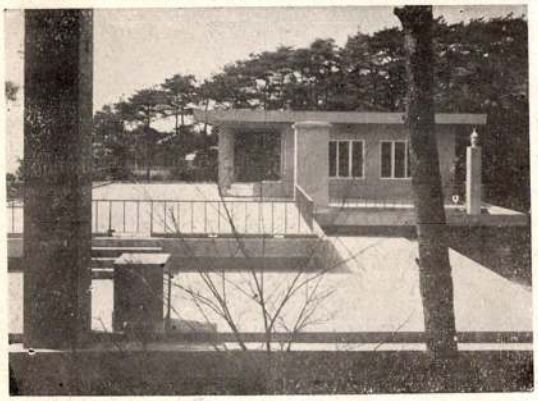
1 全　景
2 階段詳細
3 東方側面

2



3

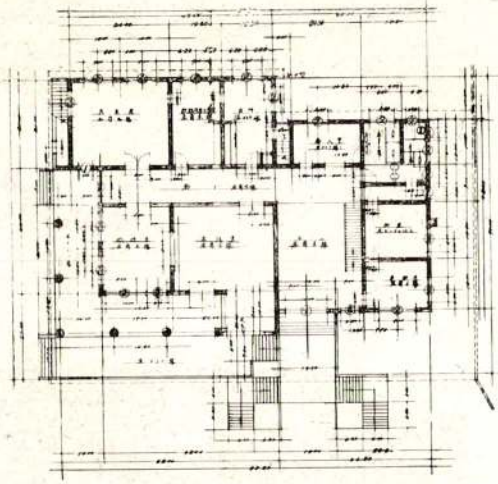




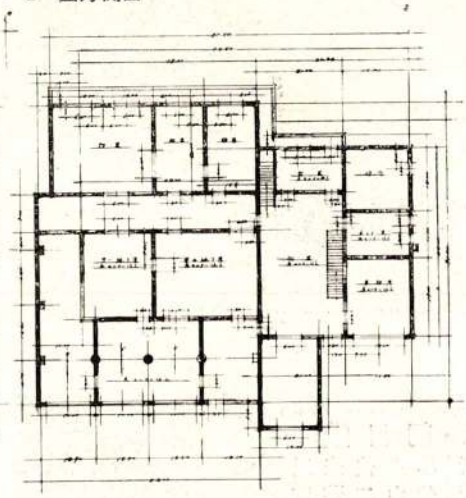
1　屋　上



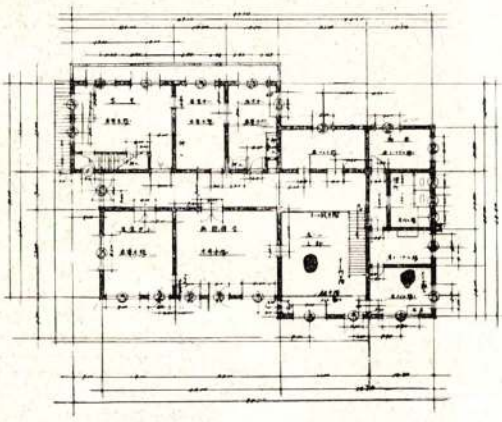
2　西方側面



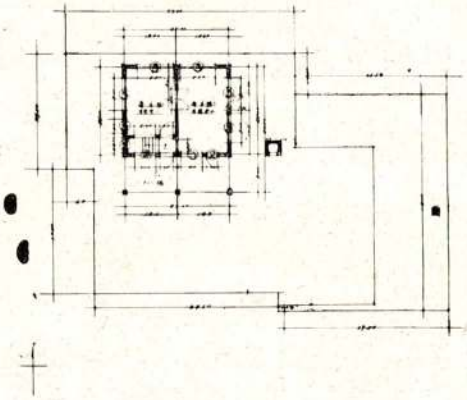
3　一階平面圖



4　地階平面圖



5　二階平面圖



6　三階平面圖

京都・北白川の或る住宅(2)
設計者　上野伊三郎氏
施工者　竹中工務店



1



2

大阪・朝日堂(1)

設計者　早良俊夫氏
施工者　竹中工務店

3



1　表階段詳細
2　外　觀
3　正面玄關



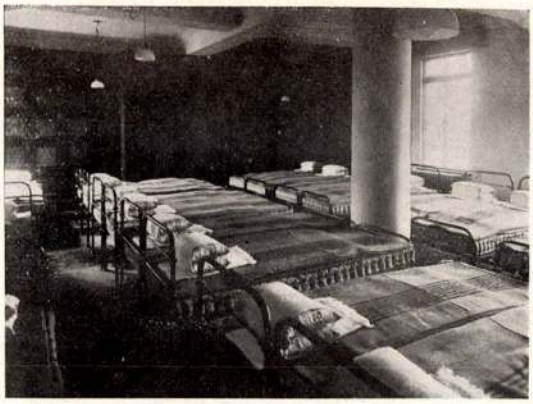
1



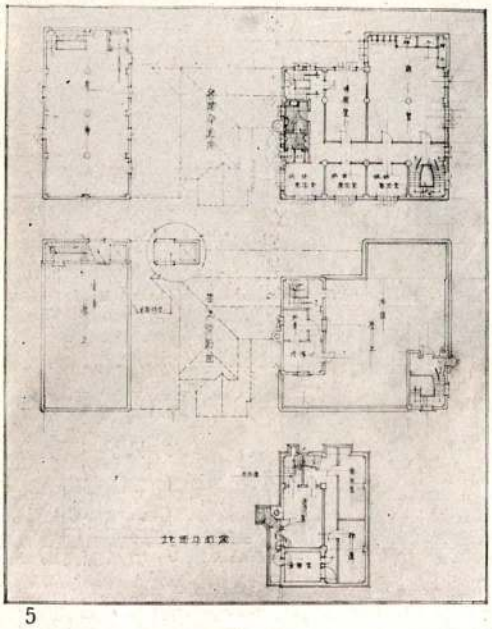
2



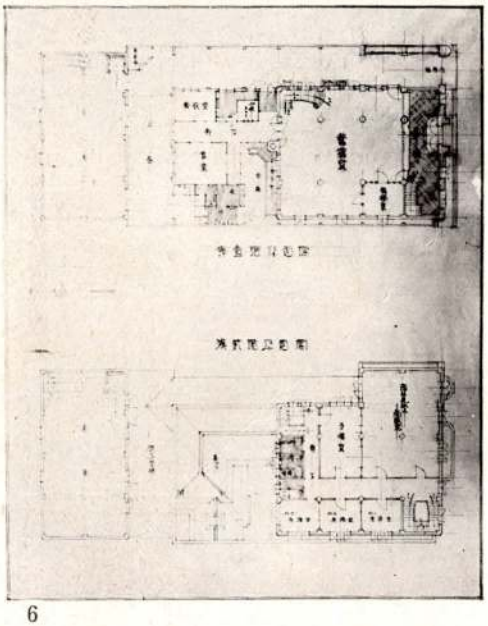
3



4



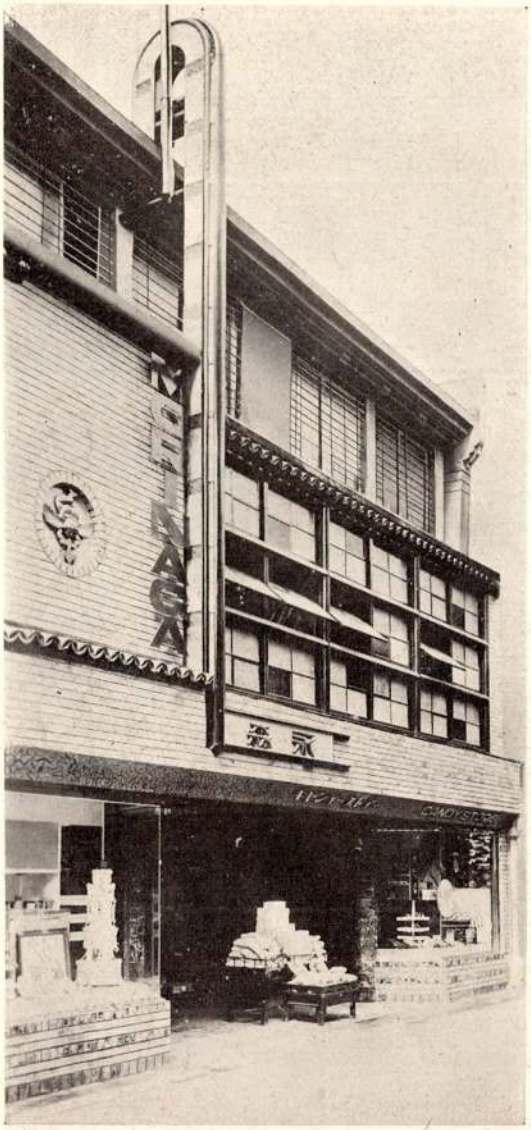
5



6

大阪・朝日堂（2）
設計者　早良俊夫氏
施工者　竹中工務店

1　一階營業室
2　屋上塔屋
3　二階商議室
4　三階寢室
5　三階屋階平面圖
6　一・二階平面圖



1



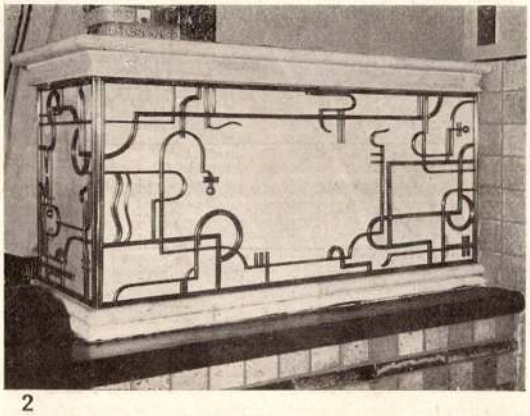
3



4



5

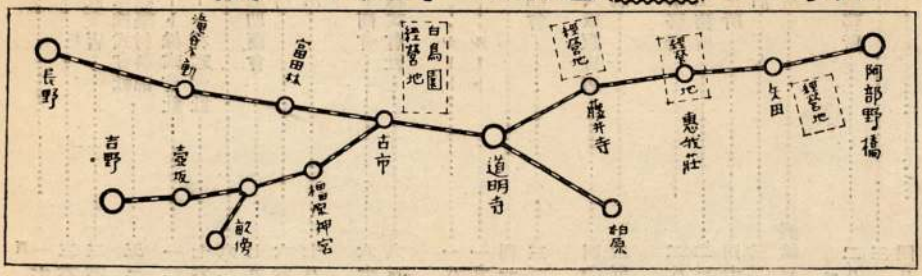


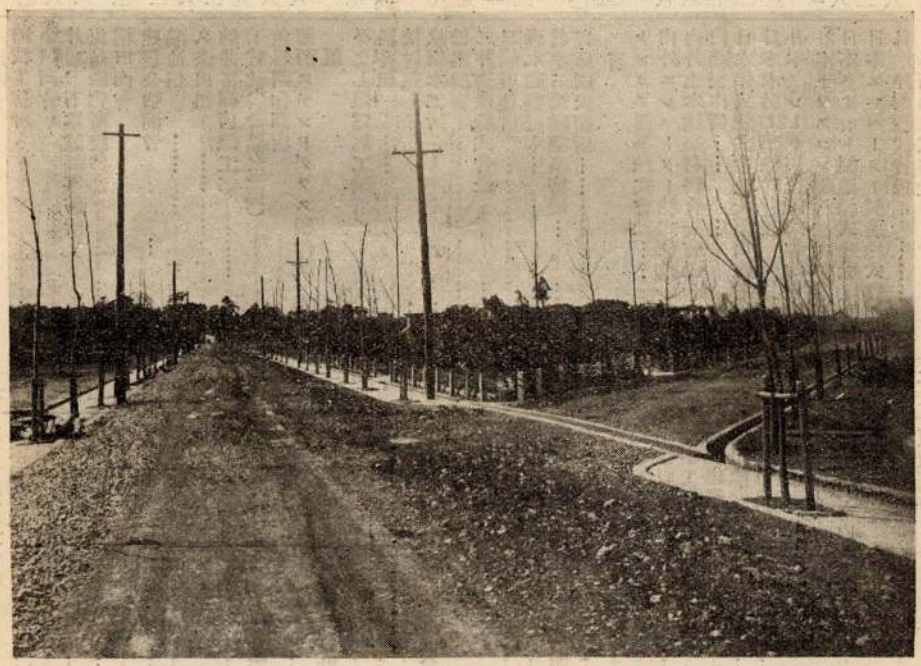
2

1　外　觀
2　**ステージ柱脚**
3　二階客室
4　一階客室
5　一階餘興塲

大阪心齋橋・
森永キヤンデーストア
設計監督　岡部建築事務所
施工者　大東建設工務店

アベノ橋—吉野（直通急行94分）





（白鳥園住宅經營地）

◎住宅經營地◎

▲白鳥園住宅地

八萬坪（坪自 十一圓 至 二十四圓）

上下水道、公園、大貸農園、大道路完備百坪內外ヨリ分讓既ニ建築濟ノ外御希望ニヨリ建築御委託ニ應ズ

特典
- 一、移轉家具ハ無賃運送ス
- 二、居住者ニハ乘車賃ハ特定割引ス
- 三、花卉野菜ノ耕作植付ノ保護ニハ無料ニテ農夫提供ス

▲矢田住宅地

一萬五千坪（坪自 三十二圓 至三十五圓）

大阪市域ニ接續耕地整理完成阿部野橋ヨリ約八分水質良好

▲惠我莊住宅地

二 萬 坪

既ニ百五十戶ノ住宅完成、田園都市ヲ形成ス上下水道、クラブ、兒童運動場完備、阿部野橋ヨリ十七分

▲藤井寺住宅地

十萬坪（坪自 二十圓 至 三十圓）

第二期賣出シ一萬坪東洋第一ノ藤井寺球場本邦唯一ノ大教材園アリ大道路、上下水道電燈設備アリ、名所史蹟ニ富ミ住宅地トシテ理想的ノ地ナリ

百坪內外ヨリ分讓、月賦住宅の設計建築ニモ適ス御希望ノ方ハ事業課へ申込マレタシ

大鐵電車事業課

白鳥園住宅會社出張所

番三三三・二三三・一三三寺王天電

建築と社會第十二輯第五號

廣告目次

頁

A
葵商會……一七
有山組……三六
安藤組大阪支店……三六
淺野物産株式會社大阪支店建築材料部……五三
淺野スレート株式會社……一二
淺野スレート株式會社……七六
淺海商店……六二
阿波田良之助商會……七九
阿部鐵工所……六六
秋山製作所……七八

D
デウエット商會……六七
大和工業株式會社……九三

E
エッチ・イー・ルート……一八
エッチ・イー・ルート……一九
榮進社……四一
衛生工業商會……三二

F
福原工場大阪販賣店……四〇
藤木工務店……三五

H
橋本建築事務所……二八
橋本庭園工務所……二三
波江野工生所……四七
白陽工務店……三二
汎建製作所……表紙三

I
池田建築事務所……二八
池田組……三二
伊丹商店……四八

K
クロースルーフキング製造所……五八
江東サツシ株式會社……六九
木下謹三商店……七六
熊坂谷熊次郎商店……一六
高陽商會……三五
國枝工務所……三〇
金剛商會……四三
片岡、石本建築事務所……二九
川島織物所裝飾部……八二
桐田商會……六四
建築金物商會……表紙四
鴻池組……三六
久保田組……三四
駒井喜商店鐵工部……三六
工材社(阪口芳三郎)……二四
龜谷開作商店……三四
關西ステンドグラス製作所……一四

M
みよし組電氣工業所……七四
松井組……九
松村組……三五
松原木工所……八七
松本商店……五一
三井物産株式會社……二
三熊製疊所……八四
森本建築社……三七
眞水三橋建築事務所……三〇
宮島康夫商店……八九

N
ナンコク商事株式會社……一一
內外エレベーター株式會社……四九
內外土木建築材料合資會社……八〇
內藤製作所……六二
日本洋瓦株式會社大阪出張所……四六
日本木材工藝株式會社……九一
日本スレート販賣株式會社大阪支店七九
日本トラスコン鋼材株式會社……九〇
日本ペイント製造株式會社……一五
日本エレベーター製造株式會社……八
日本伸銅株式會社……六
日本石油株式會社……二七
日本水道衛生工事株式會社……六三
日本建築紙工株式會社大阪出張所……四七
日本鋼製建具株式會社……八六
日本地下水協會……三
日本工劑株式會社……八八
日本建材社……八三

O
オキナ商店……五七
大阪ピトロライト工事合資會社……一六
大阪耐火リノリューム工業合資株式會社……五〇
大阪窯業セメント株式會社……二一
大阪鐵筋混凝土事務所……七二
大阪鐵道株式會社……二五
大阪橋本組……三三
大阪電氣商會大阪暖房商會……三三
大阪可能商會……八〇
大林組……三三
大谷金庫店……二〇
大倉商事株式會社……五
大倉土木株式會社大阪出張所……三二
大塚鐵工所金庫部……七
大野製作所……一
大平工業所……七七
小笠原建築事務所……二八
岡本工務店……三三
岡部建築事務所……二九
岡田建築材料店……五八
奥村重兵衛商店……六五

R
ラバロイド商會……一三
玲光社(木內眞太郎)……五六

S
SO商會……四四
須賀商會……四五
飾磨化學工業株式會社……八五
島津製作所貿易部……九四
島貿易株式會社建材部……三
佐渡島西店建材部……七三
佐村木勝吉商店……四八
佐久間建材工業所……三八
佐伯組……三七
三機工業株式會社……裏紙二
三五製作所……八九
笹岡家具裝飾店……四二
柴田建鐵工材所……八一
城口研究所大阪支店……六八
宗建築事務所……二九
設樂建築事務所……三〇
清水組大阪支店……三七
品川白煉瓦株式會社大阪タイル部……七九

T
東洋コンクリート合資會社……六〇
東洋工業株式會社コルク部……一〇〇
東洋鑛粉所……一〇
東亞鐵工所……五二
田中昌司商店……七八
高島屋呉服店……五九
田村商會……四
竹中工務店……三四

V
ベニス工房……五四

Y
山本東作商店……八四
山本窯業商店……五四
山中商會……六一
山田大理石製作所……三五
矢橋大理石商店……四二
安井建築事務所……三〇
米山製作所……三九
米本商店……五六
横河工務所……二九

Z
ゼ・スタンレーウオークス……一四
錢高組……三七

日本建築協會會報

會合

○第三部（資料）委員會
各分科會

△日時　三月四日午後五時半―八時
△會場　大同ビル、ライオン食堂
□第二分科會
△出席者　主査　中村
委員　淺原、三宅、高松
△研究事項
一、テラコッタに付研究材料持寄り協議
一、佛蘭西式洋瓦の沿革に關し研究
□第三分科會
△出席者　主査　須川
委員　吉川、永田、三宅
△研究事項　市場木材に付規格調査
□第四分科會
△出席者　主査　下浦
委員　大島、辰巳、田阪、三木
△研究事項
一、固煉ペイント、溶解ペイント、ボイルド油、乾燥材其他の規格調査表作成
□第五分科會
△出席者　主査　森本
委員　藤村
△研究事項
一、硝子寸法に對する種類增減調査
一、特種硝子製造に對する研究
一、『スチイルサッシュ』及『ドアー』に對する寸法及構造を各分類調査研究
□第六分科會
△出席者　主査　阪井
委員　伴、城口
△研究事項
一、手洗器の規格に付協議の結果『サイズ』に付大中小の三種とし各穴其他寸法に付研究

○第一部（法制）委員會
第四分科會

△日時　三月五日午後五時半―八時半
△會場　大同ビル、ライオン食堂
△出席者　主査　高田
委員　伊藤、久保田
△記事
一、勞働者災害扶助法案に對する意見大綱を作製し委員長に報告することに決定

○第四部（災害）委員會

△日時　三月七日午後五時半―九時
△會場　住友倶樂部
△出席者　委員長　光安
幹事　池田　主査　林
委員　渡部、谷田、中島、落藤、岡本
增田、古川、鹽路、篠原
△記事
一、研究事項を分ち二分科により研究することに決し左の通分擔を定む
□第一分科
委員　林豪藏氏、岡本弘氏、落藤藤吉氏
川口一二氏、谷田實氏、增田清氏、
古川豊氏、青柳貞世氏、光安梶之助氏
△研究事項
(2)落藤委員
建築構造强度計算の標準を建築學會にて以前に發表せられ居り當協會に於ても標準を定め發表しては如何
(3)光安委員長
(ロ)建築法規に示されたる事務所及住宅の床活荷重を遞減することを當局に提案するの件
差當り事務所建は毎平方尺五十封度住宅は四十封度とすること
右は各種文獻及實地調査により其の合理なるを發表すること
(ハ)瓦斯又は電氣熔接に依る鐵骨架構並に鐵筋の接合に關して調査すること
(ニ)耐震計算に用ゆる床の活荷重を事務所、病院、住宅等を毎平方尺十封度迄に減すること
(ホ)東京府には高さ二十尺以下の建物に對する風壓は十封度なり大阪府にても採用せられさるものなりや
□第二分科
委員　池田宮彦氏、大野直平氏、渡部圭吾氏、黒田茂氏、八木幸次郎氏、山本久吉氏、中島智喜氏、鹽路憇吉氏、篠原太郎氏
△研究事項
(3)光安委員長
(イ)鐵筋コンクリート構造に用ゆる砂及砂利に含む鹽分の檢出方法並其含有許容量の研究
(4)黒田委員
セメントの製造方法は近來長足の進歩を成しつゝあり從つて其の强度は建築物法規の制定せられたる當時よりも餘程增進し居る筈なり故にコンクリートの應力を四五キロ以上に增加し同時に現場施行方法の良否に依りて强度に非常なる差異あるを以て最も良き施行方法の指針を規定することを提案するの件
(5)鹽路委員
鐵筋コンクリート構造は其施行方法の良否に依りて其の强度に非常なる差を生ず而して現今一般に行はれ居る方法に於て滿足し難きものあり故に其の改善方法を研究し一般の指針としたし

○第一部（法制）委員會總會

△日時　昭和四年三月九日午後五時半―九時二十分
△會場　住友倶樂部談話室
△出席者　委員長　池田實
第一分科主査　小川安一郎　委員北垣熊之介
第二分科委員　前內文二郎
第三分科主査　今林彦太郎　委員和田貞治郎
第四分科主査　高田利一郎　委員伊藤幸太郎、田中美一、久保田肇雄
△記事
一、池田委員長より勞働者災害扶助法案

に對する意見大綱か第四分科會に於て作成され報告ありしを以て、本夕之れが審議をなす爲總委員會を開きたる旨を述べ開會

△然し第四分科會に於て作成のものは今日の政府修正案以前の案に對する意見に付一面田中委員に依囑して情書陳案を作成しあり各位の御意見により何れかを採用し審議したし

一、是に於て第四分科主査高田利一郎氏より同分科の意見大綱作成の經過に付報告あり

但し右は本法案の修正案の提出されし前に作成したるものに付之れを諒せられ度案とされたしとの希望を述ぶ

一、右の次第に付田中委員作成の陳情書案に付審議することに決し田中委員より本法案が衆議院に提案されて將に可決せられんとある狀報に付報告あり

一、次で各委員の質問に入り夫れより愈々審議に入る先づ陳情本文より理由迄一項毎に朗讀をして朗讀せしめ詳密審議をなす

△

一、陳情書案可決したるを以て常務會へは事急を要するを以て委員長より事後承認を得ることゝし早急發送準備に取りかゝることに決す

一、次で發送先に付協議し別紙の通決定

○第二部(教化)委員會

△日時　三月九日午後五時半—八時半

△會場　大同ビル、ライオン食堂

△出席者　委員長　武田

幹事　小笠原

委員　岡本、竹田、山本、藤枝、小西、姫野、大倉

△記事

一、前回に引續き第五回講習會開催の具體案を左の通決定す

時期　五月一日より五月七日迄（日曜日一日を除き六日間）午後六時半より八時半迄二時間宛

場所　市内小學校講堂又は都島工業學校講堂

科目

一、鐵筋コンクリート構造法、基礎の設計

二、積算法概論

三、木造建築の最近手法

四、家具の沿革

聽講料　一般の人　金參圓

會員　金貳圓

學生　金壹圓五拾錢

見學　前回に決定したる事業中の見學第一回を來る三月廿四日決行する事

場所　東洋リノリューム伊丹工場か旭硝子株式會社工場か或ひは又大林組工作所

○常務會

△日時　三月十一日午後五時半—八時

△會場　本協會々議室

△出席者　理事　片岡、宗　監事　池田、波江、吉井、坪井、池田谷、本間、松本

△報告

一、二月分會計報告

二、大津市に於ける生活改善展覽會出品經過報告

三、各部委員會及分科の委員囑託の件

四、第一部委員長より勞働者災害扶助法案に關する陳情書提出決行に付其經過報告ありて事後承認を求められ承認

△議事

一、三月例會の件

一、第一部委員會報告建議案の件

一、第二部委員會報告第五回講習會開催及見學の件

一、神戸市居留地古建築調査に關する件

一、會員詮衡

○第一部第一分科會

△日時　昭和四年三月十一日午後六時—九時

△會場　住友倶樂部

△出席者　委員長　池田實

幹事　今林彦太郎、小川安一郎

委員　林豪藏、北垣熊之介

△協議事項　左記提案を分科會に付すべきこと

一、都市計畫事業の遂行に當り現在我國の狀態にては主として土木方面の技術者が其中心となれるは誠に遺憾に不堪此際建築技術者を同事業の關係者として尤も重用せらるゝ樣、各當局に建議致したきに就き、右建議文案を各自次回分科會迄に作成の上持寄ること

尙昨年六月協議の結果研究を始むることに決定せる左の四項に就き建議理由書も次回分科委員會迄に作成の上、合せて持寄ること

一、建築物の高さの最低限度に關する道路の指定を促進すること

一、第二次防火地區の指定を促進すること

一、工業地域内特別地區の指定を促進すること

一、大阪市内區劃整理地域内に百分の三の公園を設置することを制定すべきこと

尙當日は常務會開催せられいたるに付、池田委員長及幹事二名共、勞働者災害扶助法案陳情書を常務會へ陳情の爲出席す

○第一部第二分科會

△日時　昭和四年三月十二日午後五時半—九時

△會場　大同生命ビル、ライオン食堂

△出席者　委員長　池田實

主査　高木眞太郎

委員　竹中景一、井原國三、前内文二郎

△協議事項

一、池田委員長より大體の意見を開き、本第二分科會に於ては今後何れの法規を調査研究するかに付協議をなしたる結果、本日は缺席の委員半數あるを以て第二分科會に於て今後調査研究すべ

き總ての法規を各委員に書面を以て通知し、各自の意見を徴して其準備を次回に決定すること

一、第四部委員會より合議に係る市街地建築物法規則中一部改正案に付ては、提案者の說明を聞かざれば審査し難き點あるを以て之を第一部總會に於て提案者の說明を求めたる上意見を決定すること

○第一部(法制)第三分科會

△日時　三月十三日午後五時半—九時
△會場　大同ビル、ライオン食堂
△出席者　委員長　池田　主査　今林　委員　小川陽、和田、村上
△記事

一、今林主査より當分科の昨年度の調査研究したる經過に付記錄により報告

一、次で委員長より建築士法案を調査研究するに當り先づ第一に本案を設定する必要ありや否に付て審議決定する要ありと思ふとの注意ありて之れが討議をなしたる結果本案は設定する必要ありと認むることに決定

一、是に於て本法案は今期議會に上程さるゝ狀報あるを以て之れが促進の爲陳情書を當路及貴衆兩院議員に提出する方法を講ずることに決し日本建築士會最近作成の案に付逐條的に研究をなし玆に成案を得たり

一、右成案を當部總會に附議し其結果により會長に報告することに決定せり

○第一部(法制)委員會
各分科總會

△日時　三月十四日午後五時半—九時二十分
△會場　大同ビル、ライオン食堂
△出席者　委員長　池田　第一分科　小川　第二分科　前內　第三分科　村野、小川陽、和田、村上　古塚　第四分科　高田、田中、島田
△記事

一、第三分科より報告の建築士法成案に付朗讀し成案の經過及趣旨に付說明あり

一、次て逐條的に審議に入り修正ありて本案決定

一、而して委員長より本法案の制定せらるゝことは各自其立場を離れて我國建築界の向上發展を期する爲に廣く公平なる立場より見て贊否を決するか妥當と思ふ旨を述べ一同該案の制定に贊成し右成案に陳情書及理由書(草案今林幹事に依囑)を添付して會長に報告することに可決せり

○緊急常務會

△日時　三月十六日午後五時—八時半
△會場　本協會會議室
△出席者　理事　片岡、宗、日高　監事　池田　常務　德政、波江、吉井、坪井、岡部　池田谷、本間、松本
△議事

一、建築士法案陳情書に關する件　第一部委員會より報告の建築士法案に關する陳情書提出の件は直に評議員會に附議することゝなり來る三月十九日評議員會開會のことに決定

○第三部(資料)各分科會

△日時　三月十八日午後五時半—八時半
△會場　大同ビル、ライオン食堂

□第二分科

△出席者　主査　中村　委員　河合、白石
△研究事項

一、スレートに就て

□第四分科

△出席者　主査　下浦　委員　三木、大島、扁澤
△研究事項

一、木材ワニス塗布手間並材料價格表作製

二、舶來品フラスター塗料仕樣表並價格表に付て

□第五分科

△出席者　主査　森本　委員　藤村、糸永
△研究事項

一、前面に引續き左の種類に依り『スチールサッシュ』及『ドアー』に付て過去一ケ年及現在に於ける平均統計を取ることゝなる

工場、會社、商店、諸學校、住宅

□第六分科

△出席者　主査　阪井　委員　伴、城口、須賀、井上
△研究事項

一、手洗器の大さを決定す

入會者

會員

加納　眞一君　東京府入新井町新井宿六七六

特別贊助員

清水　榮作君　神戸市榮町通四丁目四〇　普通贊助員

河原眞一郎君　松山市本町六丁目
三島　雅彦君　松山市河原町六十二番戸
佐々木俊一郎君　松山市永木町四十五番地
高木市太郎君　松山市藤原
三木　幸吉君　東京府下東久久保五一岩倉方
佐々木助三郎君　東京府下目黒町駒場七八〇小暮方

退會者

會員　布谷　辰雄君
同　廣岡峰太郎君
同　田川清一郎君

特別賛助員　平尾　善保君
普通賛助員　細田　善三君
同　貴志　重雄君

轉勤轉居

會員

池田　實君　大阪市南區難波驛前鴻池ビル二階
川村種三郎君　大阪市住吉區北田邊町六七五ノ二
田邊　平學君　東京工業大學建築學教室
東京市外馬込町字石原三三一二（目黒蒲田電鐵池月驛下車）
中川　彌八君　東京市外巢鴨町池袋八〇一川島美保方
竹田　延朗君　大阪府三島郡吹田町（金田道）三三〇六番地

會員（地方在住）

保田虎太郎君　撫順西五條町二七番地保田工務所
矢部　芳夫君　東京府下馬込町谷中一一三二
中村　庸二君　東京市目本橋區鰤殼町一ノ一中村庸二建築事務所
木田　延衛君　東京市外井荻町下荻窪一八三番地
岩淵　文治君　廣島市驛前礦村幸江方
戸塚　端君　東京市外馬込町平張一一〇五（省線大森驛下車）
西田儀太郎君　東京市麹町區丸ノ内二丁目六八重洲ビルデイング四階大阪橋本組東京支店内
岩崎甚太郎君　甲子園ホテル新築工事場大林組上甲子園出張所
青柳和貴男君　兵庫縣武庫郡今津町字今津百開六四四
藤田重太郎君　横濱市保土ケ谷區保土ケ谷町二一
須恵　德朗君　特別賛助員　大阪市西區京町堀上通三丁目七番地ノ一
普通賛助員　東京市下谷區北稻荷町四六番地東京乘合自働車株式會社建築係東京市淺草區江戸町二丁目一二番地
石津三次郎君　電淺草二五六〇番
高橋鎌治郎君　東京市淺草區藏前片町二〇番地電淺草一九八四番
佐藤　佐七君　津市鷹匠町塔世一一八八番地
森本　勝藏君　京都市上京區北白川追分町六七服部方
原　賀一君　大阪府南河内郡柏原町柏原驛前吉内辰治郎方
荻野　大阪市天王寺區國分町一二二番地
島　熊平君　大阪府中河内郡藤井寺町字岡大鐵住宅經營地内
村本文四郎君　金澤市鞳所町七番丁二番地
伊丹秀也君　大阪市西淀川區高見町三丁目一二一

逝去

名譽賛助員　池上四郎氏
昭和四年四月四日
名譽賛助員　伯爵　後藤新平氏
同　十三日
普通賛助員　伊藤肆郎氏
同　十八日
右賛助員諸氏は下記の日に逝去せらるる旨に痛悼に堪へず茲に謹んで哀悼の意を表す

寄贈雜誌

電氣評論　毎號　其　社
都人　毎號　其　社
學士會月報　毎號　學士會
建築世界　毎號　其　社
朝鮮と建築　毎號　朝鮮建築會
セメント界彙報　毎號　日本ポートランドセメント同業會
住宅　毎號　住宅改良會
建築雜誌　毎號　建築學會
工政　毎號　其　會
經濟資料　毎號　東亞經濟調査局
土木建築　毎號　其　社
建築新潮　毎號　洪洋社
大阪工業倶樂部　毎號　其　部
通俗衛生　毎號　大阪府衛生會
帝國鐵道協會報　毎號　其　會
工業評論　毎號　其　社
電氣學會雜誌　毎號　其　會
鐵道軌道經營資料　毎號　鐵道同志會
趣味ノ園藝　毎號　關西園藝會
土木建築之日本　毎號　其　社
工業ト社會　毎號　東京工業會
工業　毎號　大阪工業會
滿州建築協會雜誌　毎號　其　協會
庭園と風景　毎號　日本庭園協會
圖書室月報　毎號　東京市政調査會
大阪工業倶樂部　毎號　其　部
エンヂニヤリング　毎號　其　社
工業要錄　毎號　其　發行所
名古屋工業會々報　毎號　其　會
大大阪　毎號　大阪都市協會
都市問題　毎號　東京市政調査會
新建築　毎號　其　社
京都の實業　毎號　京都商工會議所
都市創作　毎號　其　會
木材彙報　毎號　大阪木材協會
建築學研究　毎號　其　會
大阪土木建築業組合報　毎號　其　組合
木材新聞　毎號　關西木材商報社
工業新聞　毎號　其　社
日本建材新聞　毎號　其　社
日本建築士　毎號　其　會
東洋建材時報　毎號　其　社
朝鮮鐵道協會會誌　毎號　其　協會
住　毎號　其　研究社
超科學　毎號　大阪網島工業會
建築業協會々報　毎號　其　協會
建築畫報　毎號　其　社
土木建築工事畫報　毎號　其　社

工業之大日本　毎號　其　社
動力之節約　毎號　工　場　能　率　增　進　研　究　會
土木學會雜誌　土　木　學　會

役員

會長　理事　評議員　片岡安
副會長　理事　評議員　宗兵藏
副會長　理事　評議員　日高胖
監事　評議員　池田實
監事　評議員　横濱勉
主記　常務　評議員　德政金吾
同　常務　評議員　坪井誠一
同　常務　評議員　波江悌夫
主計　常務　評議員　岡部顯則
同　常務　評議員　吉井長七
同　常務　評議員　山脇友三郎
編輯　常務　評議員　池田谷久吉
同　常務　評議員　本間乙彥
同　常務　評議員　松本儀八
同　常務　評議員　酒井勇三郎
評議員　伊藤幸太郎
評議員　小川陽吉
評議員　大野直平
評議員　大澤幸平
評議員　渡部圭吾
評議員　和田貞治郎
評議員　高田利一郎
評議員　竹內綠
評議員　竹田延朗
評議員　中村義雄
評議員　中島智喜
評議員　村上徹一
評議員　久保田肇雄
評議員　熊澤榮太郎
評議員　山脇友三郎
評議員　八木幸次郎
評議員　前內文二郎
評議員　增山新平
評議員　牧野利秋
評議員　小西一良
評議員　阪井米吉
評議員　芝田知重
評議員　下浦光衛
評議員　姬野武
評議員　樋口辰太郎
評議員　森本藤吉

新刊紹介

△日本の住宅

（工學博士　藤井厚二著）

近來の住宅か歐風の輸入に急で所謂文化住宅なる安價で體裁のみのものが流行するので眞の日本式住宅に就て研究することが却つて必要となつて來た、其の點に於て此の著者は一見識を有し在來の日本式住宅の特長が最もよく日本の風土に適當するものといふ一の信念を置き、その上各地の風土に從ひ氣候に應じ改良すべき點、工夫を要する處を明快に述べこれに自家の設計にかゝる數多のプラン寫眞等を挿入して說明を助けた、これから家を建築する人には確に參考になる。それは著者が五回までも自分の家を建て、の經驗を率直に物語つてこれに應用せしめてゐるからで單なる讀物としても有趣味なるものとして推賞したい。（圖版六十圖、定價五圓五十錢、四六倍判上製、送料書留廿七錢）

△建築士及其職責

（工學博士　長野宇平治譯）

內　容

一、建築士の義務
一、設計及豫算
一、請負契約
一、請負人の撰定
一、工事の指導
一、會計
一、建築簿記
一、建築士の附帶業務
一、鑑定及仲裁
一、謝儀
一、責任
附錄建築語彙

定價二圓（發行所建築世界社、東京市京橋區桶町二一）

△住居の衛生

（醫學博士　藤原九十郎著）

內　容

一、健康保持と住宅
一、健康に良い住居
一、敷地の撰定
一、住宅の配置
一、健家材料と室內用具の撰び方
一、居住の樣式と寢室、小供室の設備
一、台所の設備と衛生
一、便所の衛生と改良法
一、浴室及風呂
一、室內の消毒と清潔法
一、室內害虫の驅除法
一、夏、冬の住宅衛生
一、採光と照明

定價壹圓八拾錢（發行所家事衛生研究會、大阪市北區北扇町三八、大阪市立衛生試驗所內）

△借家經營の顧問

（舟橋俊一述）

內　容

一、投資の程度、土地の撰定
一、家主と借家の性質
一、諸官署の手續
一、請負人の選定
一、設計圖面

定價金五拾錢（發行所舟橋建築信託所、大阪市港區鶴町四ノ一八二）

編輯後記

◇…若葉青葉風薫る五月二十二日、産業御奨勵の有難き思召により、經濟都市大阪市へ　長くも龍駕を迎へ奉らんとす。

◇…この無限の聖恩に應へ奉るには各自がその本分を恪守し、その業務に精勵し、その道の發達に盡して、一意國運の進展に貢獻せんことを須臾の間も忘れてはならない。

◇…榮光に輝く大阪は、この空前の榮譽に勇躍、感激して、それぞれに淨め整へ、ひたすらにその時その日をお待ち申上げてゐる。

◇…本月號はいままでにない、多くの原稿を諸先生から頂いたので、住宅號を五月と六月の二ケ月に亘つて發行することにしました。

◇…で本號は片岡博士、權藤氏、增田氏、葛野氏、松本氏、藤原博士、本野氏、古塚氏、植實氏、須賀氏を六月號には伊藤氏、本野氏、安井氏、遠藤氏工藤氏、宮嶋氏、藤原博士(續)、須賀氏(續)、武田博士等の御研究を發表致すことになりました、執筆を頂きました諸先生へ厚く深謝致します。

◇…懸賞サンマー・ハウス設計圖案は六十七葉の應募で、別項廣告の通當選されました、落選中にも優秀なるものが多數あつたとの審査員のお話でした審査の諸先生を始め應募のお方々へ謝意を表します。

◇…毎號お願ひしますが、會員諸君の制作に係る建築はどん〳〵御紹介申上げますから編輯部へ御通知に預りたい

新刊紹介

△洋風建築構造解說（志賀龜之助著）定價二圓五十錢、送料十四錢）

△鐵筋鐵骨構造計算圖表と實例（水原旭、西村嘉壽著）定價二圓五十錢、送料十四錢）

△改良日本家屋構造（吉田全三著）定價二圓五十錢、送料十二錢

實川西洋家屋構造（石川勝志著）定價前二・五〇後三・五〇、送料各十四錢

△實川日本家屋構造（石川勝志著）定價一圓五十錢、送料十錢

△和洋建築設計製圖（木檜恕一著）定價二圓五十錢、送料十二錢

△洋風木造建築構造圖解（志賀龜之助著）定價一圓二十錢、送料十二錢

△構造强弱並計算法（大竹巽著）定價三圓、送料十六錢

△室內裝飾家具製作圖（木檜恕一著）上下各三圓、送料各十八錢

△最新和洋建築用語新辭典（東京帝大囑託須藤眞金著）有ゆる建築用英語を網羅し發音、譯並に解說を附す、又第二部は和英對譯とし第三部は常用建築略字、略語を輯め更に廿葉の說明圖を附し各時代の樣式裝飾、各種建築の平面圖、各種構造の詳細圖に分ちて用語の說明を助け同時に裝飾、間取構造に關する參考圖を兼ねしめたる建築界唯一の良書、新四六判上製三八〇頁挿繪廿枚、定價二圓五十錢送料十八錢（發行所東京神田區南神保町九太陽堂）

本誌定價表

冊數	定價	郵稅
一冊	五拾錢	貳錢
十二冊	六圓	貳拾四錢

昭和四年四月廿八日印刷（每月壹回）
昭和四年五月一日發行（一日發行）

大阪市港區音羽町二丁目十四番地
發行兼編輯人　鷹取陽

大阪市東區內淡路町一丁目七番地
印刷所　大阪活版所

大阪市西區土佐堀通一ノ一
大同ビルヂング
發行所　社團法人　日本建築協會
電話上四二六五番
振替口座大阪三九、九七五

大阪市西區京町堀羽子板橋北
特約販賣店　柳々堂書店
電話土佐堀二四四〇番
振替口座二二〇八四番

御購讀の向は本會直接又は特約店へ振替又は爲替にて前金御拂込被下度候

國産



アスファルト

陸屋根防水用 ブローン
電氣絶縁用 アスフルト

地下室防水用
道路鋪裝用 アスファルト

御參考上
カタログ進呈

日本石油株式會社

大阪市西区江戸堀通三丁目〇

東京本社 下関 小樽

建築事務所案内

（次第不同）

池田建築事務所

所長

建築士 工學士 池田實

所＝大阪市南區難波驛前鴻池ビル

電話戎1123番

宅＝大阪市住吉區上住吉町174

大阪市北區曾根崎中二丁目

第一曾根崎ビルディング第四十一號

建築設計監督 小笠原建築事務所

電話北二一五五、二一五六番

建築士 小笠原銑（マヽ）

住所 大阪市此花區西島町北港住宅二一〇號

電話土佐堀三二〇四番

大阪市西區土佐堀通一丁目

大同生命ビルディング第八階

橋本建築事務所

建築士 工學士 橋本勉

電話土佐堀九三八番

建築事務所案内

（次第不同）

大阪市西區靱南通二丁目
ユタカビルデイング三階K室

岡部建築事務所

建築士 岡部顯則（アキノリ）

電話土佐堀五三二三番

大阪市東區高麗橋三丁目二八
千代田生命保險建物三階
電話本局二九六四番

横河工務所

工學博士 横河民輔
工學士 松井貴太郎
田中綱

東京市丸ノ内郵船ビルヂング六階
電話丸ノ内23二九八一番
大阪市北區堂島大毎ビルヂング五階
電話北四〇六四番

片岡石本建築事務所

工學博士 片岡安
工學士 石本喜久治

大阪市東區北濱四丁目五〇
電話本局三一三一番

宗建築事務所

建築士 工學士 宗兵藏
建築士 工學士 須川廉太郎
大倉三郎

建築事務所案内

（次第不同）

大阪市西區本田町通壹丁目
住友ビルヂング參階
電話西三四三三番

東京市京橋區南紺屋町
實業ビルヂング五階
電話京橋五六六九番

國枝工務所

工學士 國枝博

東京市本鄉區本鄉三丁目八番地

建築士
設計監督 **眞水工務所**

電話小石川三九六三番

建築士
工學士 眞水英夫

工學士 野田六次

大阪市北區眞砂町四十一番地

眞水三橋建築事務所

電話北二〇四一番

早大工學士 松下由藏

太田正之

大阪市東區高麗橋筋二丁目
高麗橋野村ビルヂング六階

安井建築事務所

電話本局二〇七二番

建築士
工學士 安井武雄

神戸市下山手通六丁目七六
電話元町二六七一番

設樂建築事務所

建築士 設樂貞雄

工學士 設樂貞三

支配人 木村梅次郎

西原式 汚水淨化裝置

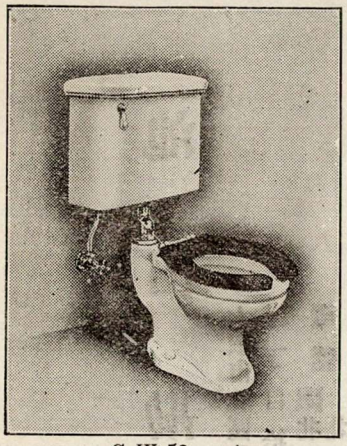
專賣特許 第四二五九二號　新案特許 第四三三二一號 第六一三五四號 第六一四二三號 第六六〇七二號

國產優良品

パイロット衛生器具

弊所が本邦に於ける斯業の先驅者として大小數百ケ所に施工したる多年の經驗と研究の結果漸次改良を加へたもので構造の堅牢、工費の低廉、成績の良好、地積を要する點なきこと等あらゆる特色を具備せるものであります。

洗面器、手洗器、流し類、和洋大小便器、浴槽等各種、



CW 50 — A

（御申越次第カタログ進呈）

我國にて始めて發賣せる組合せ衛生器具にて『持ち送り』『木捻』の類に至るまで全部取揃へ一組になつて居りますが金具類はすべて

合資會社ヤンソン製作所

また陶器類は

東洋陶器株式會社

の特製品で兩々相まつて外國製に劣らぬ優良品を皆樣に御奬め致します、續々御愛用のほど願ひ上げます。

本店 東京

西原衛生工業所

大阪市北區中之島五丁目三十番地

支店 大阪

電話土佐堀 三七八一五番

京都市下京區萬壽寺通不明門東入

出張店 京都

電話下一三四五番

營業所 名古屋

建築請負業者案内

（次第不同）

池田勘藏

大阪市北區曾根崎新地三丁目拾三番
電話 局北一一五七番
北一五〇七番

大阪市東區釣鐘町二丁目廿九番地

大倉土木株式會社 大阪出張所

電話東長 自三二一 至三二五
一三一二・六二五〇

和洋住宅專門

白陽工務店

藤田辰三

大阪市北區曾根崎上三丁目三〇番地
電話北 一五六二
一五六三

衛生工業設備一般

設計施行及器械販賣

給水裝置　排水裝置
防火裝置　衛生裝置
煖房裝置　給汽裝置
給湯裝置　換氣裝置

大阪市北區中之島七丁目
（河野ビルヂング）

衛生工業商會

電話堀江二二〇八・〇一六三番

建築請負業者案内

（次第不同）

大阪市東區農人橋二丁目十二番地

合名會社 **大阪橋本組**

代表社員 橋本政吉

電話 東一五八〇番 長東一五八一番 東一七五三番

東京市麹町區八重州町一ノ一 八重州ビルヂング四階

東京支店

電話丸ノ内(23)四七八〇番 (四七八一番)

小倉市大阪町十丁目百廿二番地

九州支店

電話 長四三〇番

大阪市東區京橋三丁目七十五番地

株式會社 **大林組**

支店 東京、横濱、名古屋、小倉

營業所 京都、神戸、

工作所 大阪、東京、

大阪市西區江戸堀南通一丁目

合資會社 **大阪電氣商會**

大阪暖房商會

社長 菅谷元治

電話土佐堀(一一)五四四四 (一四四六)八三七

支店、東京、名古屋

大阪市東區横堀四丁目四十三番地

石川屋

電話本町八三四(本店) 櫻川一六七(工場)

岡本工務店

岡本武藏

岡本新次郎

山中茂一

建築請負業者案内

（次第不同）

ペンキ塗請負業

龜谷開作

大阪市北區鶴之町三十六番地
電話北六五四五番

足代（假設）
材料損料
鳶方（手傳）
工事負請業

中新 中川辰藏

大阪市北區曾根崎上一丁目
電話北一五三番
東京出張所
東京市神田區猿樂町
貳丁目參番地
電話神田（25）三〇五番

合名會社 竹中工務店

本店 大阪區堂島、堂ビル 北長八一〇
支店 東京市丸ノ內郵船ビル 丸ノ內（23）長一二五〇
神戸市熊內町六丁目 賣合 八〇六
名古屋市西區幾原町二丁目 長一八四二
京都市坊城通三條下ル 中 二三八六
橫濱市花咲町十一丁目 一八八九
長濱町圖番（三）

製作所
大阪市港區南境川町 西長 八〇四
東京市深川區西平井町 大手二〇四六

久保田組

久保田種吉

大阪市東區神崎町五〇
電話東長三一八七番
三八五三番

建築請負業者案内

（次第不同）

諸石材販賣彫刻請負業
幷ニ
一手販賣（黃龍石（人造石用）石粉各種
高島産錆色（人造石用）石粉各種
黃龍石材各種

通名石佐事

熊取谷熊次郎

本店　大阪市東區材木町七九
電話長東一六二六番
出張所　東京市下谷區上根岸四九
電話下谷一三二九番

株式會社

松村組

大阪市東區大手通一丁目二十六番地
電話東（長三一七二番 三五三三番）

東京本社

東京市丸ノ内仲十四號館十二號
電話丸の内（代表）二五五一番 二五五二番 二五五三番 二五五四番

大理石
鐵平石
萬成磨
工事及設計請負

大阪市此花區吉野町二丁目一六

合資會社

山田大理石製作所

電話土佐堀四三四二番

長尾新太郎
池上喜三信

御用ノ節ハ電話ニテ御一報次第御伺仕可候

藤木工務店

藤木正一

大阪市西區小林町七十五番地
電話櫻川一五五八番

建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社 **鴻池組**

本店 大阪市西淀川區傳法町北三丁目壱
電話土佐堀（長二六二・四二一七）二六三・四二一八）番

支店 東京市京橋區三十間堀三丁目三
電話銀座（長一九九〇番 一九九一番

製材工作場 大阪市港區池島町二丁目五五
電話西七六八・長一五二三番

合名會社 **有山組**

大阪市東淀川區十三西之町
電話 自宅用 北二〇五〇
營業用 北三〇五一

鐵骨橋梁鐵塔
建築金物請負

合資會社 **駒井喜商店鐵工部**

大阪市港區泉尾町七二番地
電話 櫻川（六五八番 二八八六番

安藤組大阪支店

大阪市北區堂島濱通
一丁目八五番地
電話長北四八四番

建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社
佐伯組

本店　大阪市港區市岡町夕凪橋畔
電話特長西一〇九〇番

出張所

福岡市外馬出上町　電話長二二四二番
大分市南新地　電話長三七〇番
熊本市相撲町　電話長三九四番
小倉市中島町　電話長六一〇番
宮崎市宮田町　電話長四〇六番
東京市京橋區木挽町九丁目三地

大阪市南區高津三番丁三番地
電話長戎二八一〇番
森本建築社

東京支店
東京市芝區白金三光町二五番地
電話高輪八一六七番

合資會社
清水組大阪支店

大阪市西區土佐堀通二丁目二番地
電話長土佐堀（六六六番／六六七番）

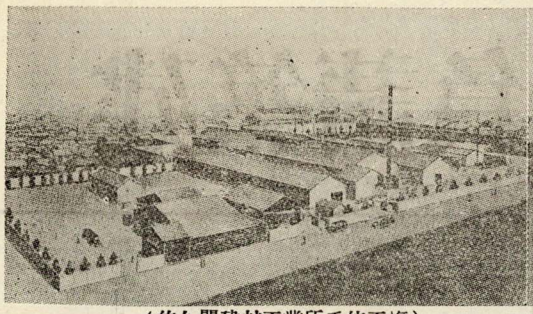
（本店）東京
（支店）横濱、名古屋、京都、博多、京城、大連

大阪市西區土佐堀通二丁目二四
合資會社
錢高組

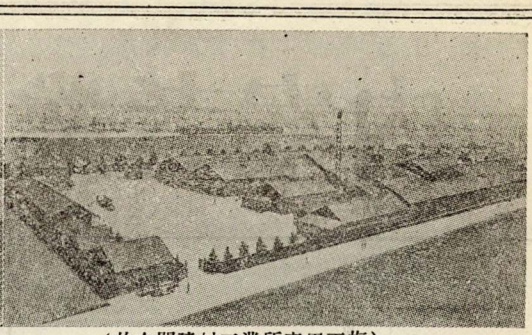
電話土佐堀（長三四一七／三四一八）
東京市京橋區木挽町四丁目四
東京支店
電話銀座（四二九二番／長四二九三番／長二三四七番）

名古屋市中區新榮町三丁目二九
名古屋出張所
電話東三五一八番

横濱市高島町六丁目一二
横濱出張所
電話本局三〇七六番



（佐久間建材工業所千住工場）



（佐久間建材工業所高田工場）

佐久間式マルエス印便利瓦

製造法式　特許第七四四七七號
製造法式　特許第七五六二七號

陸屋根地下室防水材料

佐久間式マルエス印

コンパウンド
パーマネントルーフイング
疊下用紙
建築用紙
フエルト
C印フエルト
ルーフイング

御用命

三菱地所部殿
東京府市殿
大藏省殿
文部省殿
鐵道省殿
陸軍省殿
警視廳殿

久原鑛業株式會社殿
藤田鑛業株式會社殿
帝國ホテル殿
藤倉電線株式會社殿
富士製紙株式會社殿
慶應大學殿
南滿州鐵道株式會社殿

清水組殿
大林組殿
大倉組殿
安藤組殿
高橋組殿
戸田組殿
竹中工務所殿
藤本組殿

（其他土木建築界各方面）



國産として優秀なる

佐久間建材工業所

所主　佐久間榮吉

營業所　東京府千住町三ノ三七〇番地　電淺草五〇〇六番
千住工場　千住四〇〇二番
高田工場　東京府高田町八〇四番地　電淺草二五六番

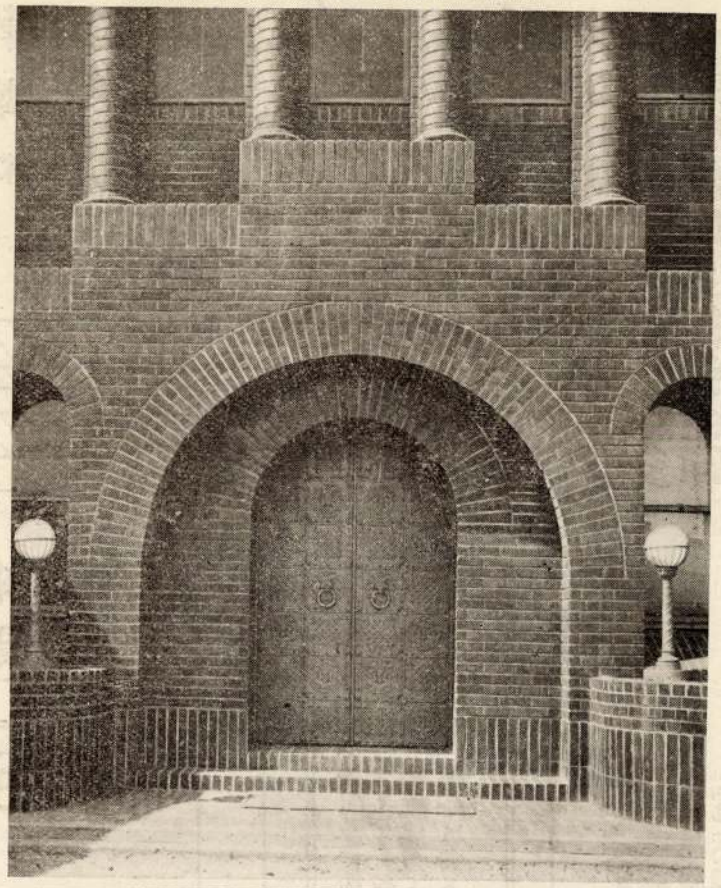
東京工業試験所報告

品名	抗張力 縦	抗張力 横	水壓力 氣壓	加曲試驗 丸棒直徑	加曲試驗 迴轉度	加曲試驗 龜裂	試驗時期
佐久間式マルエス印半號ルーフイング	70·5 瓩	42.9 瓩	1.4	0·5 糎	180°	生ゼス	大正十四年二月二十六日
某舶來一流(A)プライルーフイング	53.7 瓲	21.8 瓲	1.2	1.3 糎	180°	生ゼリ	同上
佐久間式マルエス印半號ルーフイング	74.4 瓲	55.9 瓲	1.7	0.5 糎	180°	生ゼス	大正十五年二月十日
某舶來一流(A)プライルーフイング	80.3 瓲	39.3 瓲	1.2	1.0 糎	180°	生ゼリ	同上

（見本カタローグは御申込み次第贈呈）

◉建築の進歩と防火の設備

關玄會協業實阪大は眞寫



◉東京横濱大阪を主として全國都市百數個所に御使用先を有す◉

負請店本組林大社會式株

請負

特許壽崎式スチール、シヤツター一
特許壽崎式スチールドウワー一
特許壽崎式上ケ下ケスチールサツシユ
鋼鐵製書架類
鋼鐵製シヨーウインドー一
鋼鐵製スクリーン並ニ造作一
鋼鐵製コンクリートドウワ一作
一般建築製飾金物製作

設計

大阪

米山製作所

電話東京二三〇九一〇

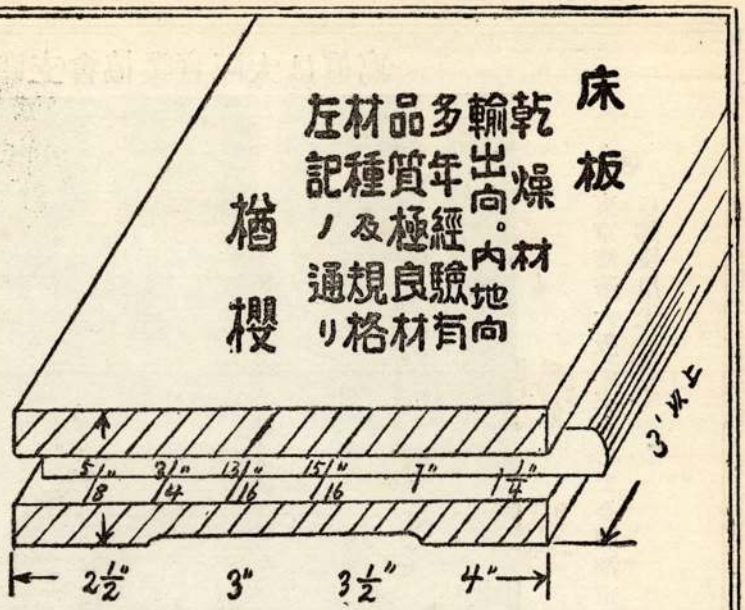
東京工場

東京府下南千住町

床板

乾燥材
輸出向。内地向
多年經驗有
品質極良材
材種及規格
左記ノ通リ

楢櫻



フローリングブロック
並ニ造作用楢乾燥材多
量貯藏當店へ御引合願
上候貯藏板子材厚ミ
1" 1¼" 1½" 2" 2½" 3"

AMERICAN READY-MADE DOORS.
米國製出來合建具

今回第一着手トシテ米松製ノミヲ輸入致シマシタ。製作費ハ學校、病院、商店、住宅等比較的予算ノ少キ御建築ニ御引合下サレバ絶對ニ安ク建具ヲ安ク差上ケマス

Door List of SIZE
出來合建具寸法表

高	巾	厚
6'6"	2'	1 3/8"
6'6"	2'6"	1 3/8"
6'6"	2'8"	1 3/8"
6'6"	3'	1 3/8"
7'	3'	1 3/8"

福原工場大阪販賣店
港区泉尾梅ノ町四丁目
電話櫻川一六七番

福原床板製造工場
小樽市入舟町二丁目三四番地
電話二五二九・一二三番
振口小樽二五六七

東京販賣店
京橋三四六一

名古屋販賣店
南三九〇

スチールサッシュ
スチールドアー
スチールシャッター
手動昇降機

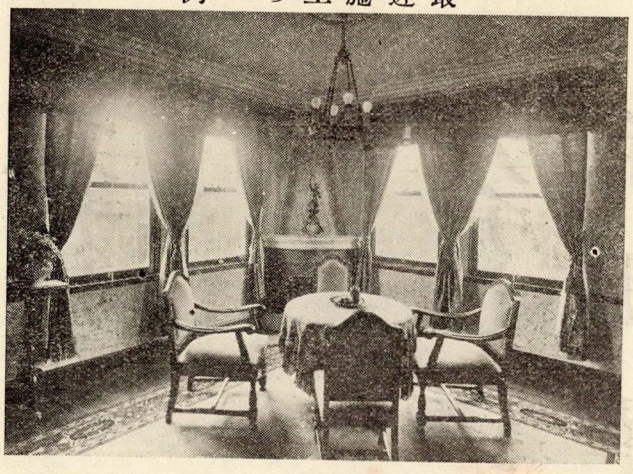
合資會社 榮進社

營業所 東京市京橋區南紺屋町十二番地 實業ビルディング二階 電話京橋(56)二二二九番
第一工場 東京府下日暮里町日暮里一二八番地 電話下谷(83)一〇二七番 一四〇二番 一四八三番
第二工場 東京府下日暮里町大字谷中本二五六番地

出張所 横濱市中區常盤町一丁目一番地 常盤ビルディング二階 電話長者町二七一四番
大阪市北區梅ヶ枝町梅ヶ枝ビル二階 電話北三一二五 五三五九 五八六八 二八四六
神戸市平野下山手町 一三三番地 電話元町二七〇九番
大連市紀伊町八五滿洲鐵道會ビル階下 電話四六〇二番

家具と裝飾

最近施工の一例



弊店は　眞面目がモットー
皆樣方の使用人

大阪市西淀川區海老江上三丁目一一七

岡家具裝飾店

電話土佐堀二九六九(福祿)　振替大阪七九七三三

大理石工事請負

合資會社

矢橋大理石商店

本店　岐阜縣不破郡赤阪町

電話　五

東京市麹町區八重洲町一丁目丸ノ内十號館五號

出張所　電話丸ノ内四六三九番

大阪市東區北濱四丁目二十二番地

電話本局㊁五三一九

京城府光化門通一九〇



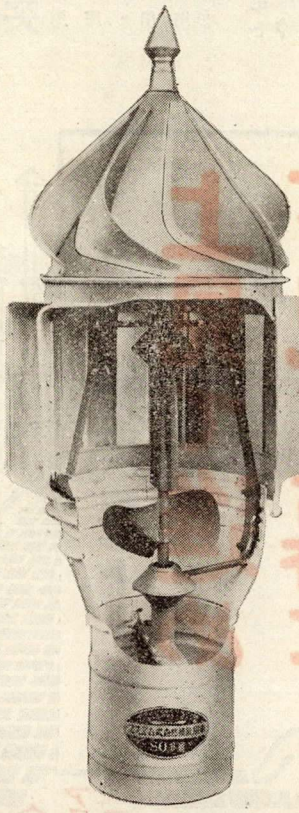
金剛商會

本店　東京市芝區虎ノ門　電話芝三九三・三九四五
大阪支店　大阪市北區中ノ島四丁目　電話土佐堀二〇二五・二九三四
名古屋支店　名古屋市中區南園町二丁目　電話本局一三五一

新案特許

プロペラー　特許　No. 118986
防水裝置　特許　No.　1306

エスヱム式自然換氣風車



最新考案特許二件ヲ有スル
理想有効保證ベンチレーター

外側笠ノ廻轉ニヨリ内部吸上ゲプ
ロペラーノ廻轉ニヨリ換氣量ヲ最
大ナラシム

大阪市北區梅田阪急前（第一曾根崎ビル四階）

總發賣元

SO商會工事部

電話北 2155・2156

製造工場　大阪市東野田四番地

佐々木工作所（電東 696）

建築衛生設備設計施工

營業種目

▼水道▲公私水道、ポンプ、屋外給水裝置。
▼防火▲防火栓裝置、スプリンクラーシステム消防用器具、ナイヤーミンスコンネクションミニマツクス消火器。
▼衛生▲洋和風浴室、先面場臺所、便所、下水道、汚水淨化裝置、塵埃處理裝置。
▼煖房▲蒸汽暖房裝置、溫水暖房裝置、熱氣晩房裝置。
▼換氣▲自然換氣、機械換氣、冷風換氣、空氣洗滌裝置。
▼冷藏▲リフリゼレーター。
▼眞空式掃除裝置▲セントラル、バキユーム、クリーニングシステム。
▼右設計工事請負及同機械器具材料製造並ニ輸入販賣

米國スタンダード衛生器具製造會社
米國スローンバルフ製造會社日本總代理店
米國シカゴポンプ製造會社

米國スペンサークリーナー會社
米國ベージボイラー製造會社日本總代理店
獨國ミニマツクス消火器會社

〔創業明治三十四年〕

宮内省御用達



株式會社 須賀商會

大阪東區高麗橋五丁目
電話本局 一一八九三番 一一八八九四五番

支店
名古屋
東京
京都

支店
住吉
神戸
博多



佛蘭西式洋瓦

◎綠色洋瓦　◎黑褐色洋瓦
◎赤色洋瓦　◎各種日本瓦
各種洋瓦の製造販賣
屋根工事の請負

十大特長

實質堅牢　形態合理
色彩優美　重量最輕
葺土無用　凍害絶無
葺方簡易　吸水殆無
製品統一　雪止不要

セメント製瓦にあらず
申込次第カタログ進呈

日本洋瓦株式會社 大阪出張所

大阪市西區堀江通一丁目四〇
（木綿橋停留所前）
電話櫻川一五八番

優良國產屋根材の權威



見本進呈

專賣　煤ト煙ハ出マセン　特許

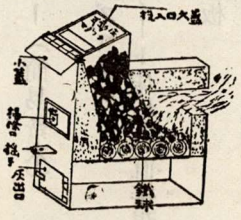
動床式 鐵ダマ入 燃燒裝器

風呂竈

長州風呂箱風呂 他種應用自在

最近御採用先

一住友工作部建築課殿
一三菱造船所建築課殿
一竹中工務店殿工事先
一京大工教授山田氏邸殿
一京大工教授岡本氏邸殿
一工學博士井口氏邸殿
一武田長兵衛氏邸殿
一醫學博士藤田氏邸殿
一山本東作氏邸殿
一高島味淋醸造所殿
一大黒正宗醸造所殿
一株式會社壽屋殿
一府下山崎醸造所殿



用途

長州及箱風呂
製飴用煮竈
飲食屋竈
染晒沸釜竈
酒造其他煮沸釜竈
酒其他殺菌竈
工場其他雜用沸竈
錢湯用風呂釜

發明者燃料實驗所長
工學博士 內藤游
燃燒有利ニ關スル工事設計
煤防除

株式會社 須賀商會
大阪市東區高麗橋五丁目 一八九三番 一八九四番 一八九五番 電話本局

特賣店
大阪市北區中ノ島町六丁目六
船津橋停留場東一丁
電話土佐堀七〇三九番

波江野工生所

新案

平安瓦發賣元

瓦

佐村木勝吉

品目

各國屋根瓦
各種色瓦
北國瓦
日本洋瓦

營業

土管各種
壺、便器類
葺上及販賣
淺野煙突

大阪市東區材木町十五番地
（久寶寺橋東詰へ北入）
電話東三六一〇番

櫻 檜實剝繼手付

床板

同上羽目板
同上本寄木

特許第六六〇八九號
伊丹式パーケットリー（簡易寄木）
特許第六五八九一號
伊丹式フローリングブロック
（コンクリート床板上直接張込床材）
三菱合資會社營業課製
南洋產セラヤ材天井板
青森特產樅材根太土臺其他

大阪 伊丹商店

大阪營業所
大阪市西區靭中通一丁目二〇番地（市電信濃橋停留場北へ一丁東側）
電話長土佐堀二四一七番

名古屋營業所
名古屋市西區南外堀町四丁目一番地
電話長本局四五九六番



各省諸官衙指定工場

株式会社 内外エレベーター

エレベーター
コンベアー
ホイスト
リフト
一般輸送機械
設計製作販売

神戸市下沢通二丁目
電話長田一七一・一七三
東京営業所
電話神田三・七〇六
神田区旭町

◀工施ニ並賣販▶

耐火リノリウム
セメントプロツク
ドロマイト
㊊プラスター

特許ストンプロツク
特許ポーラスライ
マグネシヤセメント

葛生石灰株式會社發賣
㊊プラスター關西一手販賣元

大阪耐火リノリウム工業合資會社
大阪市西區薩摩堀南ノ町一番地
電話新町四三五九番

カタログ進呈

◀特許坂本式硝子屋根裝置▶

諸官衙・工場・倉庫・撮影所・病院・溫室等屋根及ビ一般建築物天窓ニ廣ク御利用ヲ乞フ

坂本商會大阪出張所

大阪市西區薩摩堀南ノ町一番地
電話新町四三五九番

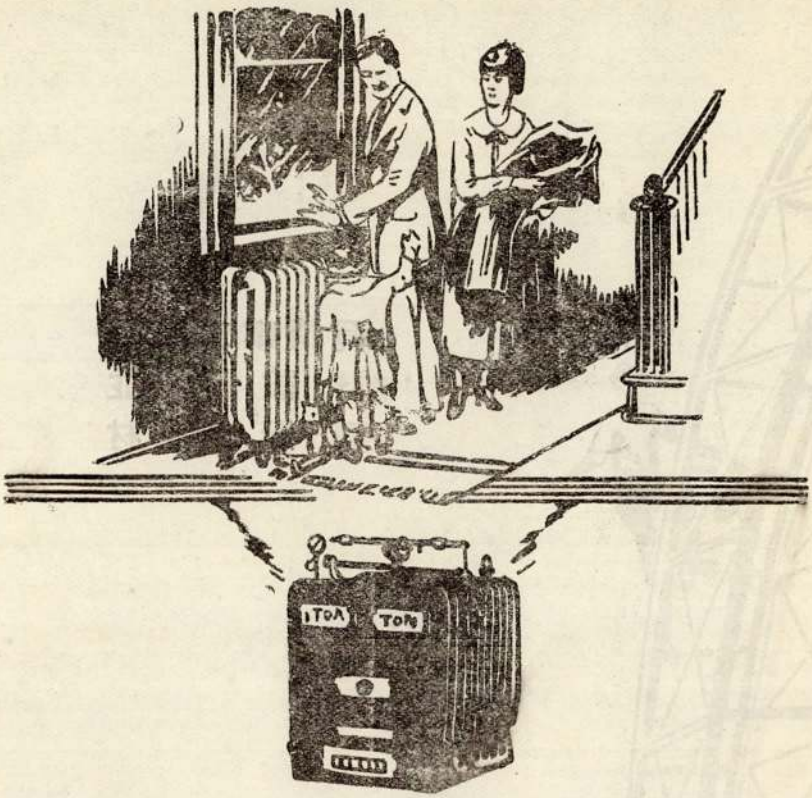


塗裝工事請負
並ニ設計
材料販賣

松本商店

本松主店

大阪市北區宗是町十番地中島ビルヂング内
電話土佐堀二九一・一五二一・三五〇九番



株式會社
東亞鐵工所
大阪市此花區西九條濱通一〇
電話土佐堀(一一)三七番
(三九六七番

株式會社
東亞鐵工所東京出張所
東京市麹町區丸ノ内ビル八七五
電話丸ノ内(23)一七九六番

營業案内

煖房部
煖房、換氣
温濕氣調整
水道、衛生
設計、施工

製作部
各種放熱器
工作用高級機械
汽罐、鑄鐵品
コンベーヤー、リフト、ケーブルカー



淺野理化學工業所製

アサノソリヂットタイル
アサノソリヂット安全壁
アサノソリヂットスタイル
アサノリノリユーム鋪床料

ユニオンアスファルト
小倉アスファルト
内外各種ルーフ井ングス
大連ドロマイト
大明式スカイライト
米國ミシシッピ會社製ガラス一切
網入波形グラス
米國GF會社各種ラス
セロテックス
内外各種ペンキ
其他橋梁材料並ニ請負
（型錄進呈）

一手販賣元

淺野物産株式會社大阪支店

建築材料部

タイルの山本窯業

大阪市北區芝田町

電話北 286. 5610

タイル と テラコッター

東京出張所

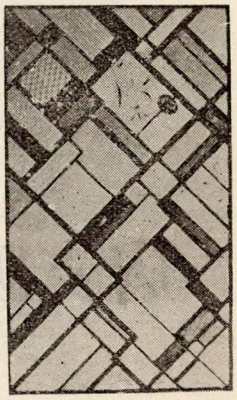
東京市日本橋濱町三丁目一地

(中之橋際) 電話浪速 1978番

ステインドグラス

グラスモザイク

VENUS STUDIO



大阪市東區谷町二丁目五 電東四二二〇

出張所 東京 代理店 京 城

ベニス工房

最も進歩せる使い易いプラスター

スタッコ、マンチュリヤ

主なる特長

一、布海苔を要せず、其儘水にて練り塗工す
一、硬度適當なれば音響を反射せず
一、輕くして剝落、龜裂の憂なし
一、純白美麗、顏料にて着色任意、褪色せず
一、施行後水洗ひしても表面を損傷せず
一、價格低廉、御試用を乞ふ

型錄進呈

耐火床張リグノイド
工場床張リグコッタ
美術床張マグコルク床
防火防水壁ロックスタッコ
水硬性防火防水壁リソイド
水硬性防音內壁エラスコ
マグネシアセメント

一手販賣店元 三井物産株式會社

製造元 大阪市港區北境川町二丁目三十五番地
南滿鑛業株式會社
大阪出張所
電話長西三四八九番

玲光社

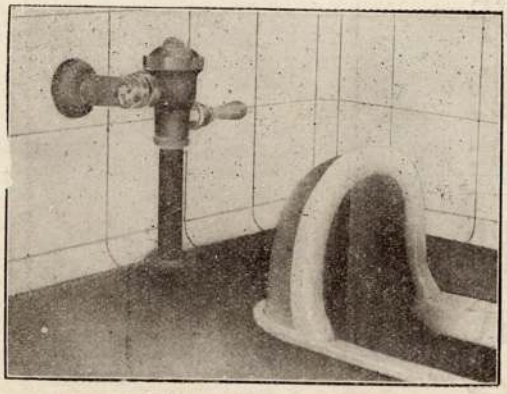
ステインドグラス
模細工
プリヅム
各種色硝子

大阪市天王寺區南河堀町
電話 天王寺 七九四
東京澁谷青山南町七ノ二
電話 青山 一八八〇

鄭太鳳內木
鄭太彌崎三
鄭太邦瀨廣

辨滌洗所便洗水

ヨネ.フラッシュ.バルブ



東京帝國大學指定御用達
東京・大阪・京都市役所御認可
大阪造幣局 大寶小學校
灘萬食料品店 八幡屋劇場
三越呉服店別館 兵庫縣立女學校
大阪府知事官舍 名古屋共濟ビル
大阪商船紅丸 京都明治ビル
芦原小學校 滿鐵病院

重なる納入先
東京帝國大學 京町堀ビルデング
正金銀行東京支店 太平ビルデング
日本大學 大阪市電氣局
大阪ビルデング 大軌電鐵會社
船場ビルデング 新京阪電鐵會社

東京帝國大學營繕課御指定
東京・大阪・京都市役所御認可
製造發賣元 米本商店
大阪市西區幸町三丁目二番
電話 櫻川三八八〇番

電燈と電力
照明器具
水道と暖房
機械と汽罐
設計製作
据付諸工事

特約 インターナショナル石油發動機
のぐち式A1型渦巻ポンプ

深井戸用各種ポンプ
グライングマグネットヒール

TRADE MARK

資本金 ㊊ 會社

大阪東区今橋貳丁目一三地

オキナ商店

代表社員 小川繁太郎

電話本局 一三八九
五九三一番
振替大阪二〇六一一番

陸屋根地下室用防水布

専賣特許
富士印クロースルーフ井ング



本品は純麻織物を主要材料とし無酸乾燥性天然アスファルトを應用し强度伸度滲透壓に於て同種品中最高の記錄を有する合理的にして最も進歩せる

クロースルーフ井ング製造所

工場 大阪市東區平野町八五目丁四目五番地
電話本局四五〇七番

營業種目

田中式天窓（スカイライト）裝置
岡田式耐酸アスファルト
大橋及東洋式各種ラス
階段辷止金具ノンスリップ
高陽スレート
各種ルーフイング及フエルト
タービヤ及アスファルト
陸屋根地下室防水工事

岡田建築材料店

名古屋市西區西菊井町二丁目
電話西局一一一番一〇八七番　振替名古屋五五九六番



和洋家具窓掛敷物
壁紙電燈器具設計
製作工業織物各種

高島屋呉服店並裝飾部

大阪　南區長堀橋南詰
東京　京橋區南傳馬町二丁目
京都　下京區烏丸通松原上ル
朝鮮　京城府黃金町二丁目

製品販賣 工事請負

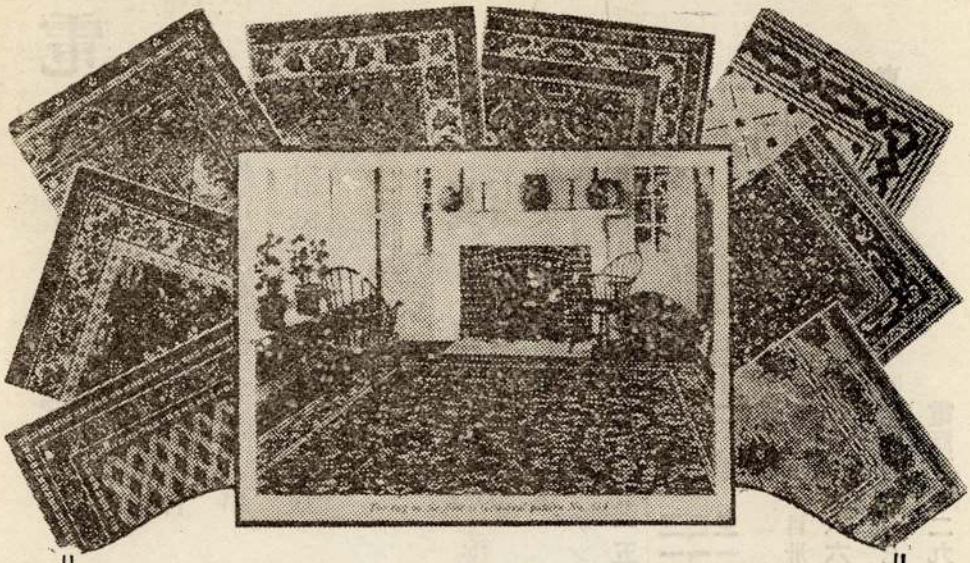
東洋コンクリート合資會社

安價
鐵筋コンクリート土管
ブロツク
電纜埋設用トラフ
其他各種製品應御注文

迅速
鐵筋コンクリート煙突
一般土木建築工事
特殊ブロツク建築
ブロツク塀

カタログ進呈

大阪市西淀川區海老江町
（阪神電車・淀川停留所脇）
電話土佐堀二八三四番



大小色々

模様色合各種

山中支那緞通

寸法並ニ模様
特別御註文ニ應ズ

大阪市東區高麗橋一丁目

山中商會

電力ト電燈

美術裝飾電燈器具製作
電燈電熱避雷針電話工事
設計監督工事請負

淺海商店

營業所　大阪市北區絹笠町九番地
　　大江ビルヂング三階
電話直通　北一五七六番
交換北一二一五番　三一九六番
　　二六二〇番　三一九五番
　　三一九七番

工事部　大阪市北區曾根崎上三丁目卅六番地
　　北六六四二番
東京支店　東京市芝區田村町七番地
　　電話芝(43)二九七〇番

特許 内藤式無煙風呂

浴場設備には

現代の文化的意義を充分に具備せる内藤式無煙風呂釜を御採用願ひます

特長

下向きに燃えて絶對無煙焚方簡易にして速く沸く燃料普通風呂釜の三分の一

（カタログ進呈）

大阪市天王寺區大道三丁目
株式會社　内藤製作所
電話天王寺一〇一五番

負請事工計設量測

大正九年創立

資本金貳百萬圓

日本水道衛生工事株式會社

營業課目

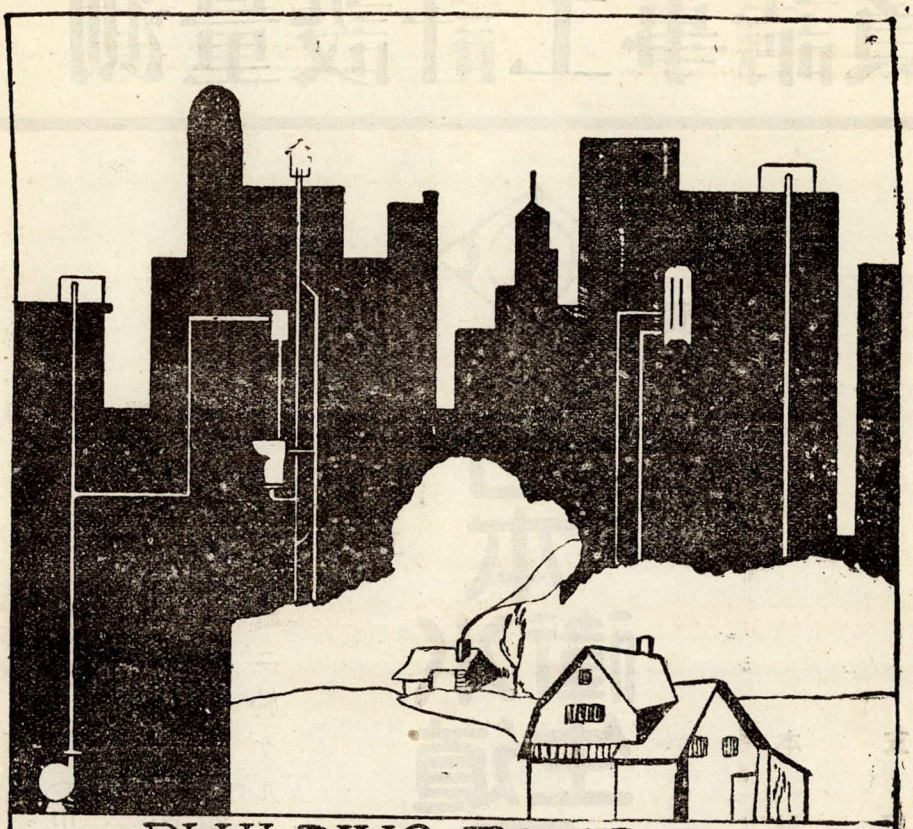
上下水道工事（市、町、村住宅地、官衙、兵營、工場）
水力電氣工事
建築衛生工事（防火、給水、給湯、排水、汚水淨化）
煖房換氣工事（通風、冷房諸機械設備）
諸官廳ニ於ケル右工事手續代理行爲

電報略號　受信 ニチスイエイ　發信「ニス」又ハニ
振替口座　東京 五一五七五番　大阪 五三七一五番

本社　大阪市東區高麗橋詰町六〇　電話東長（二一四二二）四二三番

支店　東京市京橋交叉點第一相互館　電話京橋（四）〇〇〇二番

出張所　京都・神戸



都市水道
衞生給水
煖房換氣
防火裝置
特許汚水處理
病院設備

桐田商會

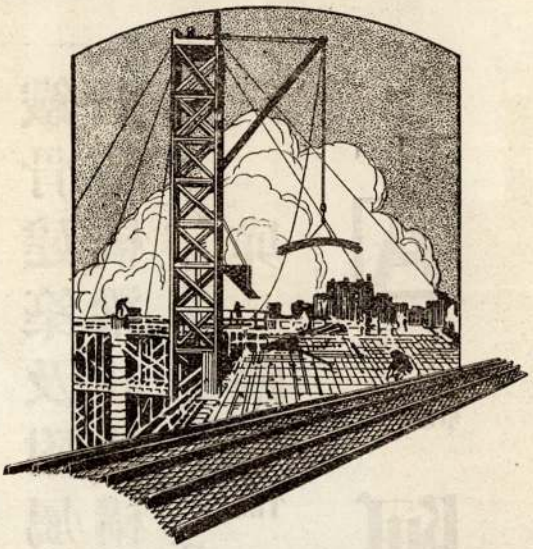
大阪市北區木幡町八二
電話北二七五一番

東京市芝區田村町十五
電話青山五三七五番

Nippon
DIAMOND RIB LSTIL

日本ダイヤモンドリブラス

鐵道省、大藏省、各官廳指定品



國立大阪工業試驗所の試驗表（輸入品と比較）

御用入用の節は御申越次第型錄を差上げますから御試用下さいませ。輸入品は時の御使用を以て既に切れてしまいましたから國産品の御愛用を希望致します。

全國一手販賣店

三共貿易株式會社

東京市日本橋區江戸橋一丁目四番地

電話日本橋二四八六番・二三四七番・三九九一番

關西、鮮、滿、臺、總代理店

奥村重兵衛商店

大阪市北區中ノ島六丁目

電話土佐堀四六一番

製造元

合資會社 日進製作所

大阪市此花區四貫島旭町一丁目二八四一番

電話土佐堀三一三三番

日本**ダイヤモンドリブラス**最近納入先の一部

總理大臣官邸・東京帝大圖書館・日本勸業銀行・東京歌舞伎座・東京市政調査會館・秋田驛機關庫寶生會・鐵道協會・日本電氣株式會社・聖心女學院・上野驛・横濱生糸檢査所・陸軍第一衛戍病院・内閣書記官長邸・飛行館・横濱栗田谷小學校・横濱老松小學校・大阪造幣局・關西學院・大阪鐵道局大阪勞働共勵館・日本銀行大阪支店・日本皮革株式會社大阪工場・三井銀行新町支店・天滿織物株式會社・大日本紡績株式會社・第一生命京都支店・枚方菊人形新館・山一證券株式會社大阪毎日京都支局・京都武田五一博士新邸・昭和レーヨン株式會社・東洋紡績一宮工場・明石警察署・姫路驛機關庫・廣島專賣局・福岡武德殿・佐賀市廳舍・九州水力電氣株式會社其他

●防火宣傳●

阿部式スティールサッシュ製作
阿部式スティールドーアー製作
自働捲上防火シャッター製作

鐵骨建築及附屬金物一式
鐵塔橋梁其他構造物一式
エレベーターリフテイング一式
鐵扉、鐵柵類一式

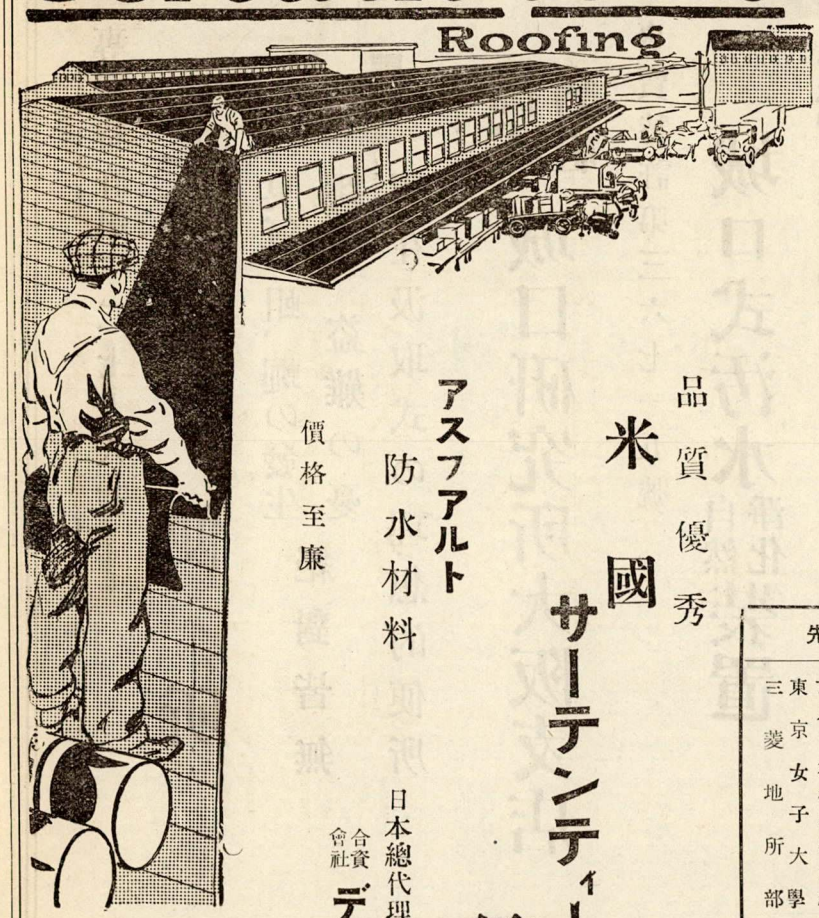
A 合資會社 **阿部鐵工所**

大阪市西淀川區浦江上二丁目五九
電話土佐堀 長一八一四番 三一一一番 八〇〇〇八四番
振替口座大阪四八〇〇五一番
受信略電（オウサカアヘテツ）

内外建築大家御指定品

Certain-teed

Roofing





品質優秀

米國 サーテンティード 便利瓦

（ルーフイング）

アスファルト防水材料

價格至廉

日本總代理店

合資會社 **デウエット商會**

東京市麹町區内幸町一丁目大阪ビル

電話銀座一〇八一番

大阪市東區今橋一丁目帝國ビル

電話本局三七四四番

主なる御使用先

丸ノ内ビルヂング　三菱鑛業會社
日本郵船ビルヂング　久原鑛業會社
有樂館　横濱ユーナイテッドクラブ
東京帝國大學　横濱スタンダード會社
東北帝國大學　横濱ライジングサン會社
早稲田大學講堂　清水組
三越吳服店　大林組
上野松坂屋本館　竹中工務店
アメリカンスクール　安藤組
東京女子大學　大倉土木會社
三菱地所部　戸田組

便所之改善

専賣特許第三二七九八號

大正便所

特長

臭氣、蛆、蠅の發生絶對皆無
跳返、盜難の憂現在汲取式の理想的便所

専賣特許第三六七一五號

株式會社 城口研究所大阪支店

城口式汚水自然淨化裝置

水洗便所必須清潔、完全、簡易の下水に放流裝置

一般給水衛生工事

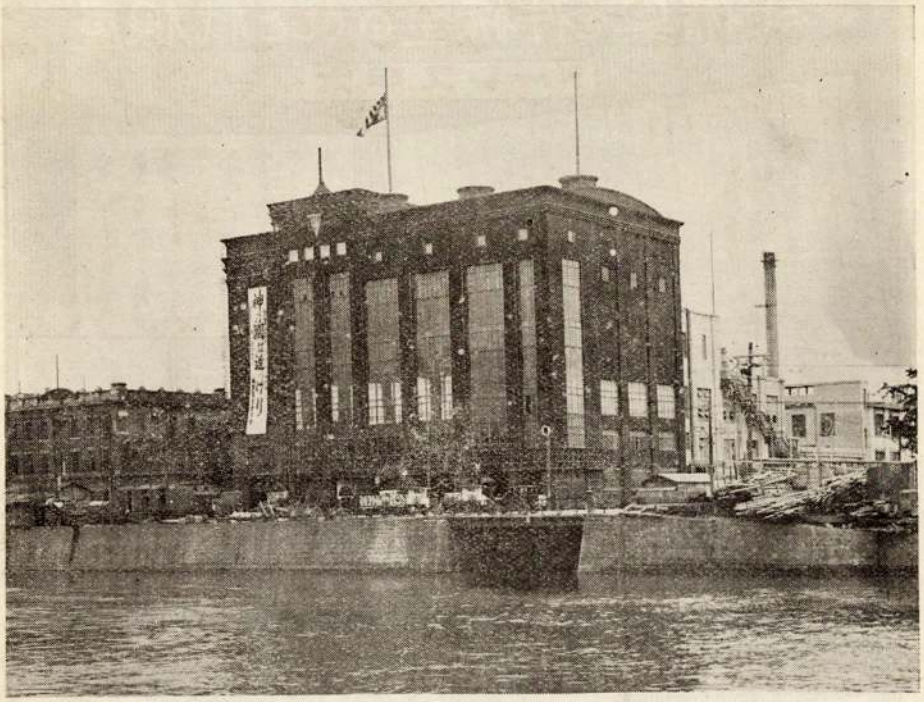
『パームチット濾水器』關西代理店

大阪市北區曾根崎中壹丁目五十七番地

電話北 特長 二一九三 一五八六番

本店	地番	東京市神田區千代田町十八番地
	電話	特長 二五二三番 神田 二五二二番
出張所	地番	名古屋市西區本町三丁目五番地
	電話	東 二三七〇番
同	電話	京都 大和大路 前佛 四七二四番
同	電話	神戸市三宮町一丁目百七十番地 三宮 一六八九番
同	地番	横濱市常盤町五丁目十八一十番地
同	電話	廣島市竹屋町百三十五番地 二八〇八番

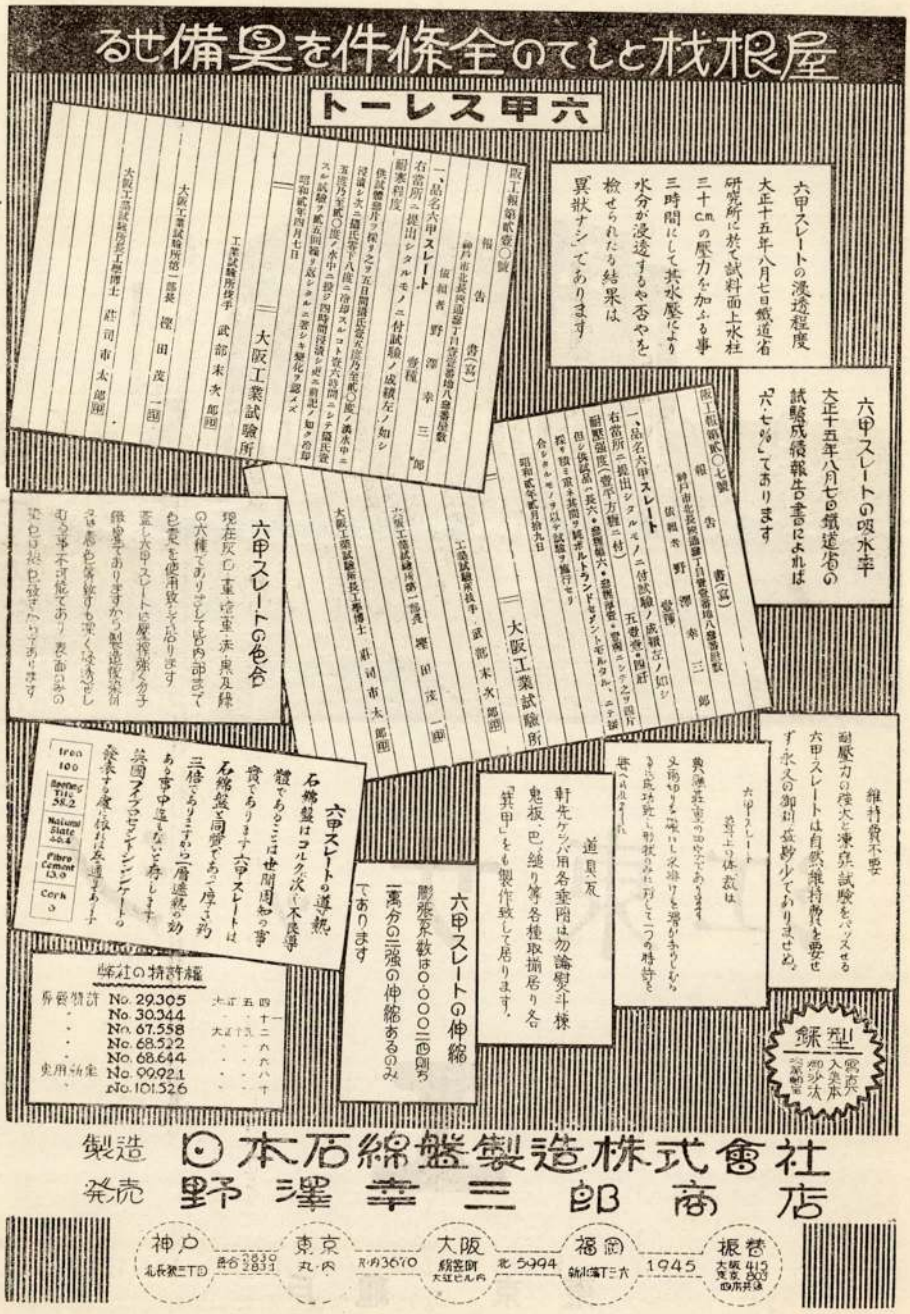
江東サッシ御採用の大阪朝日會館



江東サッシ

東京・龜戸

電話墨田3138番


屋根材と共に全部の工事を引受ます
六甲スレート
六甲スレートの浸透程度
大正十五年八月七日鐵道省
研究所に於て試料面上水柱
三十cmの壓力を加ふる事
三時間にして其水壓により
水分が浸透するや否やを
檢せられたる結果は
異狀ナシ」であります
六甲スレートの吸水率
大正十五年八月七日鐵道省の
試驗成績報告書によれば
「六・七%」であります
六甲スレートの色合
現在灰色・赤・黒及緑
の六種でありますが御
希望の色を御用意致
します
六甲スレートの導熱
石綿盤はコルク次ぐ不良導
體であることは世間周知の事
實であります六甲スレートは
石綿盤と同質であつて厚さ約
三倍ありますから二倍遮熱の効
あり事申迄もないと存じます
英國スレート・センシングケーの
發表する處によれば普通スレート
六甲スレートの伸縮
膨張係数は〇・〇〇二四即ち
一尺分の二強の伸縮あるのみ
であります
維持費不要
耐壓力の強大と凍氣試驗をパスする
六甲スレートは自然維持費を要せ
ず永久の御用に供し得ます
道具屋
軒先ケバ用各種附属は勿論鬼瓦棟
鬼板、巴、絞り等各種取揃居り各
「六甲」をも製作致して居ります
本社の特許權
No. 29305
No. 30344
No. 67558
No. 68522
No. 68644
No. 99021
No. 101526
製造 日本石綿盤製造株式會社
發売 野澤幸三郎商店
神戸 北長狭三丁目
東京 丸ノ内
大阪 綿業會館 大江ビル内
福岡 紺屋町三六
振替 大阪 四席共通

TRADE NKKS MARK M.F.G.CO

ダイヤモンド印

■便利瓦■

■アスファルトフエルト■

◎パーマネントルーフイング
◎アスファルトヘツシヤン
◎アスファルトクロツス
◎アスファルトフアブリツク
◎コツトンルーフイング
◎ビルデイングペーパー
◎ナフタリンペーパー

◆内外各種アスファルト◆

◎日建式耐酸防水アスファルト工事請負

◎天然石綿スレート葺及セメント瓦葺工事

大阪市西區南堀江通三丁目二十七番地

日本建材社

倉庫

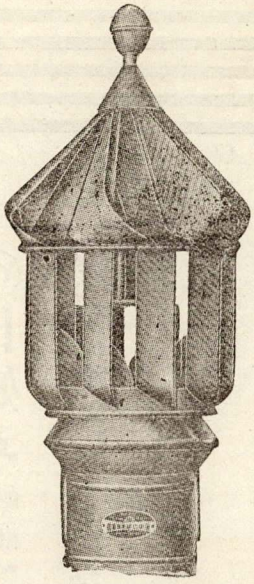
電話櫻川二五九九番
振替口座大阪五三〇〇五番
大阪市西區南堀江通二ノ二二
電話櫻川三一二一番

!! 威權の界器風除 !!
し作製き基に際實と理學
器揚吸風除式新最る た

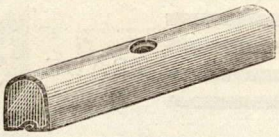
營業科目
◉◉和洋式建築金物
◉◉ブロンズ眞鍮製建具裝飾金具
◉◉窓金手摺鐵柵鐵扉類
◉◉釘針金平浪板諸材料
◉◉鋼鐵自働防火シャッター

製＝作直
輸＝入
請＝負

保健！衛生！ 田中式除風吸揚器
實用新案（新案特許第一一四四八六號）
（第一一四四八六號）



田中式ベンチレーター



各建築需要家に於て
大好評を博しつゝある
實用新案鎭鑰卷
ユニオンレール

ユニオン印
建築金物製作發賣元

大阪市北區南森町五四番地
南森町交叉點二筋南ノ辻西入天神小橋筋

合名會社 西孫南店 建築金物部
電話北二八五〇番

大阪市南區順慶町二丁目
同直輸出入部
電話船一九六・一九七番
三〇二九番

特許ORC式テーパー型鐵筋
コンクリート造

煙突工事

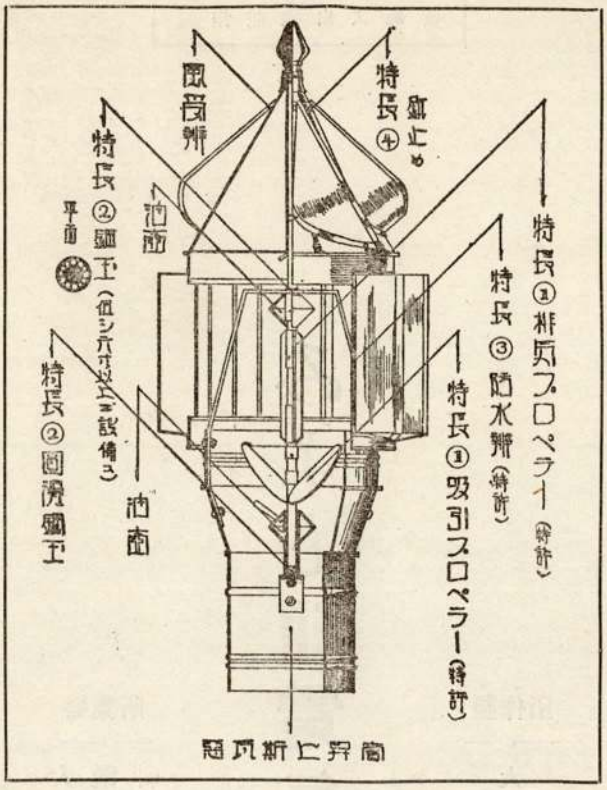
合名會社 大阪鐵筋混凝土工務所

大阪市港區小林町一六三
電話櫻川長一〇八六・二六二二
神戸出張所・名古屋出張所

（カタログ進呈）

サドシマ
メタルシーリング

金属天井



廉價!! 且ツ品質優秀ノ定評ヲ得マシタ。熟練ナル職工ハ迅速叮嚀ニ施工致シマス。

カタログ進呈

多數同類品ト全然構造ヲ異ニシ發賣日ナラズシテ稱讃ヲ得マシタ。

カタログ進呈

エスエム式

ベンチレーター

佐渡島西店建材部

大阪市南區安堂寺橋通三丁目
電話船場 二一一三番 二一三三番 九九九番

一般電氣工事設計
監督請負

高級裝飾照明器具設計
製作並輸出入販賣

みよし組電氣工業所

營業所
大阪市東區味原町九九
電話南一〇三七・五貳二九
神戸・東京・福岡

製作所
大阪市東區味原町九九

理想的素材の黒ハーレス新材



淺野スレート
日本石綿盤
朝日スレート
金剛スレート

品質堅牢
体裁優美

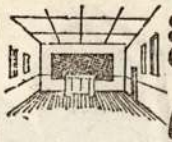
日本スレート販賣株式會社大阪支店

大阪市西區江戸堀南通一丁目廿一番地
電話土佐堀㊦3468番・3469番
本社東京市京橋區三十間堀三丁目
電話銀座㊦684・841(專用)1860・1861・1862番(接續)
支店 横濱市常盤町5丁目81番地電話本長者町(3)5207番
支店 門司市東本町四丁目 電話㊦548番
出張所 名古屋・仙臺・京城



淺野波形板

母屋が木質でも鐵骨でも
野地板がなくも勾配が緩
くも取付られる
天下無敵の屋根材



淺野壁板

強靱の石綿セメント製ゆ
ふ下見・内壁・天井・間仕
切壁等に用ひて
比類なき最適品



淺野煙突

燒けない・錆びない・
腐らない・火の用心
に
淺野煙突

社會式株淺野スレート

東京市	大阪市	門司市	名古屋市	札幌市
三十間堀三丁目	三地所築港上福島	白木町永久	三町目濱田	北三條東四丁目
電話京橋 1860 1861	電話北 5081 5082	電話 1228 1931	電話中 1097	電話長 598
銀座 1862				

建築ノ耐久ト美觀ハ屋根材料ノ撰定

KS式陸屋根地下室防水工事
太陽印アスファルトルーフキング
マルソイドルーフキング
テキサスルーフキング
各種アスファルトフェルト
耐酸性アスファルト工事
セメント防水劑マノール

見本型錄呈上

本店 大阪市西區江戸堀南通五丁目
電話土佐堀（二）二一六六番
～七一五四番

木下謹三商店

支店 東京市日本橋區濱町三丁目三番地
電話浪花二二五二番

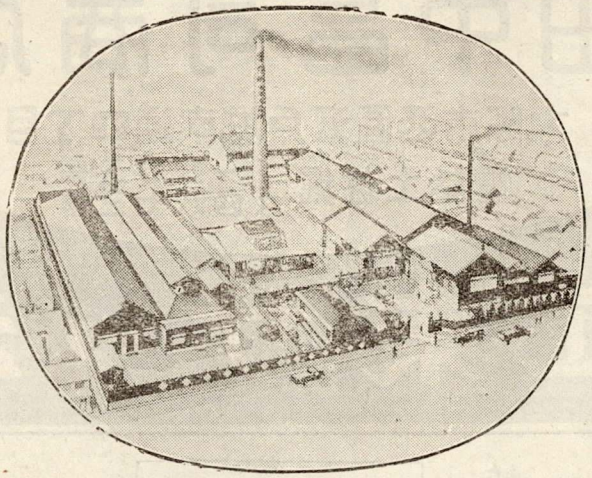
石綿スレート（石綿盤）
天然スレート（石盤葺）
獨逸式セメント瓦
エキスパンデットメタルラス
淺野波形スレート
其他各種建築材料
販賣並ニ工事請負

辨柄

登録商標

誇るべき弊社製品の特長

成分含有量の的確　分子微細にして一定不變
色澤鮮麗にして純新　大量製産にして安價提供



用途

塗料用
ペイント用
染色用
陶磁器用
漆器用
建築用
皮革用
防水布用
製紙用
リノリューム用
燐寸用
ゴム製造配合用
電線被覆用
印刷インキ用
印刷製版用
スレート用

製品種目

富士印	金鳳印	白鳳印	朱雀印	金鶏印
丹頂印	四十鳥印	隼印	鴫印	椋鳥印
鵙印				

（見本進呈）

發賣元　合資會社　大平工業所
大阪市西成區長橋通四丁目
電話櫻川二六三八番
振替大阪六三九二五番
發信略號（オヒラ）又ハ（オ）

代理店　藤澤友吉商店
大阪市東區道修町二丁目
支店　東京市日本橋區本町
支店　京城府西小門町四二

マグスタッコ床塗

完全防水 エヴァシール

大理石代用 オパキサイト

関西一手販賣元

田中昌司商店

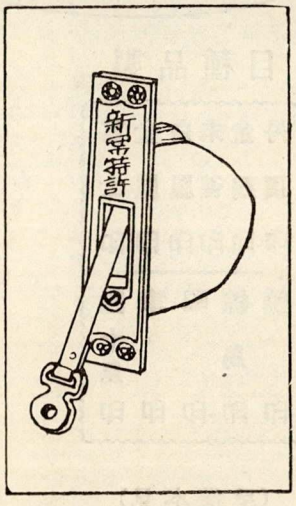
大阪市西區江戸堀南通四丁目

電話土佐堀 {五〇八番 / 三八七一番}

江東サッシ

特許秋山式
揚下窓自動窓車

窓戶は分銅を用ひず自動的に捲込み各所にて自由に停止することを得



特許秋山式
揚下窓安全器

窓戶は分銅を用ひず目方を論せず使用し得

自動窓車

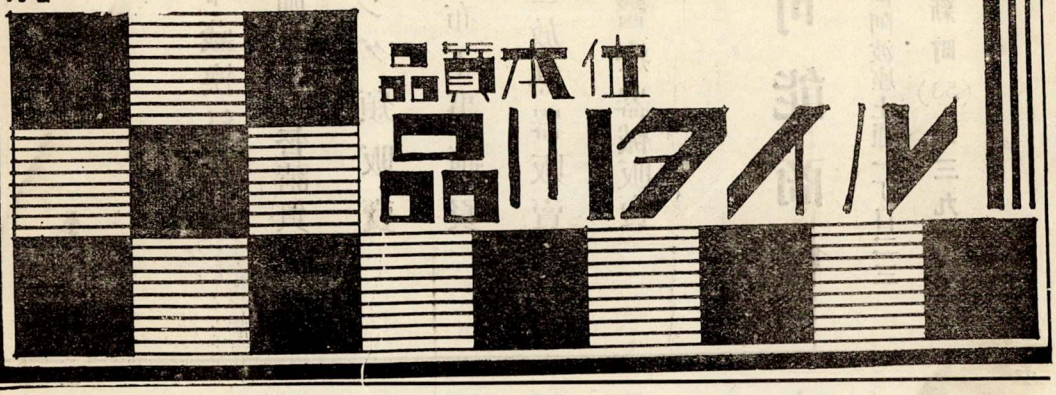
各建築金物店にあり　呈進錄目

秋山製作所

大阪市北區臼屋町九番地



品川白煉瓦株式會社
大阪タイル部
大阪市西區江戸堀北通一丁目
電話土佐堀 { 711 / 7008 番



媛房、冷房
換氣、衛生 工事材料商
製氷、冷藏

阿波田良之助商會

大阪市此花區玉川町二丁目二五
電話土佐堀 三九七四番

東京出張所
東京市外大崎町下大崎四三五
電話高輪 六三九六番

增島工作所製品
ユニットヒーター 空氣洗滌器
各種送風機 エーヤフィルター
エロフインヒーター

關西代理販賣店

營業課目

一、暖房給水乾燥冷藏換氣裝置並浴場炊事場設備設計監督請負
一、各種バッキング類販賣
一、保溫劑及同塗布工事請負
一、諸機械器具特ニ放熱器販賣
一、消毒器及其他醫療器械販賣

大阪可能商會

大阪市西區阿波座上通一丁目二三
電話新町(53)二三九六番

◆特許山添式防水工
◆特許タービヤ鋪裝工事
◆特許田中式硝子屋根
◆デーケー式シヤツター
◆デーケー式サツシユ
◆鈴木式及デーケーラス
◆セメント防水料セレシット
◆星印ルーフヒング

大阪市西區南堀江下通二丁目

內外土木建築材料合資會社

電話園櫻川一六一〇番

建築銅鐵物

鋼鐵製建具各種
鋼鐵製捲揚鐵扉
金庫及書庫鐵扉
雜作仕上鐵物各種
青銅製裝飾金物各種
建具用金物各種
設計、施工、請負

加工材料一般

柴田建鐵工材所

營業所　東京市日本橋區北島町一丁目一番地
電話茅場町(66)一〇八八番

工場　東京市外寺島一九九七番地
一九九八番地
曳船驛前

室内裝飾

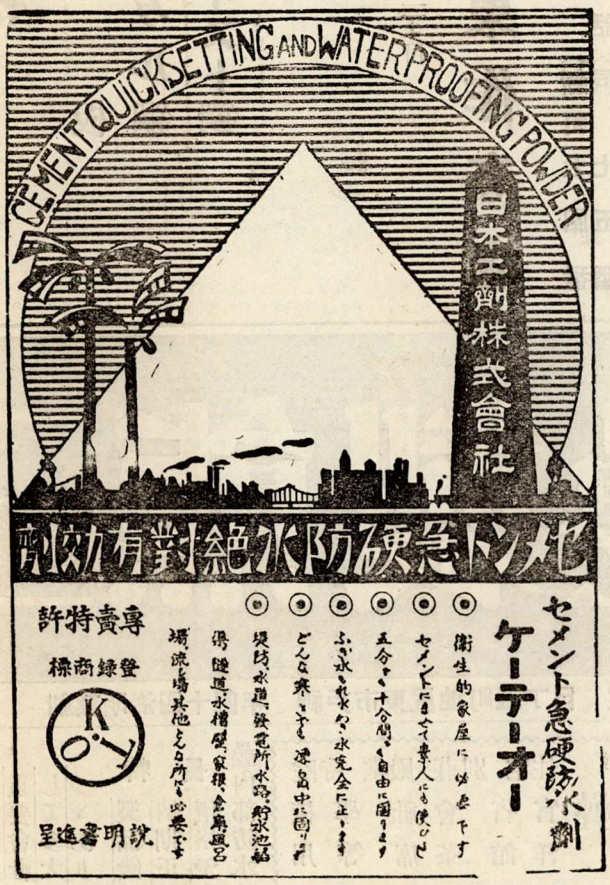
川島織物所裝飾部

本店　京都市西陣
電西陣四一八九九

支店　東京銀座鎗屋町一五
電京橋八三六，三三八

出張所　大阪東區淡路町一丁一
電本局二七七五

セメントを早くかたまらせるために
ケーテーオー



東京市芝區愛宕下町一ノ四　電話芝一五一二番

建築用鐵材

丸鐵、鐵板
角鐵、アングル鋼
平鐵、ジヨイスト鋼
チヤンネル鋼

大阪市西區立賣堀北通二丁目

山本東作商店

電話（新町七四番 同七五番 同七六番）
受電略號オサカ、ナニワヅ

鐵筋用丸鐵

在荷豊富見積書御一報次第提出可仕候

三熊疊製所

創業明治四十四年　神戸市東尻池町五丁目　電話兵庫一四六九番

▲當所の疊製品は現に我國屈指の建築技師及技術家を始め別莊住宅各官廳及重要會社の設計指定疊として多大の御用命を蒙りつゝあり

特長
製品優秀　技術超絶
納期正確　在庫豊富
價格至廉　確實叮嚀
疊内部防水防塵衛生裝置

新疊
院寺　校用
堂殿　學等
莊別　會社
宅住　館茶
官省　洋

負請事工般一疊

賣販地布綠及表疊
全國

販路—關西關東を始め全國各地一圓現塲納入

▼御設計又は御見積の上に於て疊一切の事に付御不審の點は御相談下され候はゞ委細御說明申上候

價格表御一報次第送呈仕候

出張所々在地　大阪　京都

優良廉價

アサダ白色ポートランドセメント

Net.170 KG

專賣特許
アサダプラスター
セメント防水剤
リクタイト

・型錄贈呈・

飾磨化學工業株式會社
兵庫縣・飾磨町

鋼製建具

シヤッター
サッシュ
ドアー

元大阪鐵扉製作所

日本鋼製建具株式會社

大阪支店

大阪市西淀川區傳法町南二丁目

電話土佐堀五九二〇番

本　社	東京市丸ノ内丸ノ内ビルヂング八階	**電話丸ノ内3627**
東京工場	川崎市大師河原	**電話川崎973**
大阪工場	大阪市西淀川區傳法町南二丁目	**電話土5920**


松原木工所
裝飾
家具
歐米家具
和風家具
洋室造作
窓飾物
図案設計
其他木工品
營業所 大阪市港區小林町
電話櫻川4650番
京都出張所 上京區田中門前町
但帝國大學北門前

地下水の利用

鑿井界之權威

多年ノ經驗ト優秀ナル技術ト誠意アル工事ハ他ノ追從ヲ許サズ弊會施行ノ鑿井ノ實績ヲ見ラルヽモ明ナリ

詳細型錄進呈

感謝狀

當市上水道ハ日本ニ於ケル鑿井式ノ嚆矢ニシテ湯泉湧々トシテ盡キス全國羨望ノ的タリ然ルニ第三水源井ノ湧水漸次減退シテ一晝夜二千石ニ過キサルニ至リタルヲ以テ貴會ト契約シ右水源ノ十二吋鑿井穿孔工事ヲ施シタルニ豫定ノ日數ヲ經テ完成シ其湧量忽チ一万石ニ達シ給水上ノ憂ナキヲ得ルニ至レリ右ハ獨特ノ機能ヲ有スル貴會ノ獨逸式「パーホレター」機ニ因ルト共ニ又貴社ノ終始精勵能ク責任ヲ果サレタル結果ニ外ナラス茲ニ鑿泉最大權威者トシテ推奬ト感謝意ヲ表ス

佐賀縣佐賀市長野口能毅

日本地下水協會
佐々木正一郎殿

獨逸式大鑿井工事請負

日本地下水協會

本社　堺市大濱北町公園地　電話堺㊷二二二九
大阪出張所　大阪市西區立賣堀南通四丁目　電話新町一〇九四
名古屋出張所　名古屋市中區矢場町東陽ビル　電話中局七七七

全國總代理店

常盤商事合資會社

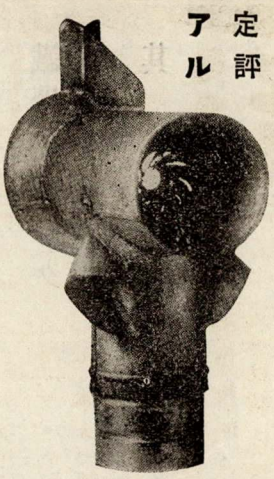
大阪市東區備後町二丁目野村ビル　電話本町七五五

◉最近工事先御芳名

堺市役所水源地
錦華紡績佐賀工場
大同土地興業櫻ヶ丘
武雄町水源地
佐賀市水源地
大和川染工場本社（工事中）
東洋紡績一宮工場（同）
豐田紡織圧内川工場（同）
高岡市役所水源地（工事中）
日本木材防腐會社（同）
長崎紡績堺工場（同）
大阪織物株式會社（同）

◇宮島式排氣頭◇

定評アル



排氣頭ノ價値ハ排氣量ニアリ

（諸官衙御用）

宮島式

◇◇◇◇特特特特許許許許

自サ排換
働ホイ
洗ン
瀘瀉式氣
裝水
置置頭頭

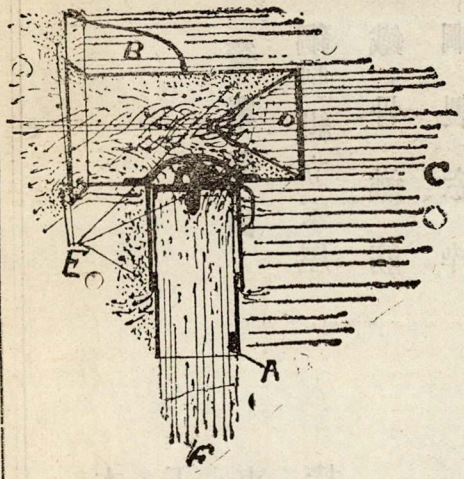
發賣元

導湯水ボンプ
諸般パイプ衛生
工事請負

本機ノ特徴

一、吸引力旺盛ナル事
二、價ノ低廉ナル事
三、廻轉烈シカラザル故破損ノ憂無キ事
四、雨水ノ筒下ニ入ル憂無キ事
五、煙突臭氣換氣何レニ使用シテモ有効ノ事
六、一目ニシテ風向キヲ知リ得ラル、事
七、逆風ノ時ト雖モ完全ニ排出ロヲ風下ニ向ケ作用ハ同ジ

以上ノ如ク他ノ追從ヲ許サズ



本機理解說明

（御一報次第カタログ進呈）

A 排氣管ニ差込ム可キ所
B 方向板Y字形片葉蝶番
C 頭外ノ速風
D 旋風起漏斗
E 眞空體吸引力
F 筒下ノ惡氣

宮島康夫商店

東京市赤坂區青山北町一丁目四番地（神宮外苑入口）
電話青山（36）四七二九番　振替口座東京五五八四八七番

製作　専門

SASH DOOR SHUTTER

サツシユ・ドア・シヤツター

三五製作所

大阪市港區北恩加島町五五

電話櫻川四五三四番

營業品目

鋼製組立家屋
鐵骨鐵筋
鋼製窓枠
鋼製扉
メタルラス及附屬品
道路鋪裝諸鋼材
鐵骨及コンクリート用塗用
其他

本社　神奈川縣川崎市田島町
工場　神奈川縣川崎市田島町
東京支店　東京市丸の內三菱廿一號館
橫濱支店　橫濱市太田町二丁目十五ビルデイング
大阪市西區土佐堀通一丁目
大同生命ビルデイング

日本トラスコン鋼材株式會社

電話土佐堀一七七六・三一〇三番

名古屋支店　名古屋市東區東新町萬歲ビルデイング
神戸支店　神戸市榮町通二丁目山口ビルデイング
廣島支店　廣島市紙屋町藝備ビルデイング
福岡支店　福岡市博多上呉服町太平ビルデイング

(賜攝政宮殿下台覽)
各府縣市營繕課御推奬品

建築界之驚威

安くて
強くて
美しい

登錄商標 **ミクニ板**（特許杉柾目 檜柾目 天井板）

關東特約販賣店
東京市京橋區本材木町三丁目
篠田政之助商店

青森秋田岩手宮城四縣特約店
青森市濱町五丁目
小館木材株式會社支店

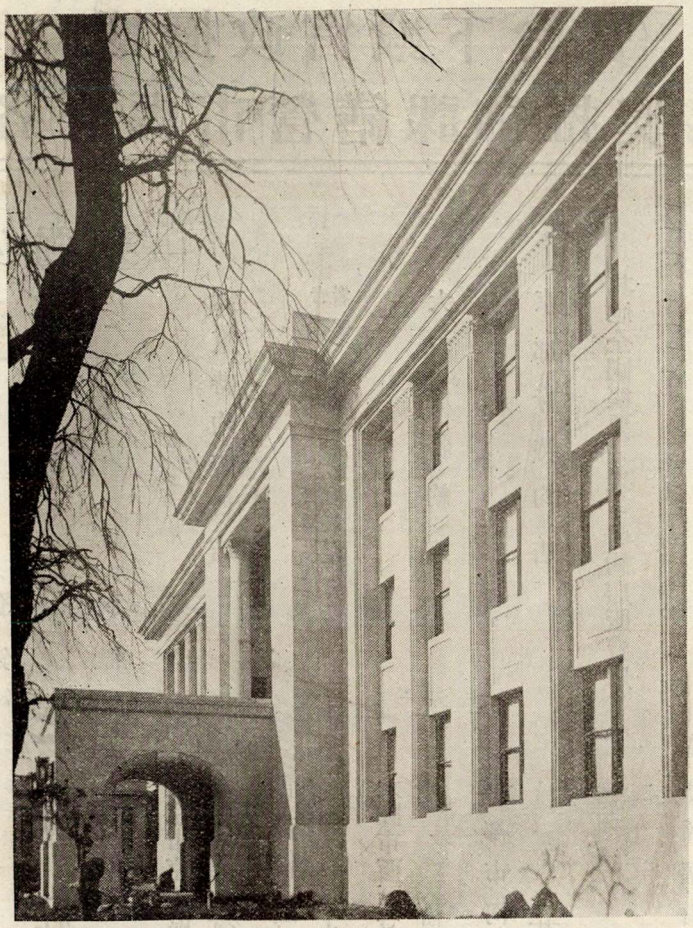
大阪府特約店
大阪市西區立賣堀南通二丁目
澤田秀吉商店

京都府特約店
京都市河原通夷川角
藤原彌三郎商店

其他全國樞要ノ地ニ特約店販賣店アリ

登錄商標

ミクニ板製造元
廣島縣福山市西町
日本木材工藝株式會社
長電三九七番



特許中村式グラニツトを以て全壁を被装せる仙臺市廳舍

中村グラニツト商會

大阪營業所・大阪西淀川區海老江町一二〇〇
電話土佐堀**3 5 7**
東京支店・東京市芝區月見町二ノ四
電話高輪**9 4 6**

煖房ト冷房

温濕度調整裝置



大和工業株式會社

代表取締役　萩原貞

代表取締役　山崎寛二郎

營業科目

各種煖房裝置　換氣裝置
衛生工事　汚水淨化裝置
給水給湯裝置　蒸氣諸裝置
宮崎式ペーチカ

温濕度調整裝置　冷房裝置
製氷及び冷藏裝置　除塵裝置
氣送管裝置　眞空掃除裝置
ニユウマチツクチユウヴ　バキユウムクリーナー

以上の設計、監督、工事請負竝に材料販賣

本社　大阪北區曾根崎上四丁目三三電話北一〇七八・六二九一番（略語受電）（ワイダカサオ）
支店　東京市京橋區南傳馬町三丁目五（第一相互館二〇八）　電話京橋三二三七番（略語受電）（ワイダイケウト）

"ACME" ULTRAVIT-GLAS

"アクメ"ウルトラヴイット

(理想的紫外線透過窓硝子)

過する理想的窓硝子
紫外光線を多量に透



ふる太陽光線中の
に可驚活力を與
凡ゆる生物の生活

紫外線透過率試験%(獨逸伯林國立物理工業試驗所)

波長	340	320	310	300	297	295	290	280	uu
ウルトラヴイット硝子	85	83	77	63	58	53	42	22	%
普通硝子	43	1	0	—	—	—	—	—	—

歐米諸國に於ては既に多數の病院結核療養所、養老院、保育院、動物園、農園、畜産場等に使用し更に進んで積極的に發育助長健康增進等の一般衛生的設備として家庭、學校を初め會社銀行等に盛んに利用され夫ぞれ驚くべき好成績を擧げて居ます折角御使用あらんことを

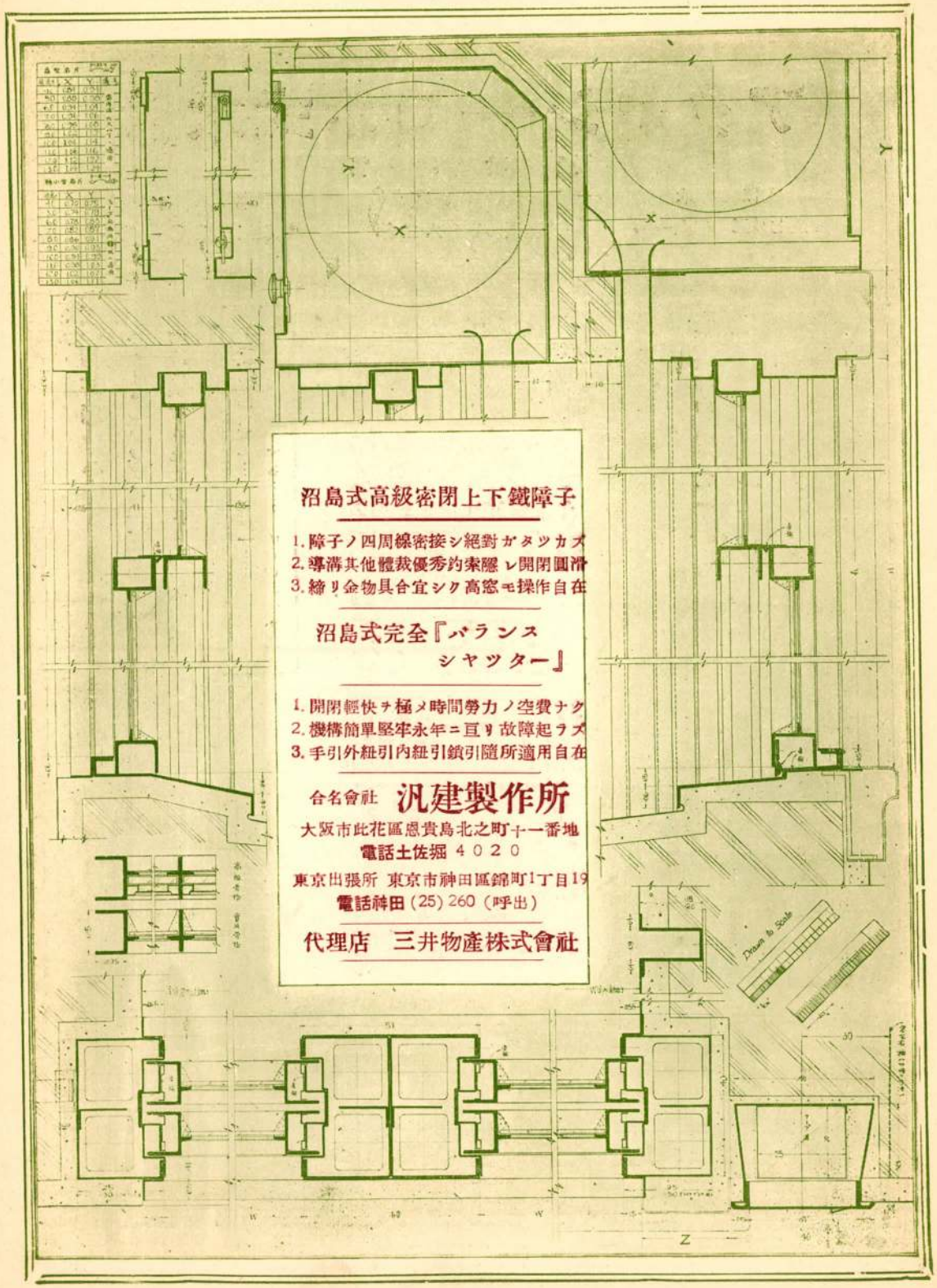
(御照會次第明細型錄送呈可致候)

株式會社

島津製作所貿易部

京都市河原町二條南

東京、福岡、大阪、大連、伯林、


沼島式高級密閉上下鐵障子
1. 障子ノ四周線密接シ絕對ガタツカズ
2. 導溝其他體裁優秀約索ヨレ開閉圓滑
3. 締リ金物具合宜シク高窓モ操作自在
沼島式完全『バランス シヤツター』
1. 開閉輕快ヲ極メ時間勞力ノ空費ナク
2. 機構簡單堅牢永年ニ亘リ故障起ラズ
3. 手引外紐引內紐引鎖引隨所適用自在
合名會社 汎建製作所
大阪市此花區恩貴島北之町十一番地
電話土佐堀 4020
東京出張所 東京市神田區錦町1丁目19
電話神田 (25) 260 (呼出)
代理店 三井物產株式會社

鈴木式ホロー・シヤタア

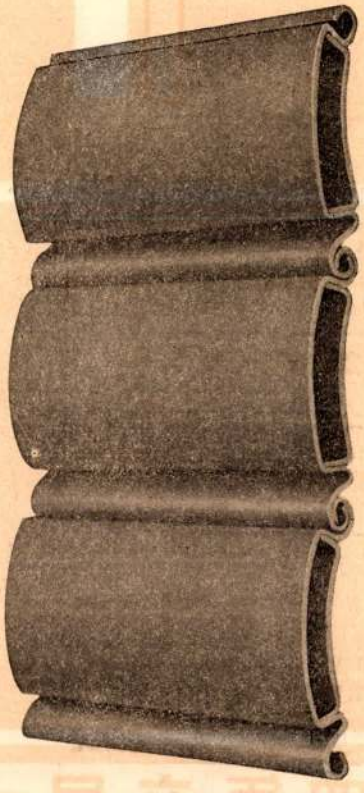
特許番號

日本	英國	米國
第一〇〇三三三號	第二六五八七三號	第一七〇七二八七號

米國特許局は今回

ホロー・シヤタアに第一七〇七二八七號を附して
特許を許可されました

世界の專門大家が……**世界一**……と
激賞する……ホロー・シヤタア



至急御申込を乞ふ

上等舶來アート摺一百二十頁、實例滿載の
新刊・ホロー・カタログ・御設計用として無代進呈

東京巢鴨町宮下
京都東山通月見町二

建築金物商會

SUDZKI'S PATENT

HOLLOW SHUTTER